# 庁舎内部大規模改修工事

## 特記仕様書

## I 工事概要

1. 工事場所 2. 建物概要

栃木県河内郡上三川町しらさぎ 1-1

2. 注1/01以女	*		
建築物名称	構造概要	延べ面積(㎡)	防火対象物区分
庁舎	RC 造 5 階建(地下 1 階塔屋 階)		

工事種目 (●印付けたものを適用し各一式とする。)

_ +			建物	]名称		
工事種目	庁舎棟					
電 灯 設 備	•	0	0	0	0	0
動 力 設 備	•	0	0	0	0	0
電 熱 設 備	0	0	0	0	0	0
雷保護設備	0	0	0	0	0	0
受 変 電 設 備	•	0	0	0	0	0
電力貯蔵設備	0	0	0	0	0	0
発 電 設 備	•	0	0	0	0	0
構内情報通信網設備	•	0	0	0	0	0
構内交換設備	•	0	0	0	0	0
情報表示設備	•	0	0	0	0	0
映像・音響設備	•	0	0	0	0	0
拡 声 設 備	•	0	0	0	0	0
誘導支援設備	•	0	0	0	0	0
テレビ共同受信設備	•	0	0	0	0	0
監視カメラ設備	•	0	0	0	0	0
駐車場管制設備	0	0	0	0	0	0
防犯・入退室管理設備	0	0	0	0	0	0
火 災 報 知 設 備	•	0	0	0	0	0
中央監視制御設備	0	0	0	0	0	0
発 生 材 処 理	•	0	0	0	0	0
構内配電線路	•	0	0	0	0	0
構内通信線路	•	0	0	0	0	0
テレビ電波障害防除	0	0	0	0	0	0

### Ⅱ 電気設備工事仕様

設計書、図面、特記仕様書及び現場説明書(質問回答書を含む)に記載されていない事項は、すべて国 土交通大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、

「標仕」という。)、「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「改修標仕」 という。) 及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(平成31年版)」(以下、「標準図」という。) に準拠するものとし、優先順位は次による。

- (1) 質問回答書((2) から(5) に対するもの)
- (2) 現場説明書
- (4) 図面及び設計書

(5) 標仕、改修標仕及び標準図 また、公営住宅工事においては上記に加え、公共住宅事業者等連絡協議会編集の「公共住宅建設工事共 通仕様書(令和元年度版)」(以下、「公住仕」という。)及び公共住宅改修工事共通仕様書(初版)(以下、 「改修公住仕」という。)に準拠するものとし、優先順位は次による。

- (1) 質問回答書((2) から(7) に対するもの)
- (2) 現場説明書
- (3)特記仕様書 (4)図面及び設計書
- (5) 標仕、改修標仕及び標準図
- (6) 公住仕及び改修公住仕
- (7)機材の品質・性能基準(令和元年度版)(以下、「品質・性能基準」という。)
- (1) 章は●印が付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを、特記事項は●印が付いたものを適用す
- (2)特記事項に記載の(...)内表示番号は、標仕の当該項目を表す。
- (3) 特記事項に記載の(公住仕 . . ) 内表示番号は、公住仕の当該項目を表す。

# ● 一般共通事項

# O1 官公署への手続き (1.1.3)

### 工事に必要な官公署への手続きは受注者が代行し、凍やかに行う。

### <u>O2 工事実績情報サービス (CORINS) への登録</u> (1.1.4)

受注者は 受注時または変更時において工事請負代金が500万円以上の工事について 工事事績情 報サービス (CORINS)に基づき、受注・変更・完成・訂正時に工事実績情報として「登録のための確認 のお願い」を作成し監督職員の確認を受けた上、次に示す期間内に登録機関へ登録申請を行う。ただ し、期間には、行政機関の休日に関する法律(昭和63年法律第91号)に定める行政機関の休日は含

- まない。 (1) 工事受注時 契約締結後 10 日以内
- (2) 登録内容の変更時 変更契約締結後 10 日以内
- 工事完成後 10 日以内
- なお、変更登録は、工期、技術者及び工事請負代金等に変更が生じた場合に行う。

また、(財)日本建設情報総合センター発行の「登録内容確認書」が受注者に届いた際には、その写 しを直ちに監督職員に提出しなければならない。なお、変更時と完成時の間が 10 日間に満たない場 合は、変更時の提出を省略できる。

# 〇3 火災保険等

火災保険、建設工事保険、組立保険または土木工事保険等のうち1以上に加入する。 契約期間の始期は、材料(仮設、型枠材を除く)搬入時以前とし、終期は、工事目的物(分離発注 に於いては、引き渡しが最後となる工事目的物)の引き渡しの翌日までとする。

保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

保険契約の締結後、その証券又はこれに代わるものを発注者に提示し、確認を受けること。

### O5 実施工程表 (1.2.1)

概成工期の明記に努めること。

# 〇6調査試験に対する協力

- (1) 受注者は、発注者が自らまたは発注者が指定する第三者が行う調査及び試験に対して、監督職 員の指示によりこれに協力しなければならない。
- (2) 受注者は、当該工事が発注者の実施する公共事業労務費調査の対象工事となった場合には、次 の各号に掲げる協力をしなければならない。
- ア 調査票等に必要事項を正確に記入し、発注者に提出する等必要な協力をしなければならない。 イ 調査票等を提出した事業所を発注者が、事後に訪問して行う調査・指導の対象となった場合に は、その実施に協力しなければならない。
- ウ 正確な調査票等の提出が行えるよう、労働基準法等に従い就業規則を作成するとともに賃金台 帳を調製・保存する等、日頃より使用している現場労働者の賃金時間管理を適切に行わなければ
- エ 対象工事の一部について下請契約を締結する場合には、当該下請負工事の受注者(当該下請工 事の一部に係る二次以降の下請負人を含む。) が前号と同様の義務を負う旨を定めなければなら ない。

### 〇7 施工従事者

契約電力 500kW 以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行うものとする。

### •8 施工条件明示 (1.3.3)

### ○9 埋設物の調査等

給排水管、ガス管、ケーブル等の埋設が予想される場合は、調査を行うこと。なお、給排水管等を 掘り当てた場合は、損傷しないように注意し、必要に応じて、応急処置を行い、監督職員及び関係者 と協議すること。また、工事に支障となる障害物を発見した場合は、監督職員と協議すること。ただ し、容易に取り除ける障害物はこの限りではない。

### 〇10 事故報告

受注者は、工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督職員に報告するとともに、監督職 員が指示する様式(工事事故報告書)で指示する期日までに提出しなければならない。

[工事事故等が発生した場合の早期報告の徹底について]

万が一事故等が発生した場合、被災者の救護・現場の安全確保を最優先のうえ、警察・消防・労働 基準監督署等関係機関への通報と合わせ、直ちに発注機関へ通報すること。

工事事故等が発生した場合、事故の大小を問わず、直ちに監督職員へ通報すること。

なお、事故発生の速報においては、休日、時間外を問わず行うこととし、資料の有無は問わない。 また、本指示内容については、下請けを含む作業員や資機材運搬業者、交通誘導員等の工事関係者 全てに行き届くよう周知徹底すること。

### O11 交通安全管理 (1.3.6)

受注者は、栃木県公安委員会が定める路線 (平成 21 年 9 月 30 日栃木県公安委員会告示第 54 号)の 交通誘導を行う場合は、その現場ごとに交通誘導警備業務に係る一級検定合格警備員または二級検定 合格警備員を1人以上配置しなければならない。

### 〇12 環境対策

(1) 騒音・振動対策

受注者は、工事の施工にあたり建設機械を使用する場合は、「低騒音・低振動型建設機械の指定 に関する規程」(平成13年4月9日国交省告示第487号)に基づき指定された建設機械を使用する ものとする。ただしこれにより難い場合は監督職員と協議するものとする。 (2) 排出ガス対策

受注者は、工事の施工にあたり「建設機械に関する技術指針」別表第3に揚げる建設機械を使 用する場合は、「排出ガス対策型建設機械指定要領(平成3年10月8日付け建設省経発第246 号)」に基づき指定された排出ガス対策型建設機械または同等の建設機械を使用するものとする。 ただしこれにより難い場合は監督職員と協議するものとする。 (3) グリーン購入法

受注者は、資材、工法、建設機械または目的物の使用にあたっては、事業毎の特性を踏まえ、 必要とされる強度や耐久性、機能の確保、コスト等に留意しつつ、「国等による環境物品等の調達 の推進等に関する法律(平成12年法律第100号。「グリーン購入法」という。)」第10条及び「栃 木県生活環境の保全等に関する条例」第63条で定めた「栃木県グリーン調達推進方針」に定めら れた特定調達品目の使用を推進するものとする。

## ○13 発生材の処理等

### 「発生土」

〇構内指示の場所に敷均し ○構外指示の場所にたい積 ○構内指示の場所にたい積 ○構外搬出指示の場所にたい積 たい結場所( たい積場所(

〇桂外搬出谪切処理

・上記に指定されていない建設発生土については、原則として工事間利用の促進に努めること。 [発生土以外の発生材]

引渡しを要するもの

■ 有 タ称 ( PCR ) ●有 名称(リチウム電池) 〇無

特別管理型産業廃棄物

処理方法(

・再利用及び再資源化を図るもの 〇有 名称(

・廃PCB等は関係法令より適切に処理し、施設管理者に引き渡すこと。

・六ふっ化硫黄ガス、イオン化式感知器は関係法令より適切に回収、処理すること。 ・蛍光ランプ、水銀ランプ等の水銀を使用しているランプは工事監理指針等により適切に処理するこ

※上記に指定されていないものは、標仕 1.3.9(2)(I)及び「建設廃棄物処理指針」(平成 22 年版) に よるほか、下記により構外に搬出し適切に処理する。

- (1)建設副産物実態調査要領に基づき、本工事に係る再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計 画書を作成し、施工計画書に含めて提出すること。また、工事完成後速やかに上記計画書の実施 状況について、再生資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を作成し提出すること。なお、 これらの記録を工事完成後1年間保存しておくこと
- (2)建設副産物の処理に先立ち、「建設副産物処理承認申請書」により監督職員の確認を受け、同申 請書を提出すること。
- (3)建設副産物の処分にあたって、提出事業者(元請業者)は処理業者と建設副産物処理委託契約 を締結し、その契約書の写しを提出すること。なお、収集運搬業務を収集運搬業者に委託する場 合は、別に、収集運搬業者と建設廃棄物処理委託契約を締結し、その契約書の写しを提出するこ
- (4)建設副産物処理完了後速やかに「建設副産物処理調書」を作成し、監督職員に提出するととも に、実際に要した処理等を証明する資料(受け入れ伝票、写真、位置図、経路図等)を提示し確 認を受けること。
- (5)建設廃棄物については、産業廃棄物処理における「産業廃棄物管理票(マニフェスト)」の交付 されたもの及び回収した各票を監督職員に提示し確認を受けること。なお、回収したマニフェス トについては、廃棄物の処理及び清掃に関する法を踏まえて適切に保存すること。

### ○14 建設リサイクル法

建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(以下「建設リサイクル法」という。)に定める 対象建設工事に該当する場合は、建設リサイクル法に基づき特定建設資材の分別解体及び再資源化 の実施について、適正な措置を講ずるとともに、分別解体・再資源化等が完了したときは、建設リ サイクル法第18条に基づき、監督職員に報告する。

### O15 大気汚染防止法

大気汚染防止法に定める解体等工事に該当する場合は、大気汚染防止法に基づき、特定建築材料 の有無に関する調査及び報告について適正に実施すること。特定建築材料が含まれる場合は、大気 環境中へのアスベスト飛散防止対策について、適正な措置を講じること。

再使用機器取り外し後再使用する機器は、清掃後絶縁測定のうえ取り付ける。

### ○17機材の品質等 (1.4.2)

本工事に使用する機材等のうち、特定のものが特記された材料は、設計図書に規定するもの、また は同等品を使用するのものとし、同等品を使用する場合は、同等品等使用願を監督職員に提出して承 諾を受ける。

なお、同等品の中で、一般社団法人公共建築協会編集『建築材料・設備機材等品質性能評価事業設 備機材等評価名簿』に記載されている製造所の材料を選定した場合は、設計図書に規定するものと同 等と取り扱い、主要資材使用通知書により監督職員に通知する。

### O18 機材の検査 (1.4.4)

現場に搬入する機材について、監督職員の検査を受ける機器の種別をあらかじめ協議すること。

### 〇19 下請負人の選定及び工事材料の選定

○受注者は、下請負契約を締結する場合、当該契約の相手方を県内に本店を有する者の中から選定す るよう努めること。

〇受注者は、県内で産出、生産または製造される資材等の規格品質等が本設計の仕様に適合すると認 められる場合は、優先して使用するよう努めること。

### •20 見本施工 (1.5.3)

〇次に示す事項について、見本施工を実施すること。

### ○21 施工の検査に伴う試験 (1.5.4)

各種試験、試運転、調整等を実施する際には、最大需要電力(電力デマンド)を抑制するよう計画し、

### 22 化学物質の濃度測定 (1.5.7)

施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、 パラジクロロベンゼンの濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。

測定方法 〇パッシブ型 〇アクティブ型 着工前の測定 〇行わない 〇行う 測定対象室 ○図示 0 測定箇所数

(住宅工事の場合は1住戸当たり2室以上) 報告の様式等については監督職員の指示による

## ○23 化学物質を発散する建築材料等 (1.5.7%)

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共 に、次の(1)から(5)を満たすものとする。

- (1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボー その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発散しない か、発散が極めて少ないものとする。
- (2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少な いものとする。
- (3)接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性 の可塑剤が添加されていないものを使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベ ンゼンを発散しないか、発散が極めて少ないものとする。
- (4)塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンを発散しないか、発散が極 めて少ないものとする。
- (5)(1)、(3)及び(4)の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器 類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない ものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
- JIS及びJASのF☆☆☆☆規格品
- イ 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品
- ウ 下記表示のあるJAS適合品
- (ア) 非ホルムアルデヒド系接着剤使用
- (イ)接着剤等不使用
- (ウ) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
- (エ) ホルムアルデヒドを放散させない途料等使用
- (オ) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 (カ) 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用

- ア JIS及びJASのF☆☆☆規格品
- 建築基準法施行令第 20 条の 7 第 3 項による国土交通大臣認定品
- エ 旧JASのFco品

○25 施工図等の取り扱い (1.7.2)

# O24 完成図等 (1.7.2,3)

〇作成する 〇作成しない 〇製本 提出部数 〇3部 〇 部 〇完成図

複写2つ折り製本、製本サイズは監督員の指示による。 OCD-R 提出部数(2)部

○施工図 提出部数 〇3部 〇 部 〇保全に関する資料 提出部数 〇3部 〇 部

公住仕表 1.7.2 に定める住戸内機材は、取扱説明書の添付及び用途表示をする。(公住仕 1.7.3)

施工図等の著作権に係わる当該建築物に限る使用権は、発注者に移譲するものとする。

# ○26 電子納品

- ●適用基準は「電子納品運用に関するガイドライン(第10版)」とする 設計 CAD データの貸与 ○無 ○有(著作者名 ◎設計者 ・その他(
- ●貸与する CAD データを該当工事における施工図または完成図の作成のため以外には使用してはならな

# ●書面における署名及び捺印の取り扱いは、監督職員との協議による。

編)(平成30年版)」に準拠するほか、監督職員の指示による。

### ○27 工事写真 工事写真の整備は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「工事写真撮影ガイドブック(電気設備工事

### 〇28 工事用仮設物

すべて受注者の負担とする。

構内につくることが 〇出来る 〇出来ない ()

仮設計画は、現場の状況を優先する。

### ○29 足場桟橋類 (2.1.1)

○別契約の関係請負者が定置したものを無償で使用できる。 〇本工事で設置とする。

〇改修工事の場合は、改修標仕第 1 編 2.2.2 によるほか下記による。

〇内部仮設足場等(

〇外部仮設足場等(

### ○30 工事用の電力、水、その他

本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて請負者の負担とする。 電気主任技術者の費用(申請・試験・点検・検査・立会)及び引き渡しまでの維持費は本工事に含

### ・31 電気基本料金

本受電から工事完成引渡日(検針日)までの電気料金のうち基本料金は本工事に含む。

### 〇32 耐震施工

設備機器の固定は次に示す事項を除き、すべて「建築設備耐震設計・施工指針」(2014年版独立行 政法人建築研究所監修)による。なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督職員に提出し、承諾を受

(1)設計用水平地震力

機器の重量[kN]に、設計用標準水平震度を乗じたものとする。なお、特記なき場合、設計用標 準水平震度は、次による。

=0.88 ±	旦託ほか	○特定の施設		〇一般の施設	
故區与	設置場所ほか		一般機器	重要機器	一般機器
上層階	機器	2. 0	1. 5	1.5	1.0
上層階 屋上及び塔屋	防震支持の機器	2. 0	2. 0	2. 0	1.5
座工及び培座	水槽類(※1)	2. 0	1. 5	1.5	1.0
	機器	1.5	1. 0	1.0	0.6
中間階	防震支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水槽類(※1)	1.5	1. 0	1.0	0.6
	機器	1.0	0.6	0.6	0. 4
地階・1階	防震支持の機器	1.0	1. 0	1.0	0. 6
	水槽類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

# ※1 水槽類には、オイルタンク等を含む。

重要機器			
〇配電盤	〇発電装置 (防災用)	〇交流無停電電源装置	〇直流電源装置
〇交換機	〇火災報知器受信機	〇中央監視装置	0
0	0	0	0

上層階の定義は次による。

2~6階建以下の場合は最上階、7~9階建の場合は上層2階、 10~12 階建の場合は上層 3 階、13 階以上の場合は上層 4 階

(2)設計用鉛直地震力 設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の 1/2 とし、水平地震力と同時にはたらくものとする。

- ○33 不正軽油使用の防止対策 (1) 本工事は、地方税法(昭和25年法律第226号)及び特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する
  - 法律(平成17年5日25日法律第51号)を遵守すること (2) 本工事で使用しまたは使用させる軽油使用の車両(資機材等の搬出入車両を含む)並びに建設機 械等の燃料には規格(JIS)に合った軽油を使用すること。また、県が使用燃料の抜き取り調 査を行う場合には、現場代理人がこれに立ち会うなど協力を行うこと。

- ダンプトラック等による過積載等の防止については、次のとおりとする。 (1) 積載重量制限を超過して工事用資材を積み込まず、また積み込ませないこと。
- (2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと (3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材等の購入等にあたっては、下請事
- 業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。 (4) さし枠装着車、物品積載装置の不法改造をしたダンプカー及び不表示車等に土砂を積み込ま
- ず、また積み込ませないこと。並びに工事現場に出入りすることのないようにすること。 (5) 過稽載車両、さし枠装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過稽載を助長する ことのないようにすること。
- (6) 取引関係のあるダンプカー事業者が過積載を行い、またはさし枠装着車、不表示車等を土砂等 運搬に使用している場合は、早急に不正状態を解消する措置を講じること。 (7)「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同 法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。 (8) 下請契約の相手方は資材納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠ける者
- または業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除するこ

# (9)(1)~(8)のことにつき、下請業者における受注者を指導すること。 ○35 暴力団員等による不当介入を受けた場合の措置

被害が生じた場合には、発注者と協議を行うこと。

- (1) 栃木県が発注する建設工事(以下「発注工事」という。) において、暴力団員等による不当要 求または工事妨害(以下「不当介入」という。)を受けた場合は、断固としてこれを拒否すると ともに、不当介入があった時点で速やかに警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行うこと。
- (2)(1)により警察に通報を行い、捜査上必要な協力を行った場合には、速やかにその内容を記 載した書面により発注者に報告すること。 (3) 発注工事において、暴力団員等により不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じるなどの

### ○36 工事の一時中止

(1)契約書第21条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中止期間中における工事 現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承諾を受けるもの とする。なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労務者数、搬入

工事名称	庁舎内部大規模改修工事	
図面名称/縮尺	特記仕様書(その1)	図面番号
設計年月日	R06.03	E-01
設計者	株式会社フケタ設計	E-01
発注者	上三川町	

材料及び建設機械器具等の確認に関すること、中止に伴う工事現場の体制の縮小と再開に関する

こと及び工事現場の維持・管理に関する基本的事項を明らかにする。 (2) 工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

# ・37 住宅瑕疵担保履行法への対応

受注者は、『特定住宅瑕疵担保責任の履行の確保等に関する法律』(平成19年法律第66号) に基づ き、保険への加入または保証金の供託を行うものとする。

### <u>・38</u>墜落制止用器具の着用

墜落制止用器具の着用については、「労働安全衛生法施行令第13条第3項第28号」における墜落 制止用器具の着用は、「墜落制止用器具の規格」(平成31年1月25日厚生労働省告示第11号)によ る墜落制止用器具(フルハーネス型墜落制止用器具、腰胴ベルト型墜落制止用器具及びランヤード

# ● 電灯設備

### 〇1 非常用照明器具

〇電池内蔵形 〇電源別置形 〇蓄電池(10分) +自家発電設備

## ○2 誘導灯

〇電池内蔵形 〇電源別置形 〇標識

## ○3 配線器具

- (1) 防災設備、コンセントについては消防法に適合すること。
- (2) 住宅用スイッチ、コンセント類は
- ●大角形(金属プレート)―共用部 ○ワイドハンドル部 ―住戸内

### 4 住宅用分電盤

主開閉器・分岐開閉器の定格遮断電流

「単位A]

工   加   1   1   1   1   1   1   1   1   1	[+47]	
	定格電流	定格遮断電流
	30 以下	2,500 以上
主開閉器	30 を超え 100 以下	5,000 以上
	100 を超え 150 以下	10,000 以上
分岐開閉器	_	2,500 以上

住宅用分電盤内に設置する過電流警報装置の品質及び性能(公住仕 1.1.4)

# (〇品質・性能基準 〇 )

O5 その他

(1) 〇特殊コンセントにはプラグを付属させる。

〇別途機械設備工事機器仕様コンセント(エッチング)については打合せすること。 (2) コンセントのうち次のものは、プレートに電圧等の表示を行う。

- ・一般電源用以外(※発電機回路、※UPS回路等)※赤字等で表示する。

### ● 動力設備

# ○1 機器への接続

- (1) 本工事制御盤より別途電動機等への配線の接続は、原則として
- 〇本工事 〇別途工事 とする。
- (2) 電動機等への接続は、ビニル2種金属製可とう電線管(防水プリカ)を使用する。
- (3) 遮断器の定格電流は、メーカー推奨品を優先とする。

# ○2 電動機の接地

○金属管接地 ●専用接地線

# 〇 電熱設備

### • 1 制御盤

標仕によるが、盤内の器具類の構成配置は監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。

## • 2 温度調節器

〇電気式 〇電子式

## <u>・3 その他</u>

### 〇 雷保護設備

### 1 突針支持管

〇鋼製(溶融亜鉛メッキ HDZ35 以上) 〇ステンレス製 (強度計算書を監督職員に提出すること)

## ・2 避雷導線

〇引下げ導線 〇建築構造体利用

### 3 接地極

〇接地極埋設 〇建築構造体利用

### 4その他

接続部分については、異種金属接触腐食(雷食)を起こさないように施工すること。

# ● 受変電設備

### 〇1 高圧開閉器(屋外用)

高圧気中開閉器 (SOG) は (●方向性 ●VT 内蔵 ●LA 内蔵) 高圧ガス開閉器 (UGS) は (〇方向性 OVT 内蔵) ○既存

### 〇2 主遮断装置

高圧交流遮断器 (VCB) は (●手動式 ○電磁式)

### 〇既存

### 〇3設備内容

進相コンデンサー(自動力率制御 ●有 ○無)

## デマンド監視装置 (●有 〇無)

〇4配電盤

○屋内形(○開放形 ○閉鎖形) ●屋外形 ○キュービクル式非常電源専用受電設備認定品

### <u>○5 その他</u>

- (1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして
- (2) 保護継電器の保護協調曲線を作成し、監督職員に提出し、承諾を受けること。なお、改修工事 についても同様とする。

# 〇 電力貯蔵設備

### 1直流電源装置

〇非常用照明器具の電源と共用 〇受変電設備専用

〇鉛蓄電池

種別 ( OCS 形 OPS 形 OMSE 形 O長寿命 MSE 形 OHSE 形)

# 〇アルカリ蓄電池

種別(〇AMP形 〇AMP形 〇AHP形 〇AHS形 〇AHHS形 〇AHHE形)

## ·2 交流無停電電源装置(UPS)

〇常時インバータ給電方式

〇常時インバータ給電方式 (簡易型) 〇ラインインタラクティブ方式

### 〇常時商用給電方式

・3 電力貯蔵装置(電力平準化等用)

○リチウム二次電池 ○鉛蓄電池 ○ニッケル水素電池

# 4 その他

- (1) キャビネット内の換気計算については、日本配電制御システム工業会の計算方法を参考にして 計算すること。
- (2) 簡易形については、監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。

## ● 発電設備

### O1 自家発電設備

(1)発雷装置の用途 ●防災用自家発雷装置 ○常用自家発雷装置 〇常用防災兼用自家発電装置

種類 ●ディーゼル

(2)原動機

○ガスタービン ○マイクロガスタービン 始動方式 ●電気始動式 ○空気始動式

起動蓄電池 (○標準 ●長寿命型)

冷却方式

●水冷式(〇循環方式 ●ラジエーター方式) 〇空冷式

(3)燃料

OA重油 O軽油 ●灯油 燃料小出槽 (●本工事 ○別途工事) (●専用 〇他設備と共用) (4) 形式

●キュービクル式(〇一般用 ○寒冷地仕様 ●低騒音仕様) のオープン式 〇普通形自家発電装置 〇即時普通形自家発電装置 (5)発電種類

長時間形自家発電装置 ○即時長時間形自家発電装置 ●72 時間 ○ 時間

(6)運転時間 (7)配電盤

監督職員の承諾のうえ、製造者の標準として良い。

# • 2 太陽光発電設備

太陽電池モジュール ○結晶シリコン系(○単結晶 ○多結晶)

○薄膜系 (○アモルファス OCIS OCIGS) 接続方式 ○三相 3 線式 200V ○単相 3 線式 200/100V

JFT 認証品とする。 その他

・JIS C 8955に基づき、荷重計算を実施し監督職員の承諾を得ること。

・OVGRの設置 〇有 〇無

○極めて重要な太陽光発電システム

太陽電池アレイ用支持物の荷重計算に係わる用途係数

# 〇通常設置する太陽光発電システム

# ● 構内情報通信網設備

### • 1 構内情報通信網装置

構内情報通信網装置 〇有 〇無

## ・2 構内情報通信網装置の構成性能

その他追加機能 0

### ● 構内交換設備

# O1 交換装置

●デジタル PBX OIP-PBX OVoIP サーバ O既存

# ○2 電話機

●多機能形 Oファクシミリ Oデジタルコードレス形 OIPコードレス形 〇停電用電話機

# 3 その他

追加サービス機能 0

## ● 情報表示設備

### ・1 マルチサイン

表示方式 〇発光ダイオード式 〇液晶式 種類 O壁掛型 O自立型 OEL 式

### ○2 時刻表示装置

〇親時計 〇プログラムタイマー 〇子時計 〇電子チャイム 時刻同期装置

〇公衆回線方式 〇ラジオ放送方式 ●標準電波方式 〇地上デジタル放送方式 ONTP サーバー方式

### 3 出退表示装置

制御方式 〇多線直接式 〇パルス伝送式 表示方式 〇発光ダイオード式 〇液晶式

### • 4 水道隔測検針設備

検針盤 〇手動式 〇自動式 配線 ○3 線式 ○5 線式

# ● 映像・音響設備

# <u>01 プロジェクタ</u>

〇別途工事 ●本工事

●液晶形 ODI P #% 投写方式 ●前面式 〇背面式

スクリーン形式 〇反射マット形 ○反射ビーズ形 ○反射細密ビーズ形 〇反射ストライプ形 〇透過形

設置方式 ○上巻タイプ ○下巻タイプ ○張込タイプ 機器収納ラックは監督職員の承諾のうえ、製造者標準として良い。 その他

## ・2 テレビ

〇本工事 〇別途工事

# ● 拡声設備

● 誘導支援設備

# <u>• 1</u>拡声装置

種類 ●一般放送用 〇非常放送用 形式 ○卓上形●キャビネットラック形○AM(○ステンレス鋼製 ○ ) アンテナ

OFM (O耐食アルミニウム製 Oステンレス鋼製)

○1 誘導支援装置

●音声誘導装置(○無線式 ○磁気式 ○画像認識式) ●インターホン装置(●テレビインターホン 〇外部受付用インターホン)

●トイレ等呼出装置(●壁掛式 ●ラック収納式 〇卓上式) 〇住宅情報盤装置 消防法に適合した旨の表示をすること 公共住宅の住宅情報盤装置の品質及び性能 (〇品質・性能基準 〇 )

〇インターホンオートドアロック装置 〇宅配ボックス装置

公共住宅の宅配ボックスの品質及び性能 (〇品質・性能基準 〇 )

# ● テレビ共同受信設備

# 〇1 テレビ共同受信装置

種類 OUHF OBS ●CS ●CATV OFM OAM

その他 増幅器を収容する場合は、AC125V2P15A接地端子付きのコンセントを設ける。 テレビ端子及び直列ユニットは CS・BS・UV・FM 共用形、プラグ付きとする。 地上デジタル放送を受信できるものとする。 公共住宅のテレビ機器・FM アンテナの品質及び性能 (〇品質・性能基準 〇

# ● 監視カメラ設備

# 〇1 配線方式

●地中線式 〇架空線式

マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。

# ○3 装柱器材

### 5屋外灯設備

(1) 電源供給方式 〇共用盤から供給 〇単独引込(定額料金)

(2)点滅方式 〇自動点滅器 ○タイマ (廊下共用灯は、〇自動点滅器 〇タイマ)

# ○6 その他

(1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート (プラスチック製等に刻 字) を取付け、プルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行う ものとする。

(2) 地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。

(3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。

工事名称	庁舎内部大規模改修工事		
図面名称/縮尺	特記仕様書(その2)	図面番号	
設計年月日	R06. 03	E-02	
設計者	株式会社フケタ設計	E-02	
発注者	上三川町		

# ・高所に設置する場合は落下防止の措置を施すこと。 〇 駐車場管制設備

伝送方式 ○アナログ伝送方式 ●ネットワーク伝送方式 ○デジタル同軸伝送方式

### 1駐車場管制装置 〇光線式検知器式 〇ループコイル式 検知方式

録画装置 ●デジタルレコーダ ○録画サーバ

## 信号灯・警報灯 〇天井つり下げ形 〇自立形 ● 防犯入退室管理設備

### 1 防犯装置

〇本工事

O1 監視カメラ装置

○本工事 ○本工事(配管のみ) ●別途工事

制御装置 基本機能以外の追加機能 〇 〇磁気カード 〇暗証番号 OICカード(接触式) OICカード(非接触式) Oバイオメトリックス

# 2 電気錠

〇別途工事

# ● 火災報知設備

# 〇1 自動火災報知装置

受信機	●P型1級	60 回線	(●新設	〇既設
	OR 型	回線	(〇新設	〇既設:
	OGP型 級	回線	(〇新設	〇既設)
	OGR 型	回線	(〇新設	〇既設)
〇副受信機		回線	(〇新設	〇既設)

# ○2 自動閉鎖設備

〇連動制御器 (盤) 12 回線(○単独 ●受信機と一体)

〇各機器単独に設置

## 〇機器一体形 ・4 ガス漏れ火災警報装置

・3 非常警報装置(非常ベル)

〇個別式 〇集中監視式 回線 ガスの種類 〇都市ガス(種類 〇冷媒ガス

〇液化石油ガス

〇共同住宅用非常警報設備 (共用部分)

非常警報装置の蓄電池は、〇警報操作盤に組み込む 〇機器一体型 〇住戸用自動火災報知設備 (住戸等と非開放の共用部分) 〇共同住宅用自動火災報知設備

• 5 住宅用自動火災報知装置

## 〇 中央監視制御設備

### ·1中央監視制御装置

○警報盤 ○簡易型監視制御装置 ○監視制御装置 ・2 中央監視制御装置の構成・性能

## ● 構内配電線路

○2 地中線路の余長

## 〇4 付属品

○マンホール用梯子 ●ハンドホール用手カギ

## (3)鋼管柱

〇塩ビコーティング 〇耐候性鋼製

工事名称	庁舎内部大規模改修工事		
図面名称/縮尺	特記仕様書(その2)	図面番号	
設計年月日	R06. 03	E-02	
設計者	株式会社フケタ設計	E-02	

## ● 構内通信線路

## ○1 配線方式

●地中線式

〇架空線式

## ○2 地中線路の余長

マンホール、ハンドホール内でのケーブルの余長を見込むこと。

●ケーブル保護用合成樹脂被覆鋼管(GLT) ●波付硬質合成樹脂管 (FEP) ○硬質ビニル管 (VE) 〇4 付属品

○マンホール用梯子 ●ハンドホール用手カギ

### ○5 その他

- (1) ハンドホール内のケーブル及び指定する箇所には、行先表示プレート(プラスチック製等に刻 字) を取付け、プルボックス及びカバープレート類についても適当な方法により内容表示を行う
- (2) 地中配線には、埋設シート等を管頂と地表面のほぼ中間に設けるものとする。 (3) 電柱等立ち上がり部のケーブルについては、電線管により保護すること。

### ● その他工事共通事項

- ・はつり工事は事前に走査式埋設物調査を行い、監督職員に報告する。
- ・配線・機器工事は、事前に絶縁抵抗、接地抵抗を確認し、監督職員に報告する。

# ○2 電線本数・管路

分電盤、制御盤、端子盤などの2次側以降の配線において、配線経路、電線サイズ、電線本数、 管路サイズなどは機能を優先し、監督職員の承諾を受けて変更しても差し支えない。

# ○3 金属製露出管路

下記の露出配管は塗装を行う。

○屋外 ○屋内 ( ) 塗装を行う場合、露出配管等は合成樹脂調合ペイント1種(JISK 5516)2回塗りを行う。

長さ1m以上の入線しない電線管には、電線太さ1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。

# O5 コンセント

図面に特記なき場合は、コンセント 2P15A (接地極付) は、プラグ不要とする。

## ○6 一般照明の照度測定

●有 ○無

## ○7 非常用の照明装置の照度測定

●有 〇無

# O8 キャビネット

●キュービクル式配電盤の板厚は下記による。

1# c+ +n	鋼板0	D厚さ(mm)
構成部	屋内	屋外
側面部		2.3以上
底板		1.6以上
屋根板	1.6以上	2.3以上
仕切板		1.6以上
ドア及び前面板		2.3以上

# ○制御盤、分電盤の板厚は下記による。

正面の面積	鋼板等の厚さ(mm)		
	鋼板	ステンレス	
0.2 ㎡以下	1.2以上	1.0以上	
0.2 ㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上	

## 〇端子盤・機器収納ラック等の板厚は下記による。

T=0=#	鋼板等の厚さ(mm)		
正面の面積	鋼板	ステンレス	
0.1 ㎡以下	1.0以上	0.8以上	
0.1 ㎡を超え 0.2 ㎡以下	1.2以上	1.0以上	
0.2 ㎡を超えるもの	1.6以上	1.2以上	

## ○9 接地極

# ○接地抵抗値は下記による。

0 接	〇接地抵抗値は下記による。					
	接地の種類	記号	接地抵抗值	接地極		
0	共同接地	EA, D	Ω以下	○EB (14 φ) ×3 連 2 組 ○図面特記による		
0	共同接地	EA, C, D	Ω以下	○EB (14 φ) ×3 連 2 組 ○図面特記による		
•	A 種接地	EA	10Ω以下	○EB (14 ¢) ×3 連 2 組 ○銅板式 (900×900×1.5t)		
•	B種接地	EB	Ω以下	○EB (14 ¢) ×3 連 1 組 ○銅板式 (600×600×1.5t)		
•	D種接地	ED	100Ω以下	EB (10 φ) × 1 (L=1,000 mm)		
0	C種接地	EC	Ω以下	EB (14 ¢) ×3 連 2 組		
•	高圧避雷器	ELH	10Ω以下	○EB (14 ¢) ×3 連 2 組 ○銅板式 (900×900×1.5t)		
0	避雷設備	EL	Ω以下	○EB (14 ¢) ×3 連 2 組 ○銅板式 (900×900×1.5t)		
0	交換機用	E	Ωt以下	EB (14 ¢) ×3 連 組		
•	通信用	EAt	10Ω以下	EB (14 ¢) ×3 連 2 組		
0	通信用	ECt	100 Ω 以下	EB (10φ) × 1 (L=1,000 mm)		
0	測定用	E0	-	EB (10φ) × 1 (L=1,000 mm)		

B 種接地については、電力会社と協議する。

※印は、接地極寸法を示す。

(1)接地極の埋設位置で、監督員の指示する箇所に接地極埋設標を設ける。

(2) 外灯の接地は 〇各ポールごと 〇専用接地線

# <u>O10SPD</u>

○電灯分電盤 ○動力制御盤 ○弱電盤 ●図面特記参照

SPDを 〇低圧線路 〇弱電線路 に設ける。

### ○11 取付高さ

壁付、壁掛形の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として下表による。

名称	測点	取付高[mm]
ブラケット(一般)	床上~中心	2, 100
" (踊場)	"	2, 500
" (鏡上)	鏡上端~中心	150
避難口誘導灯	床上~下端	1,500 以上
廊下通路誘導灯	床上~上端	1,000以下
スイッチ (一般)	床上~中心	1, 300
" (多機能トイレ)	"	1, 100
コンセント、電話用アウトレット、直列ユニット (一	般) "	300
" (和	室) "	150
// (台	上) 台上~中心	150
コンセント(車庫)	床上~中心	800
引込開閉器箱 (低圧)	床上~上端	1,500
分電盤、制御盤、実験盤	床上~中心	1,500(上端 1,900以下)
開閉器箱	"	1,500
電磁開閉器用押しボタン	"	1,300
接地用端子箱	地上、床上~中心	500
避雷接地用端子箱	床上~下端	800
接地極埋設標	地上~中心	600
給油ボックス	床上~給油口	1,000
中間端子盤(EPS電気室)	床上~中心	1,500
親時計	"	1,500(上端 1,900以下)
子時計、スピーカ	"	(天井高) × 0.9
アッテネータ	"	1, 300
出退表示盤	"	(天井高) ×0.9
発信器 (出退表示用)	"	1, 300
インターホン	"	1,500
身体障害者用インターホン子機	"	1, 100
呼出ボタン (多機能トイレ)	"	900
復帰ボタン ( " )	"	1,800
廊下表示灯 ( " )	"	2,000
テレビ機器収容箱	"	1, 800
火報受信機 (複合盤)	床上~操作部	800~1,500
副受信機	床上~中心	1,500
自動報機器収容箱	"	800~1,500
発信機	"	800~1,500
警報ベル	"	(天井高) × 0.9
表示灯	"	(天井高) × 0.8
連動制御器 (自動閉鎖)	"	1,500
ガス漏れ検知器(LPガス)	"	300
カへ濡れ快和品(LPカへ)		

[備考] (天井高) ×0.9 及び (天井高) ×0.8 は天井高が 2500~3000 mmの場合に適用する。

### 12 天井仕上げ表示

図面において、室名に ( ) を付したものは直天井の室、それ以外は二重天井の室を示す。

# ○13 他工事との取り合い

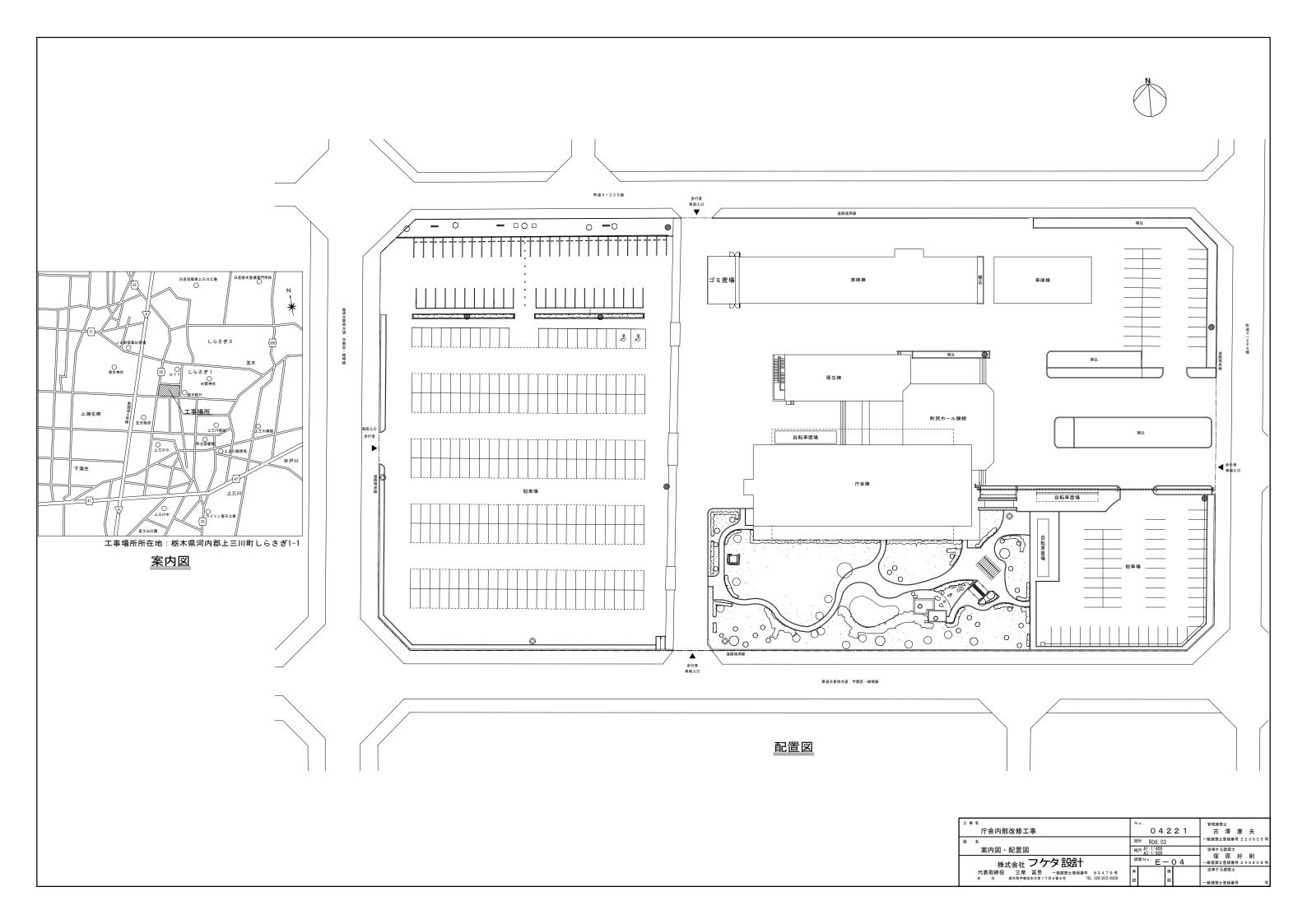
別表-1による他工事との取り合いについては、機器の位置、取合い等の検討できる施工図を施 工に支障をきたさない時期までに提出して、監督職員の承諾を受ける。

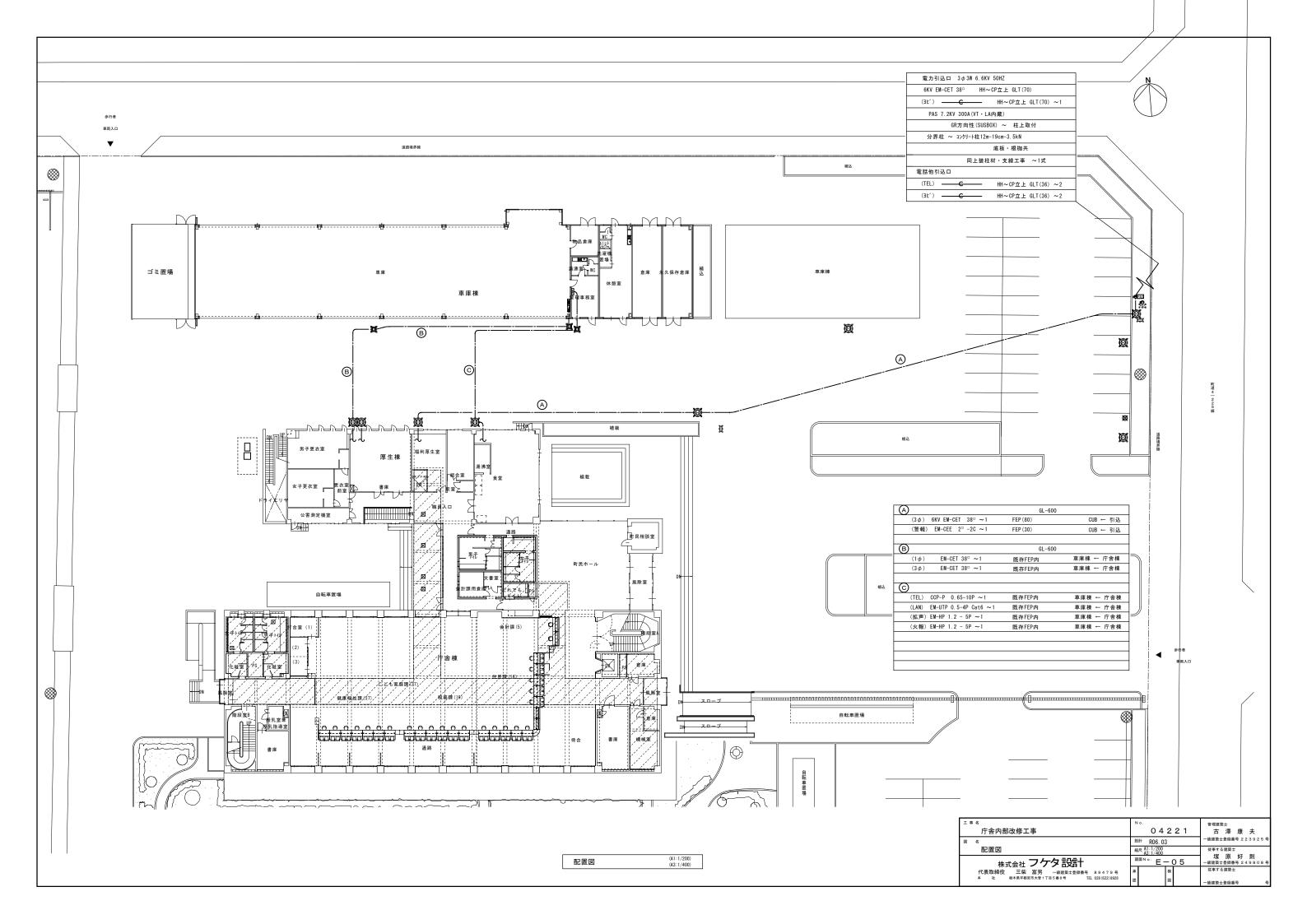
### 別表-1 他工事との取り合い

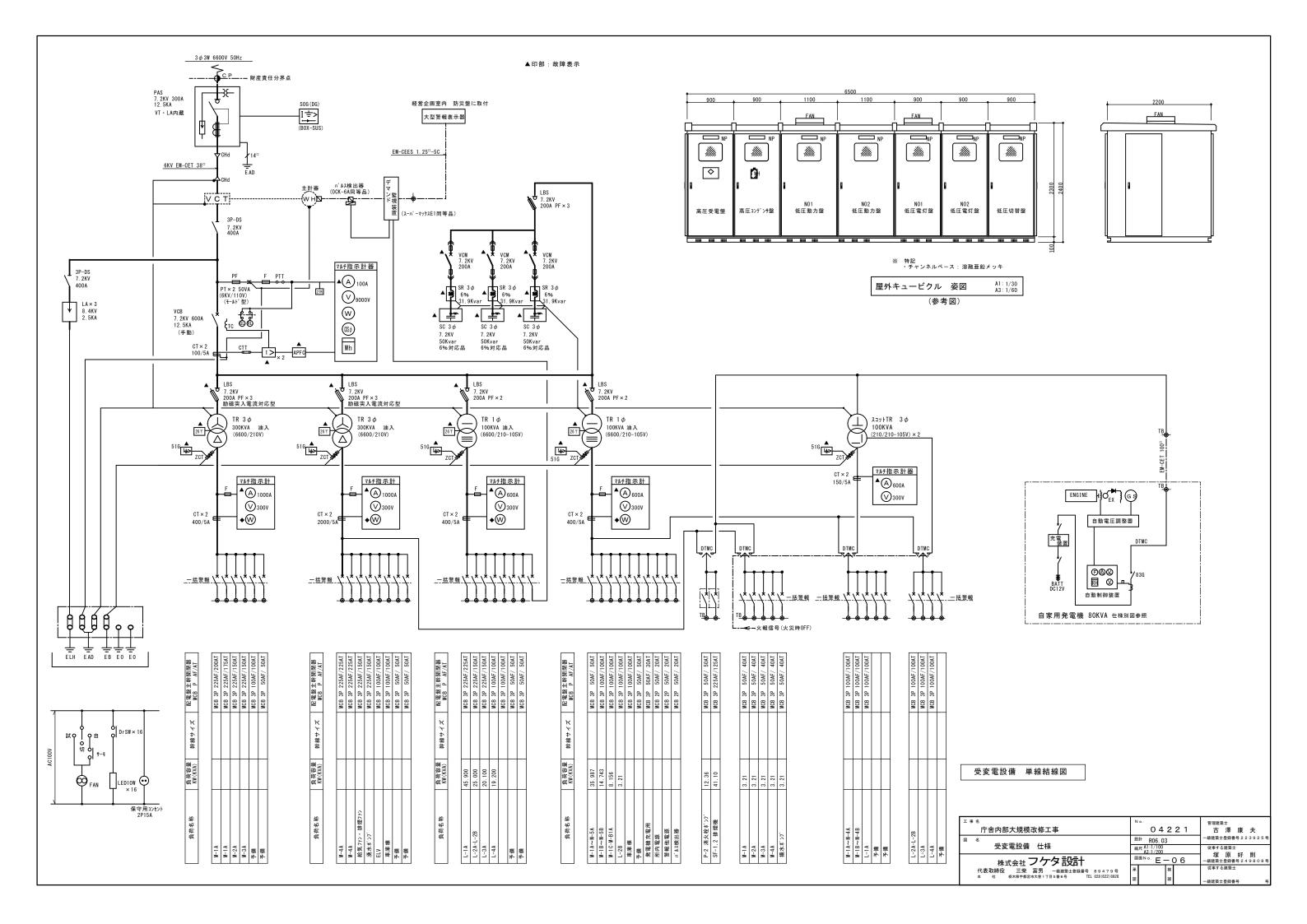
				●印表	・適用	する
工事内容	建築工事	電気設備工事	機械設備工事	塗装工事	昇降機設備工事	
仮設電力の引込み (分電盤・キュービクルまで)	•	0	0	0	0	0
仮設電力の引込み (分電盤・キュービクル以降)	•	•	•	0	0	0
仮設電力の電気料	•	•	•	•	•	0
本受電後の電気基本料金	0	•	0	0	0	0
本受電後引渡しまでの電気使用料	•	•	•	•	•	0
仮設水道の引込み (メーターまで)	•	0	0	0	0	0
仮設水道の引込み (メーター以降)	•	•	•	•	•	0
仮設水道及び本設後引き渡しまでの使用料	•	•	•	•	•	0
梁・壁・床の開口、貫通、埋込部のスリーブ・型枠(電気、機械の配管等)	0	•	•	0	0	0
すべての開口、貫通、埋込部の補強	•	0	0	0	0	0
屋上に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)	•	0	0	0	0	0
屋内及び屋外に設置する機器の基礎(電気及び機械機器)	0	•	•	0	0	0
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の位置・墨出し	0	•	•	0	0	0
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要しない場合の切込み	0	•	•	0	0	0
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強を要する場合の切込み	•	0	0	0	0	0
天井・壁(軽量鉄骨下地)に付く機器の開口部補強	•	0	0	0	0	0
天井換気扇の取付	0	0	•	0	0	0
壁・窓用換気扇の取付	0	0	•	0	0	0
壁・窓用換気扇取付枠	•	0	0	0	0	0
点検口の取付(床・壁・天井・PS等)	•	0	0	0	0	0
防煙ダンパー	0	0	•	0	0	0
防煙 ダンパー用煙感知器の配管・配線	0	0	0	0	0	0
床仕上げ材の穴あけ(フローリングブロック等)	•	•	0	0	0	0
ルーフドレイン及び縦どい (桝及び側溝までの配管)	•	0	0	0	0	0
配線ピット及び蓋	•	0	0	0	0	0
電極 棒 及び フロー トスイッチ	0	0	0	0	0	0
自動扉、電動シャッター、電動スクリーン及び電動カーテン等2次側配線	•	•	0	0	0	0
機械設備の制御、操作盤への電源供給制御	0	0	0	0	0	0
機械設備の制御、操作盤の2次側配線	0	•	•	0	0	0
天井吊り形放熱器(FCU等)と操作スイッチとの配管・配線・接地工事	0	0	0	0	0	0
消火栓箱総合盤用穴あけ	0	0	•	0	0	0
設備機器のインターロックの配管・配線	0	0	0	0	0	0
電気設備のフェンス・金網	0	•	0	0	0	0
ガス漏れ警報器(単設型)	0	•	•	0	0	0
ガス漏れ警報器(集中監視型)	0	0	0	0	0	0
ガス漏れ警報用器用コンセント	0	•	0	0	0	0
造り付け流し台 ポート・ロープ	•	•	0	0	0	0
造り付け流し台排水トラップ	•	0	0	0	0	0
既製流し台及び排水トラップ (ガス台・洗面化粧台等を含む)	0	0	•	0	0	0
既製吊戸棚	•	0	0	0	0	0

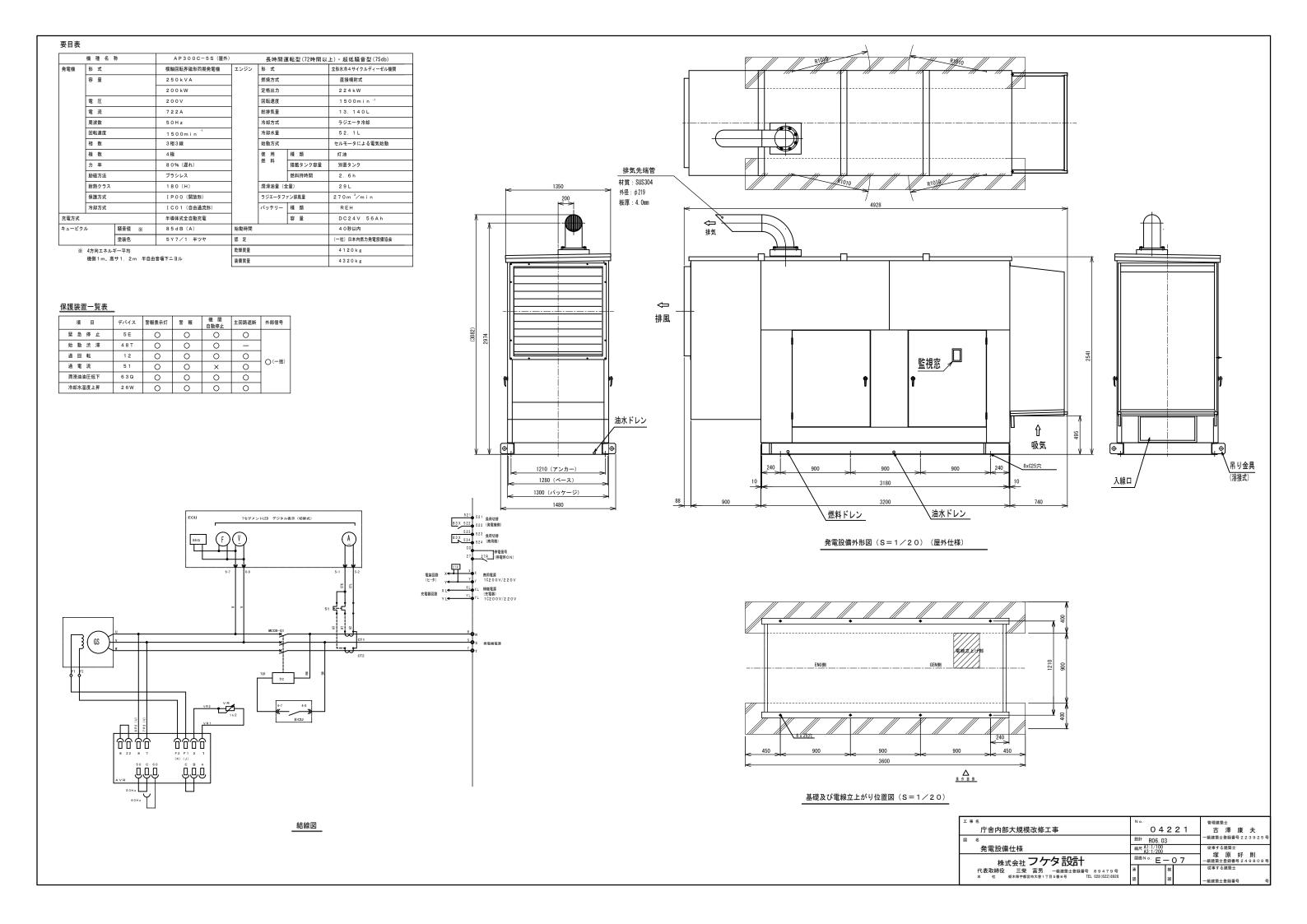
既製吊戸棚	•	0	0	0	0	0
鏡(姿見は建築工事)	0	0	•	0	0	0
昇降機の出入口開口の型枠	•	0	0	0	0	0
昇降機の乗場ボタン、インジケーター配管用スリーブ及び型枠	•	0	0	0	0	0
昇降機のビット内保守用コンセント	0	•	0	0	0	0
外壁取付ガラリ、排煙口	•	0	0	0	0	0
体育館などの器具・安定器など取付下地金物	•	0	0	0	0	0
昇降機インターホンの配管・配線	0	•	0	0	0	0

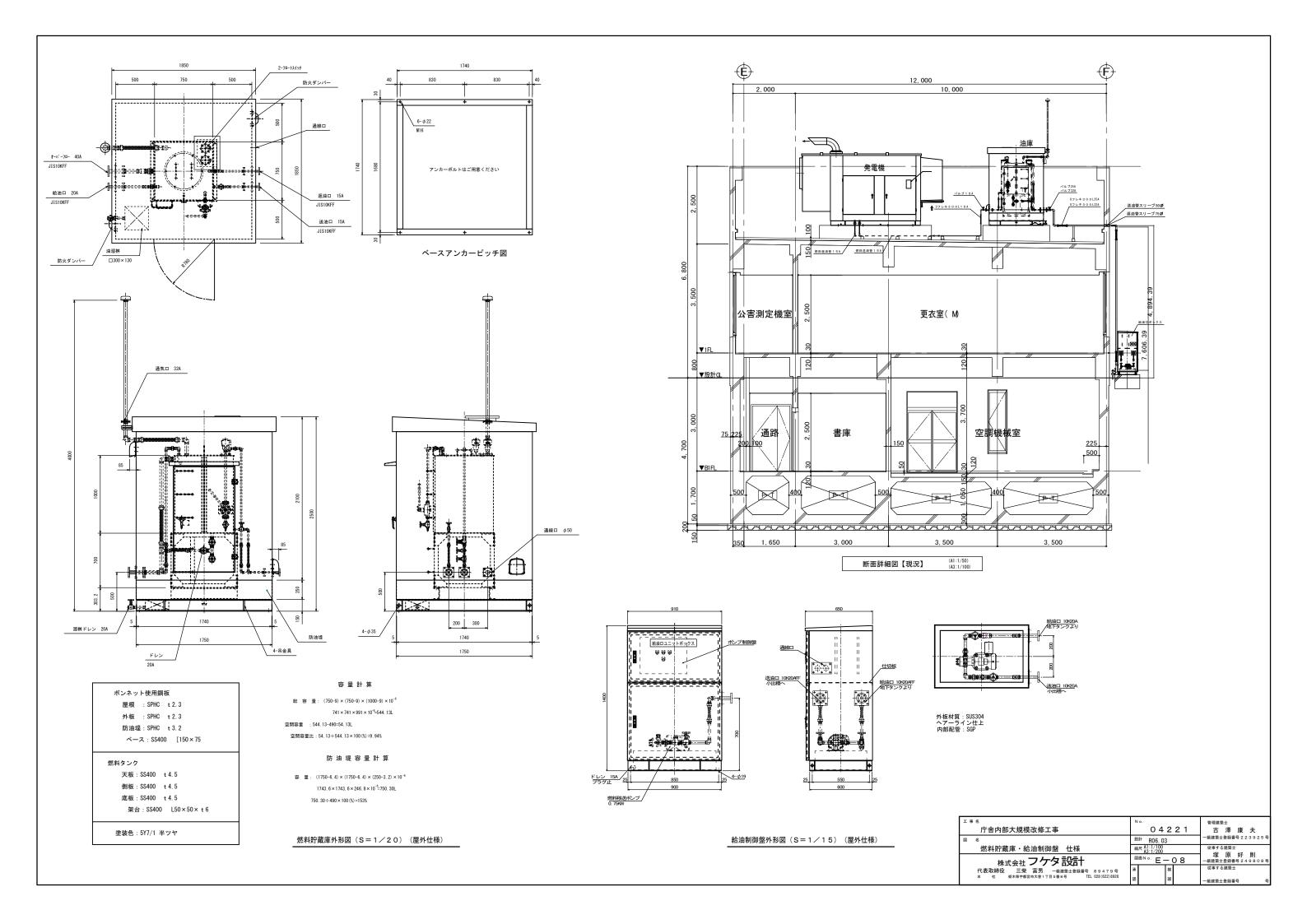
工事名称	事名称 广舎内部大規模改修工事		
図面名称/縮尺	特記仕様書(その3)	図面番号	
設計年月日	R06. 03	F 0.0	
設計者	株式会社フケタ設計	E-03	
発注者	上三川町		

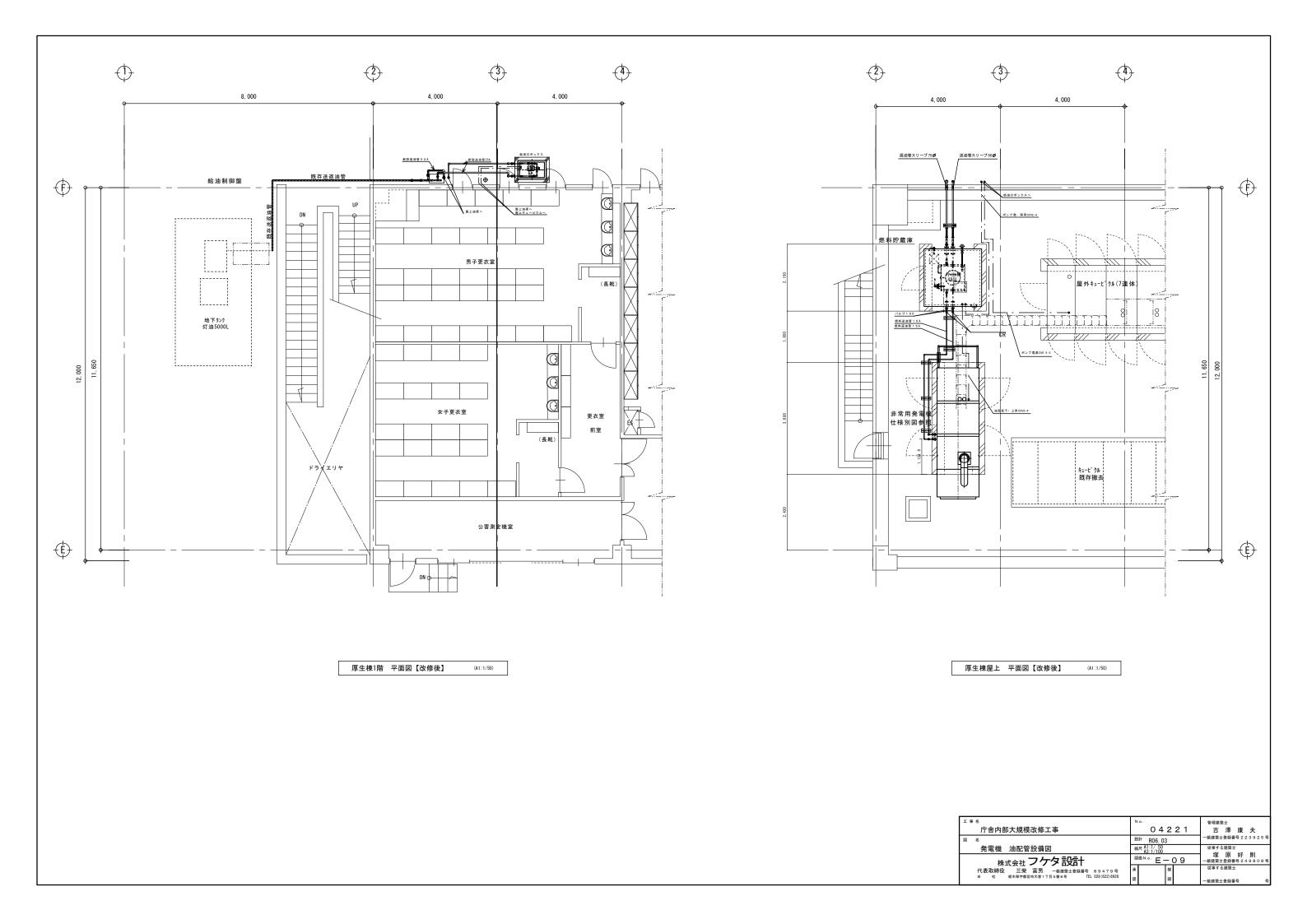


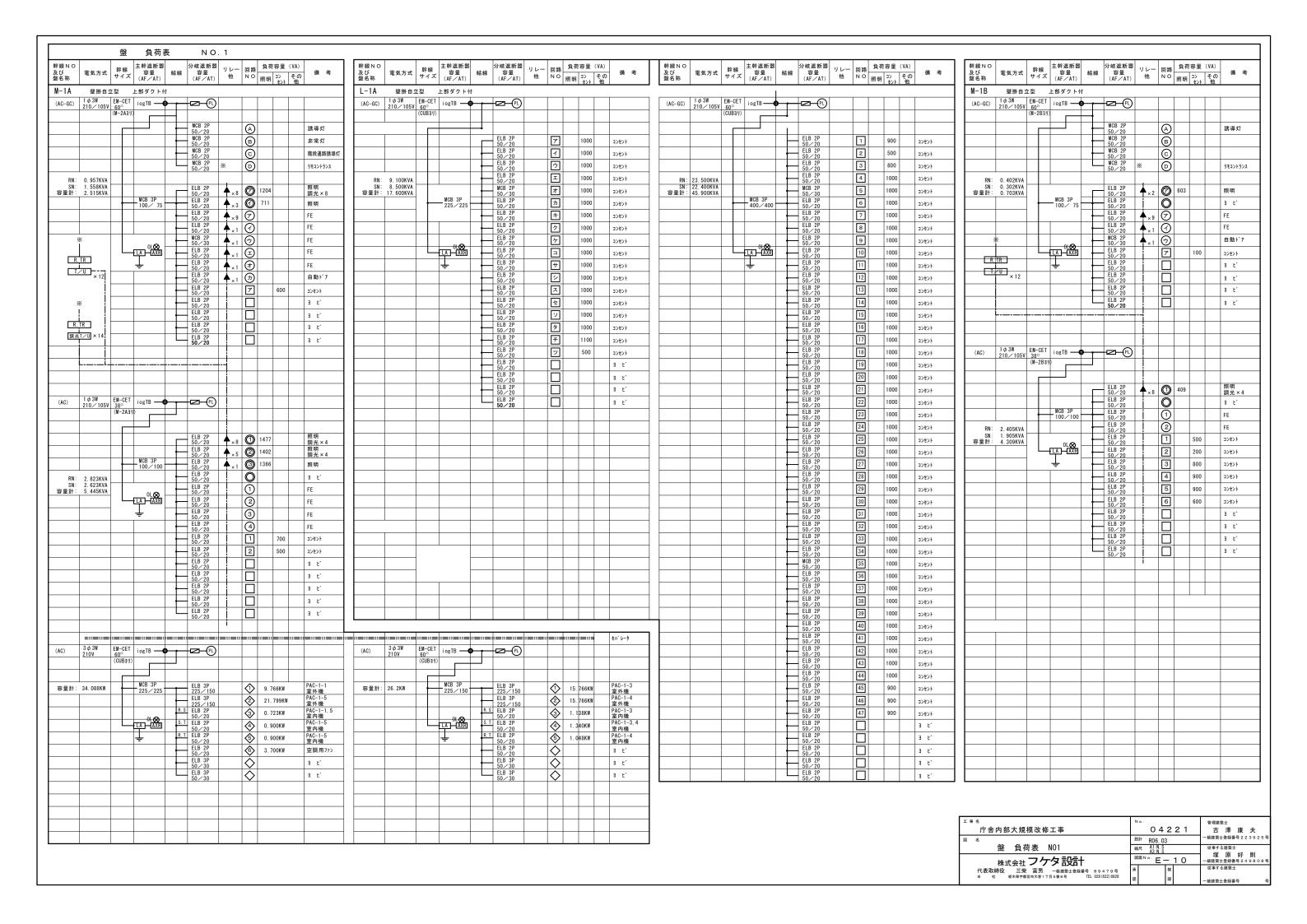


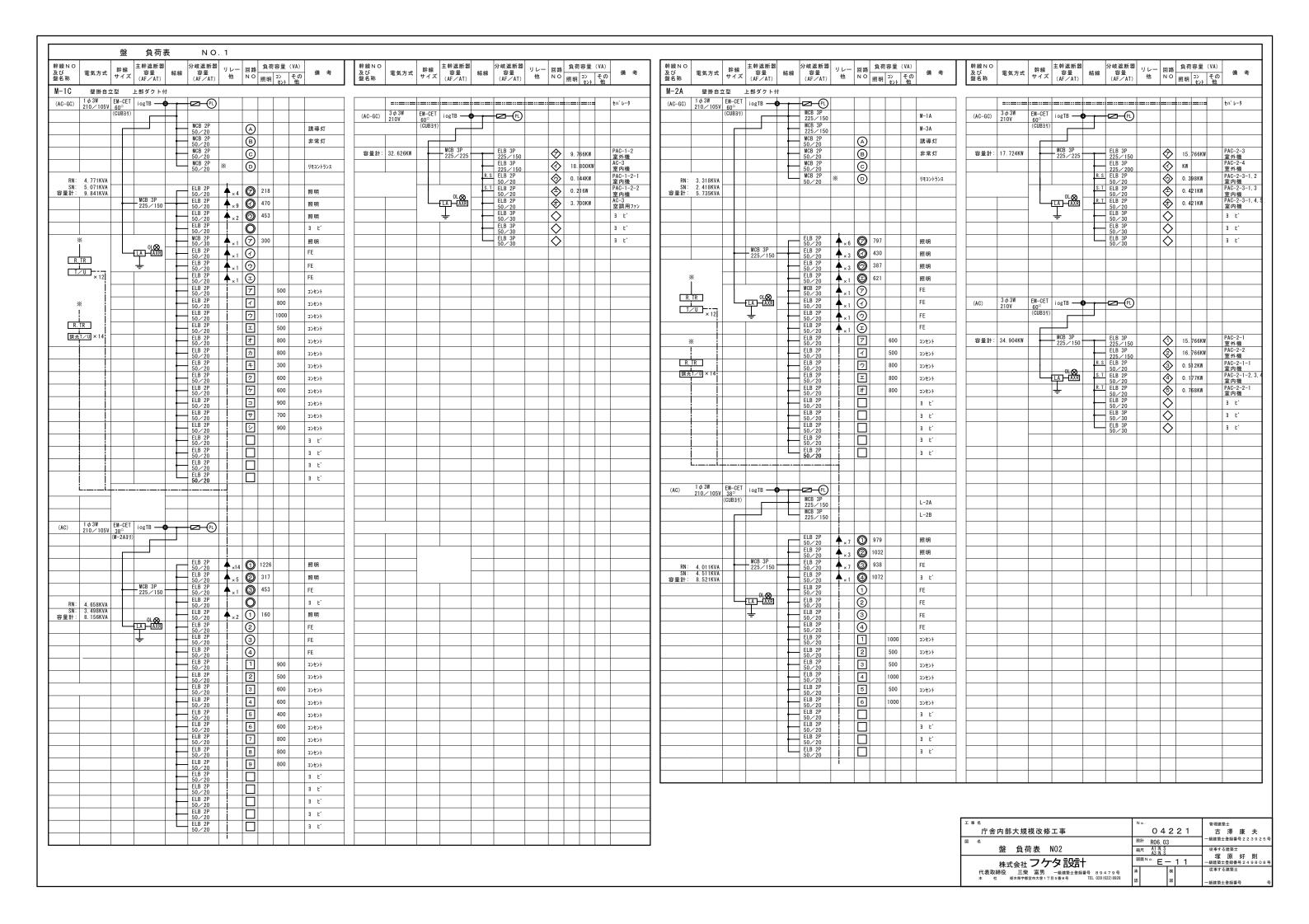


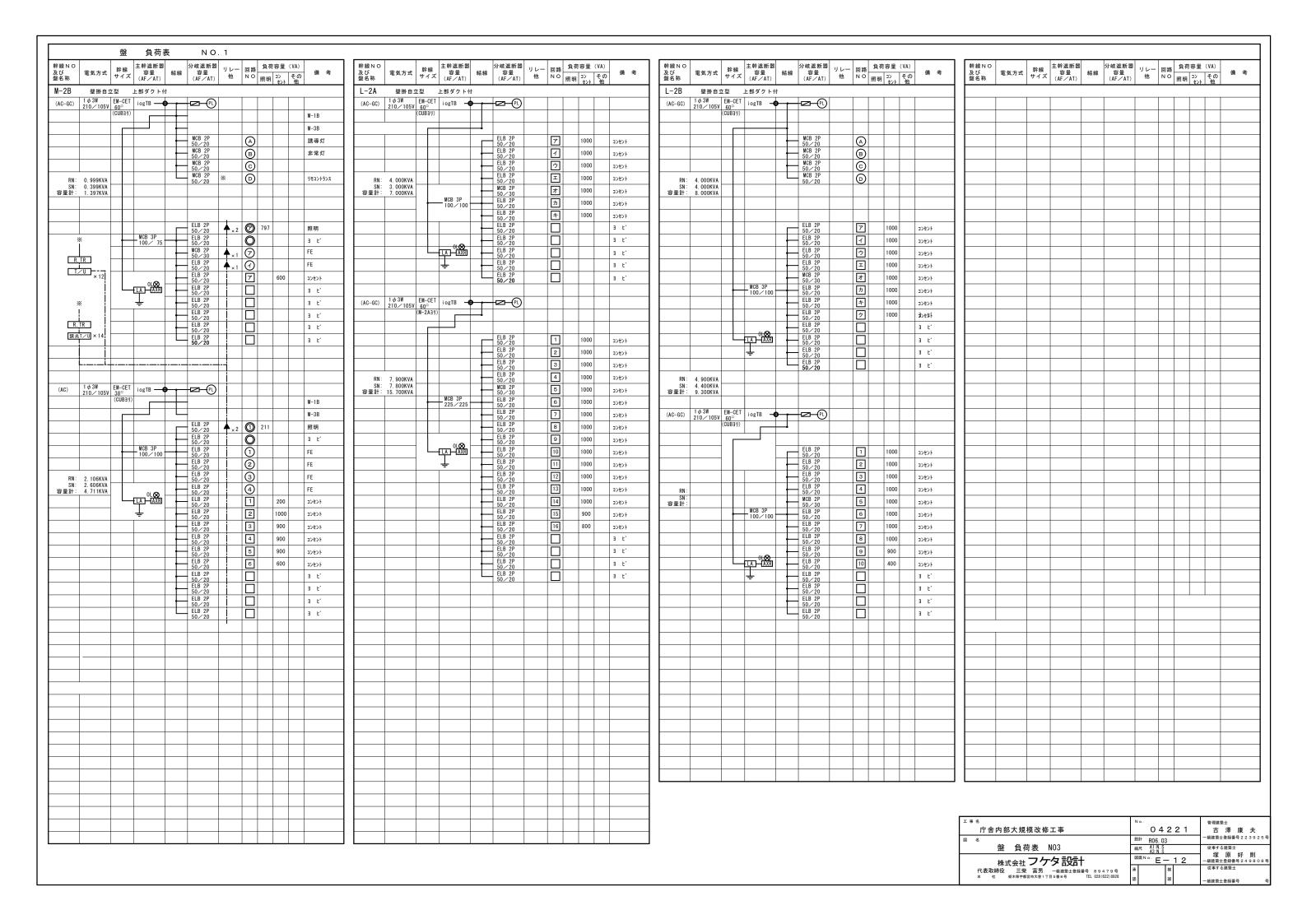


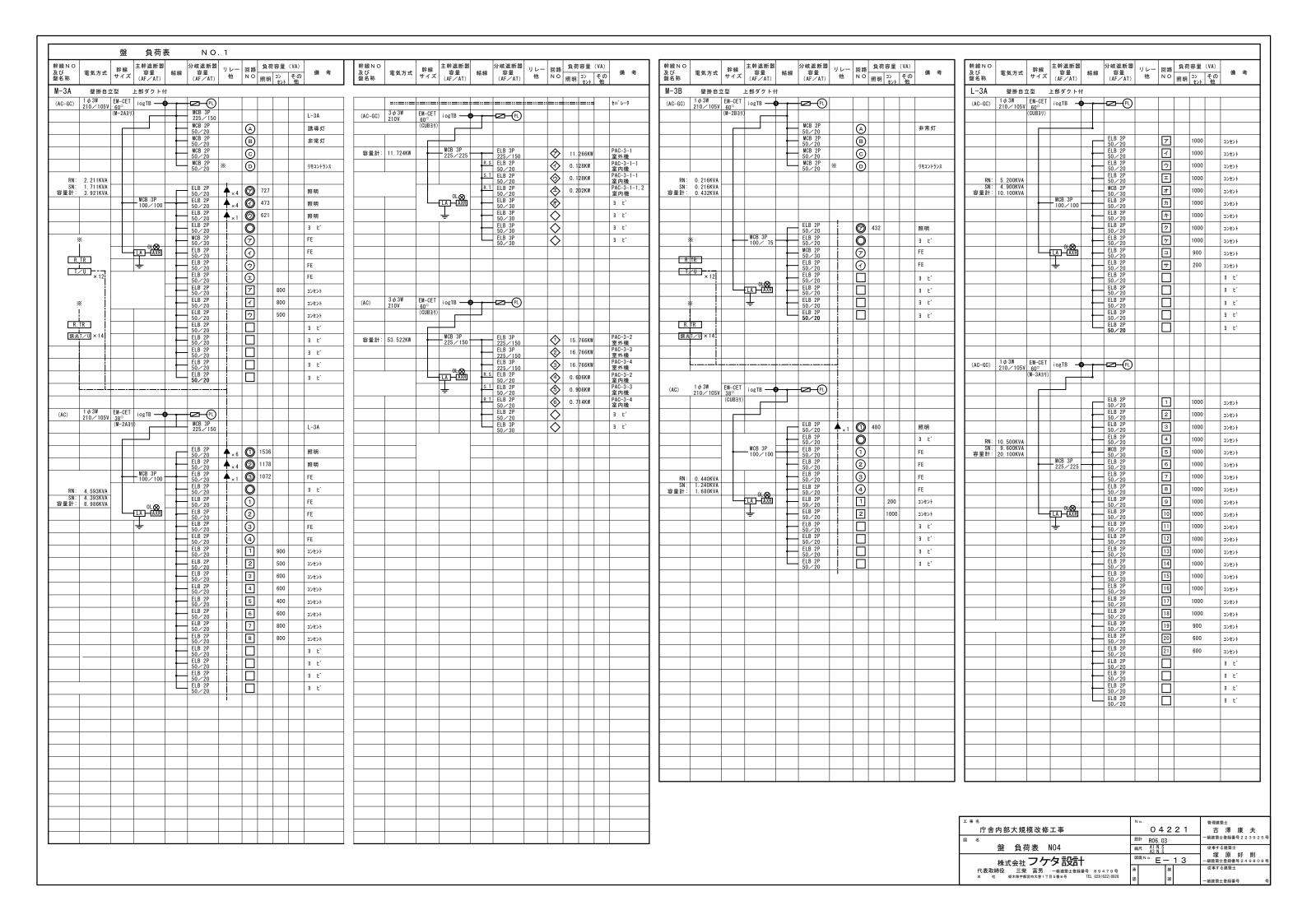


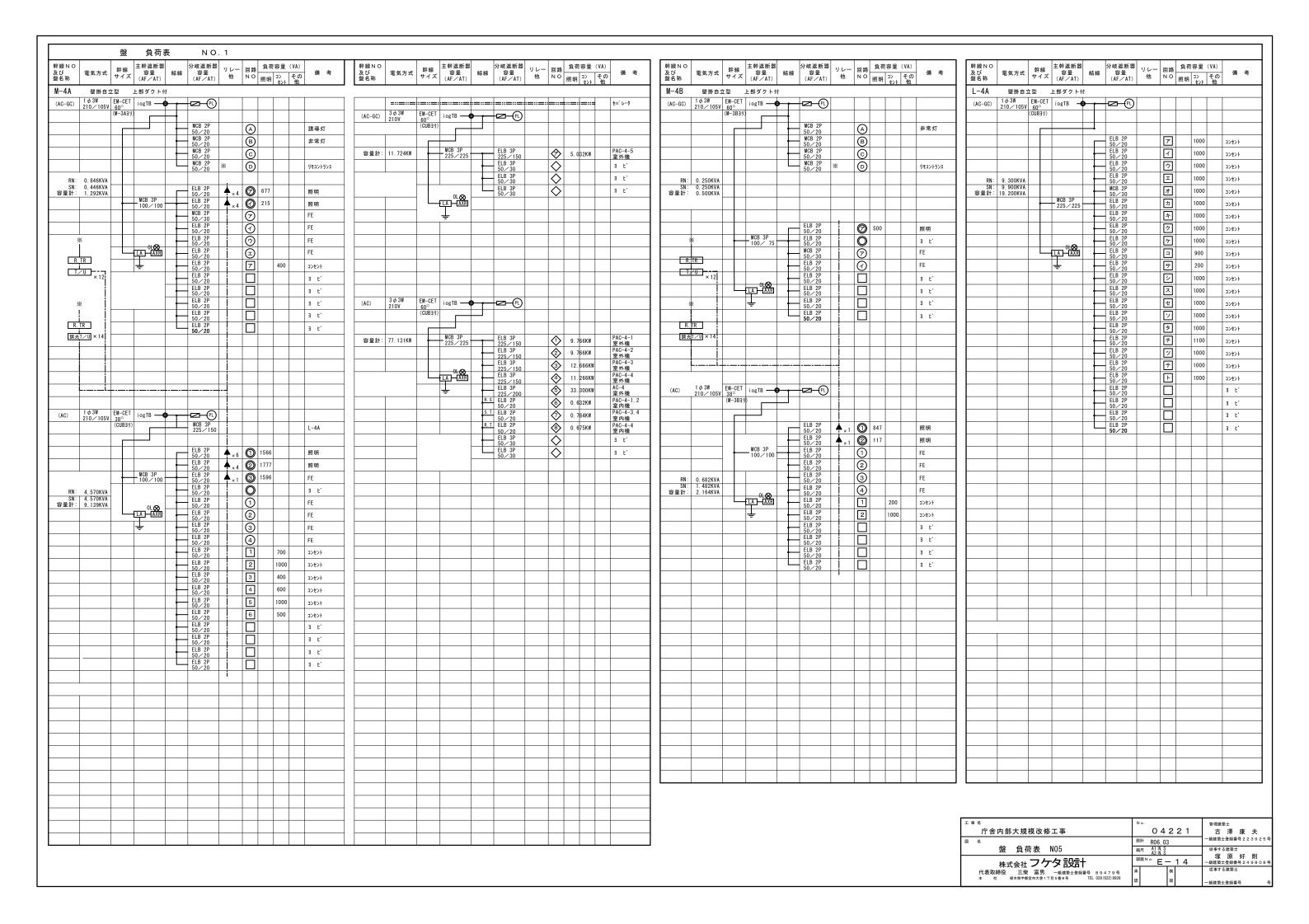


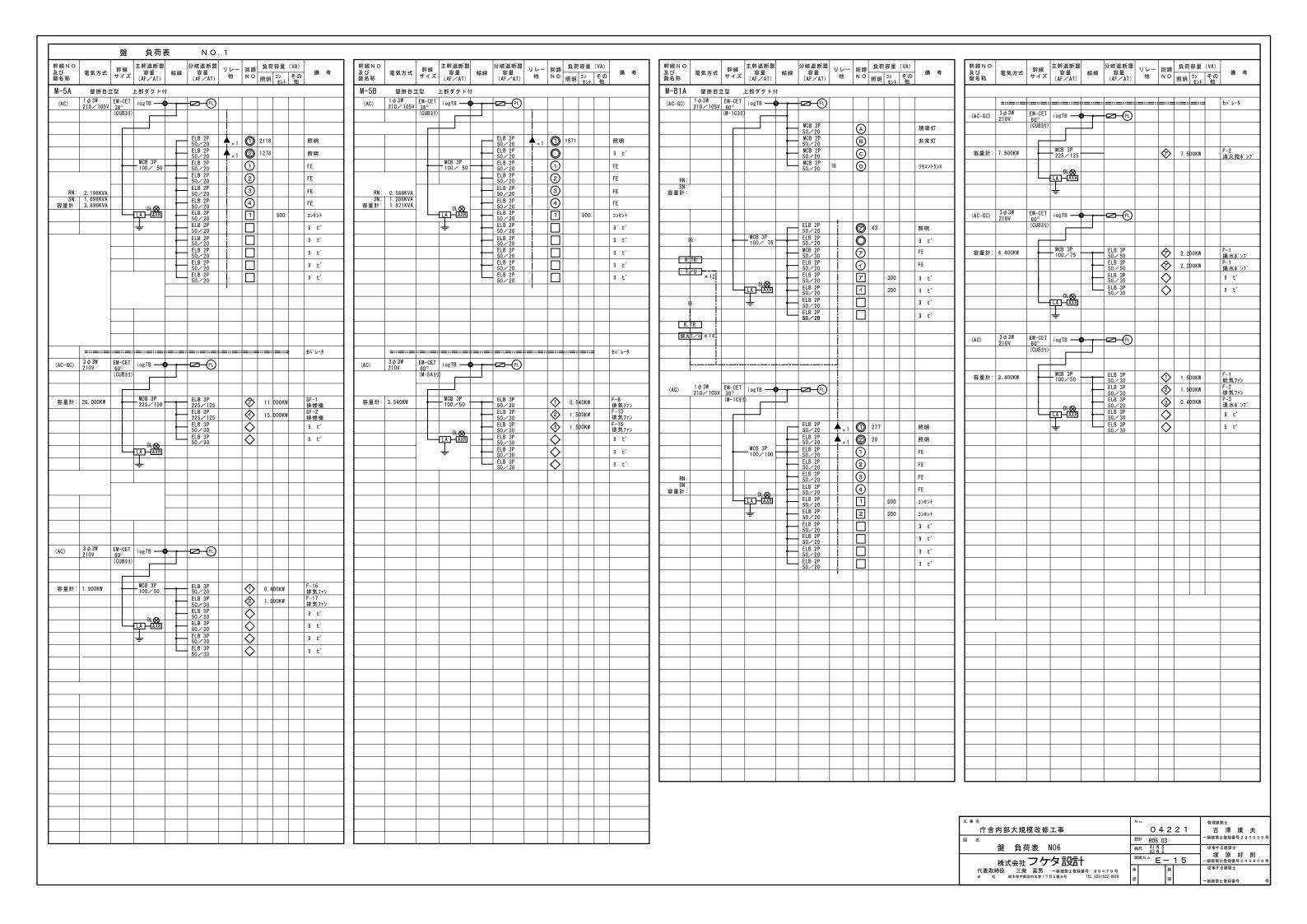


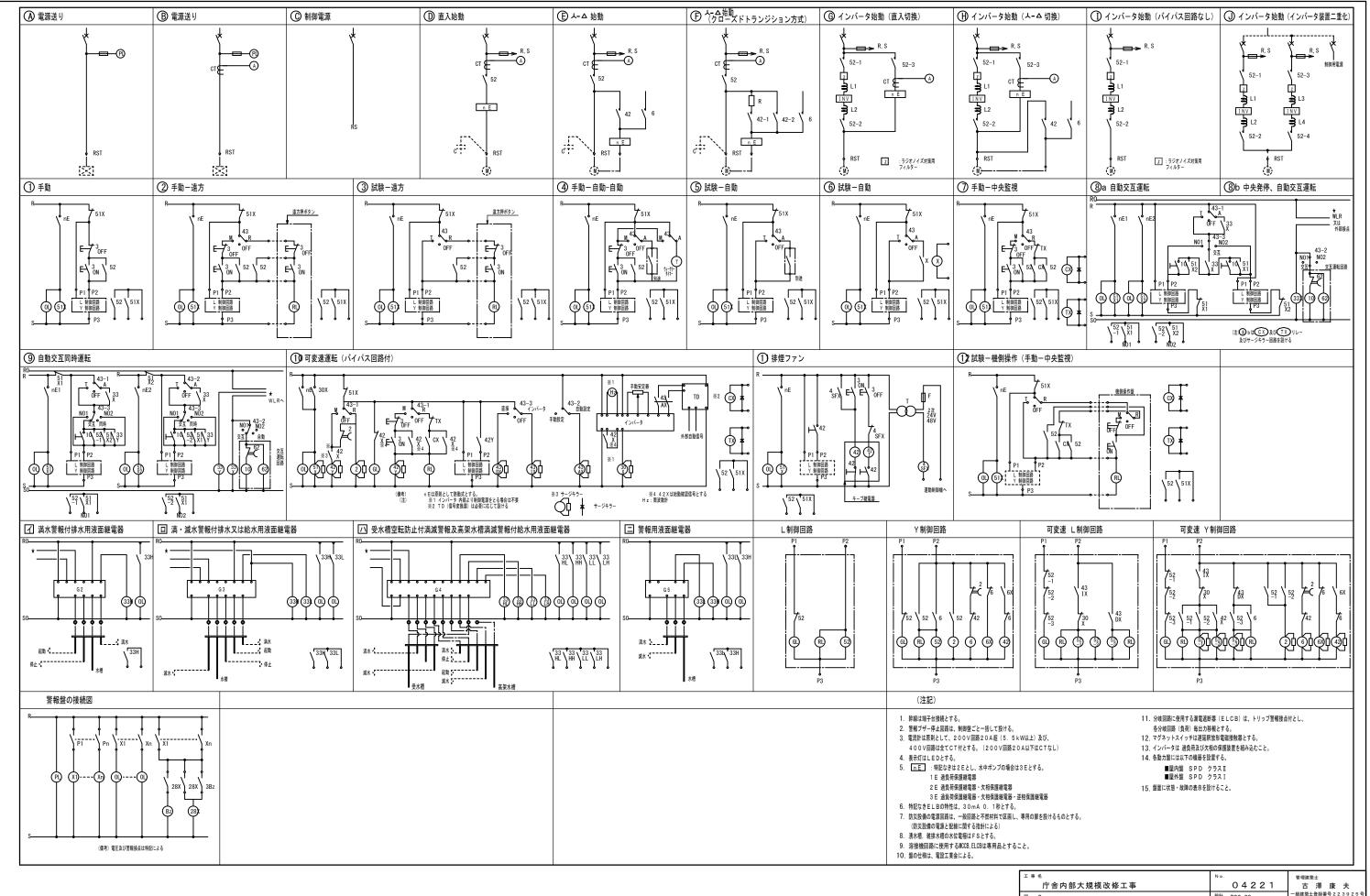




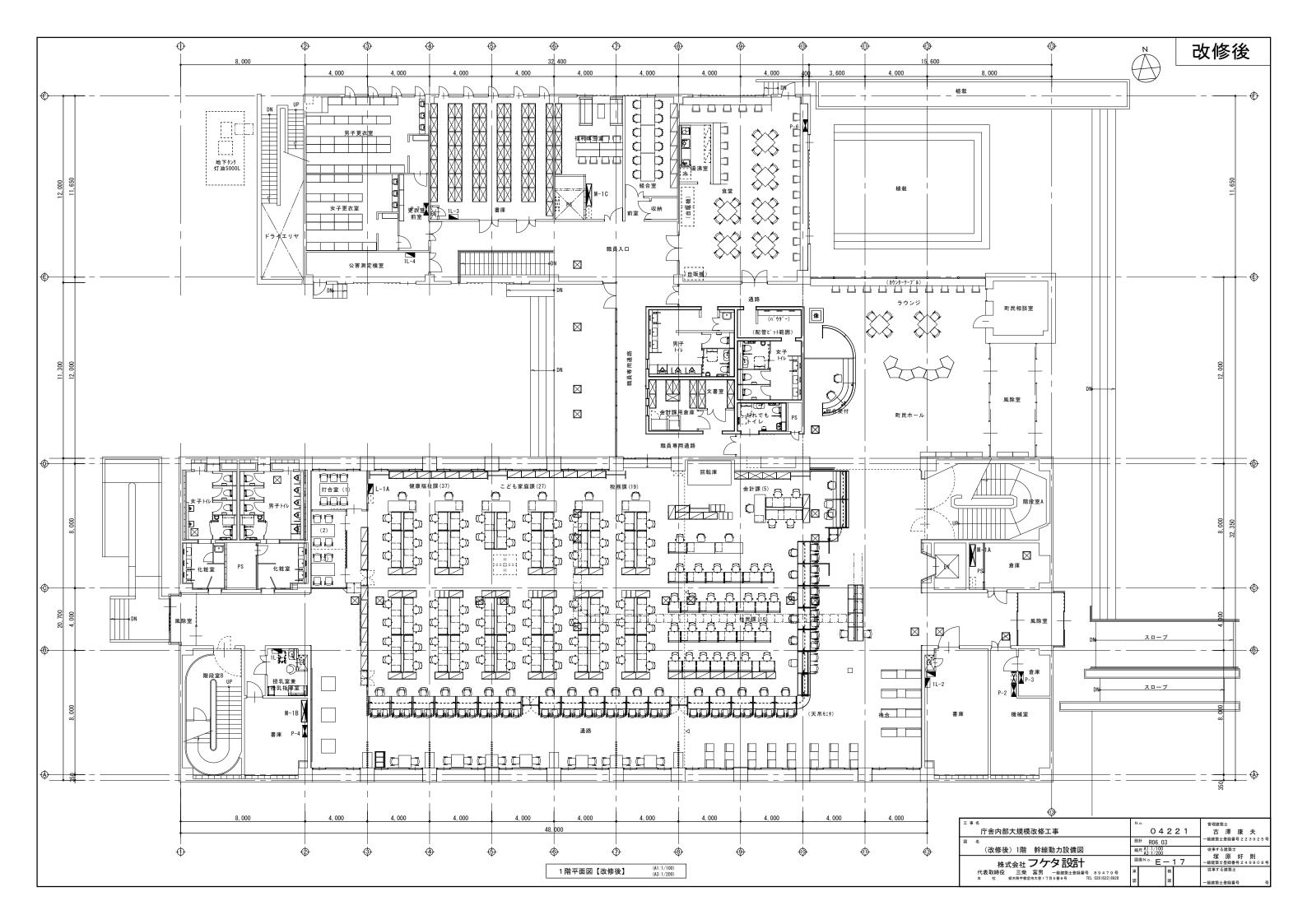


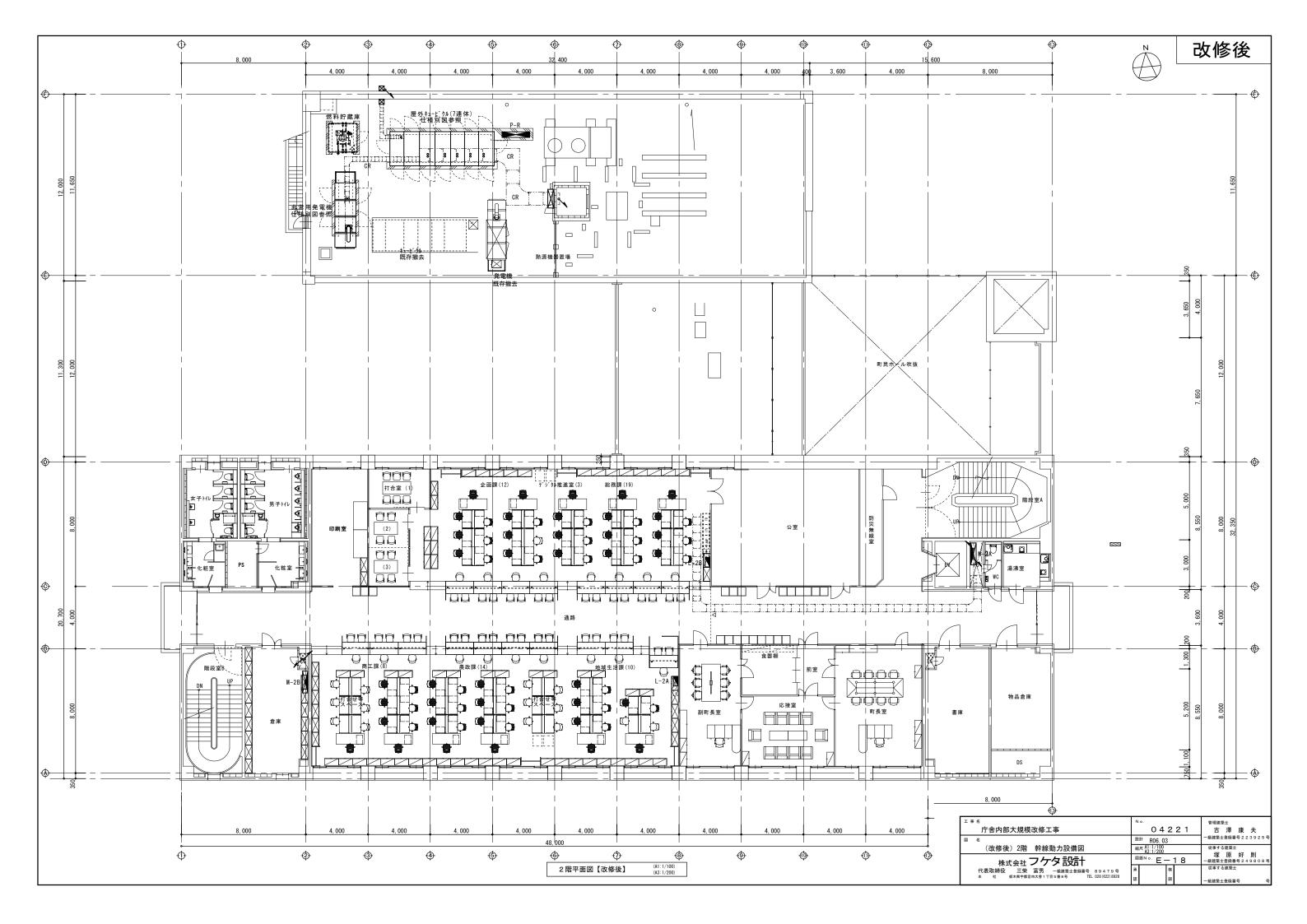


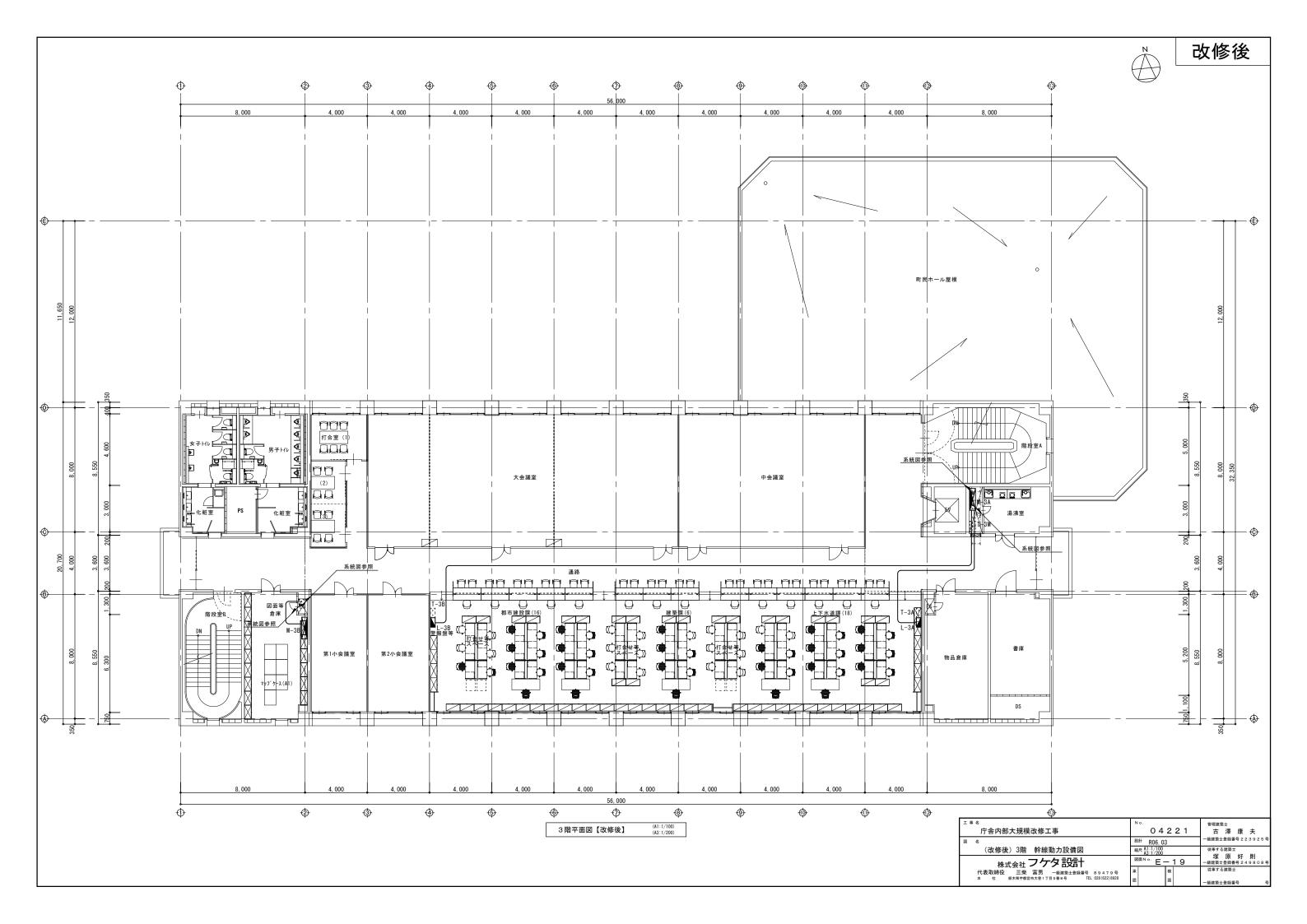


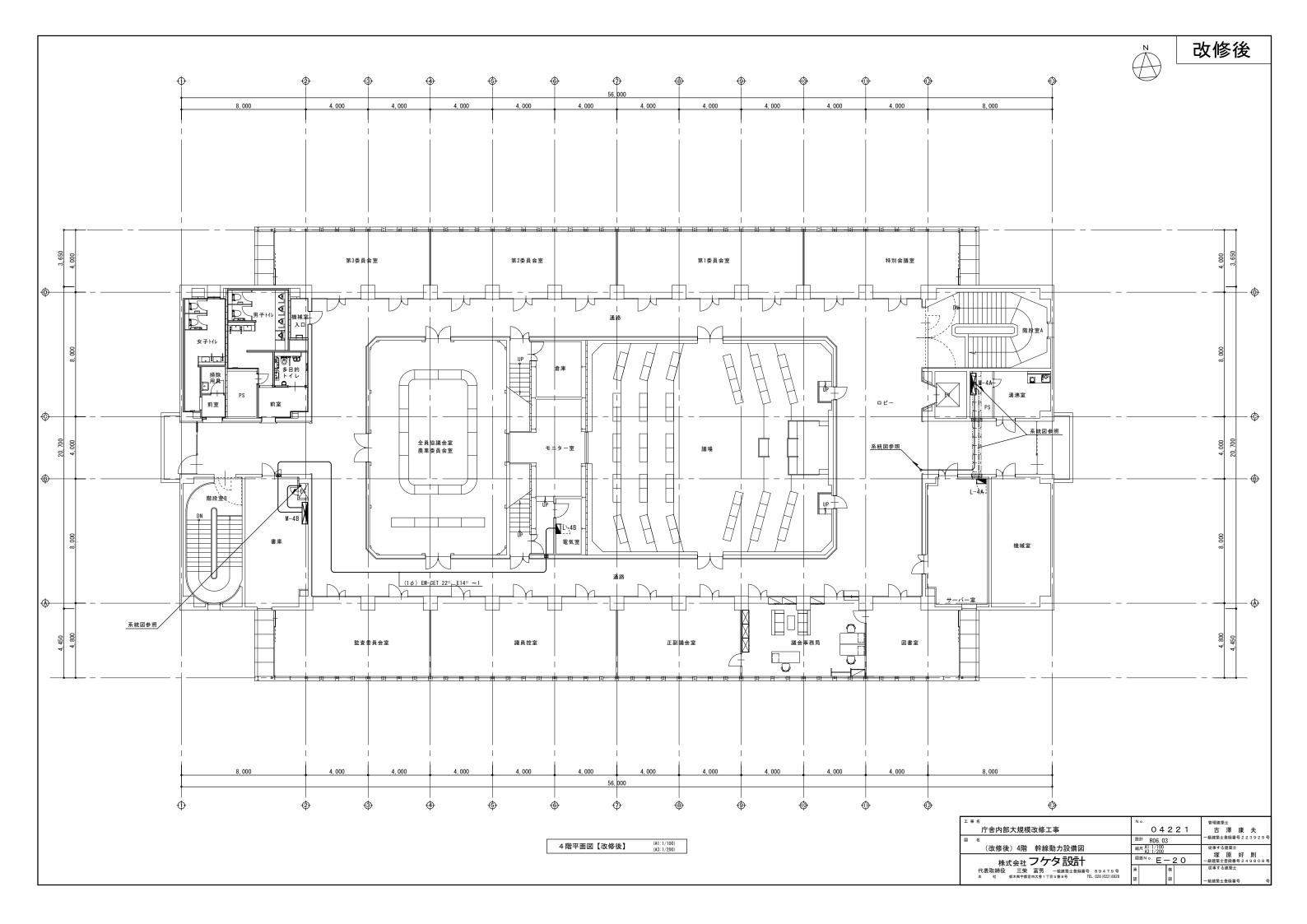


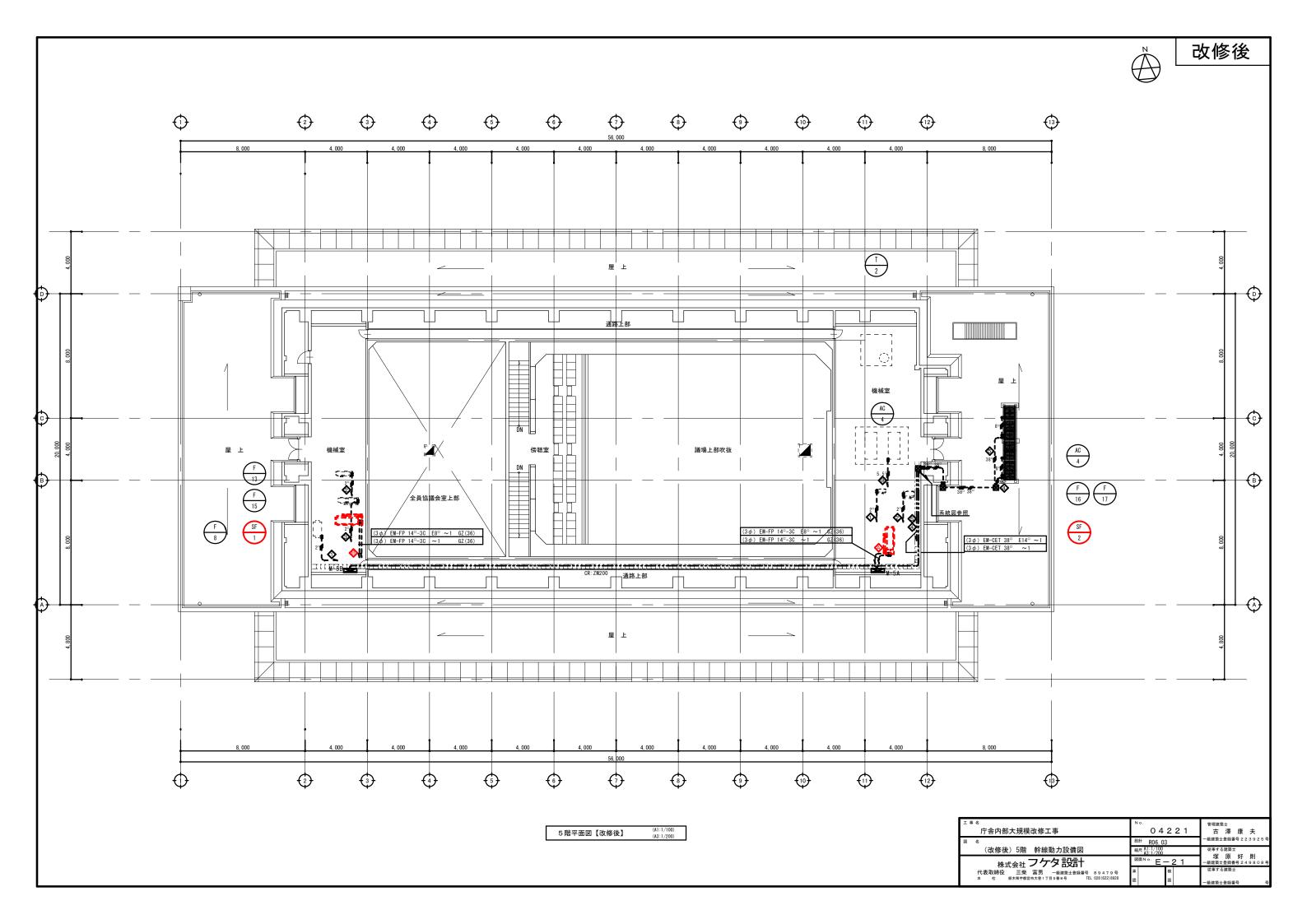
工 * 名	0 4 2 2 1	<sub>管理建築士</sub> 古澤康夫
図 名	<sup>股計</sup> R06. 03	一級建築士登録番号223925号
動力盤 標準回路表	箱尺 A1:N.S A3:N.S	<sub>従事する建築士</sub> 塚 原 好 則
株式会社フケタ設計	<sup>図面 N o ·</sup> E − 16	塚 原 好 則 -級建築士登録番号249808号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号 本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL 028 (622)8928	承線図	従事する建築士

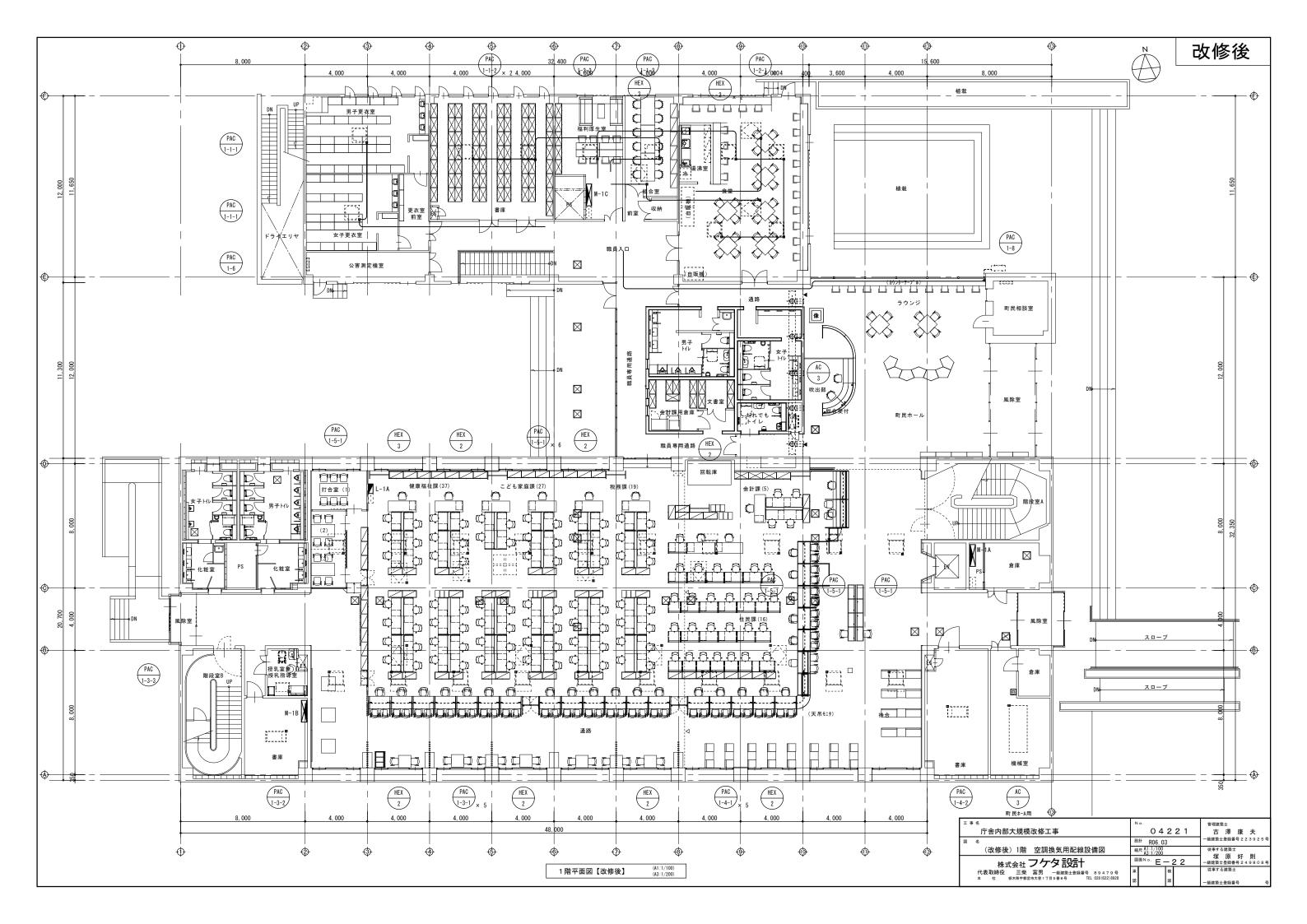


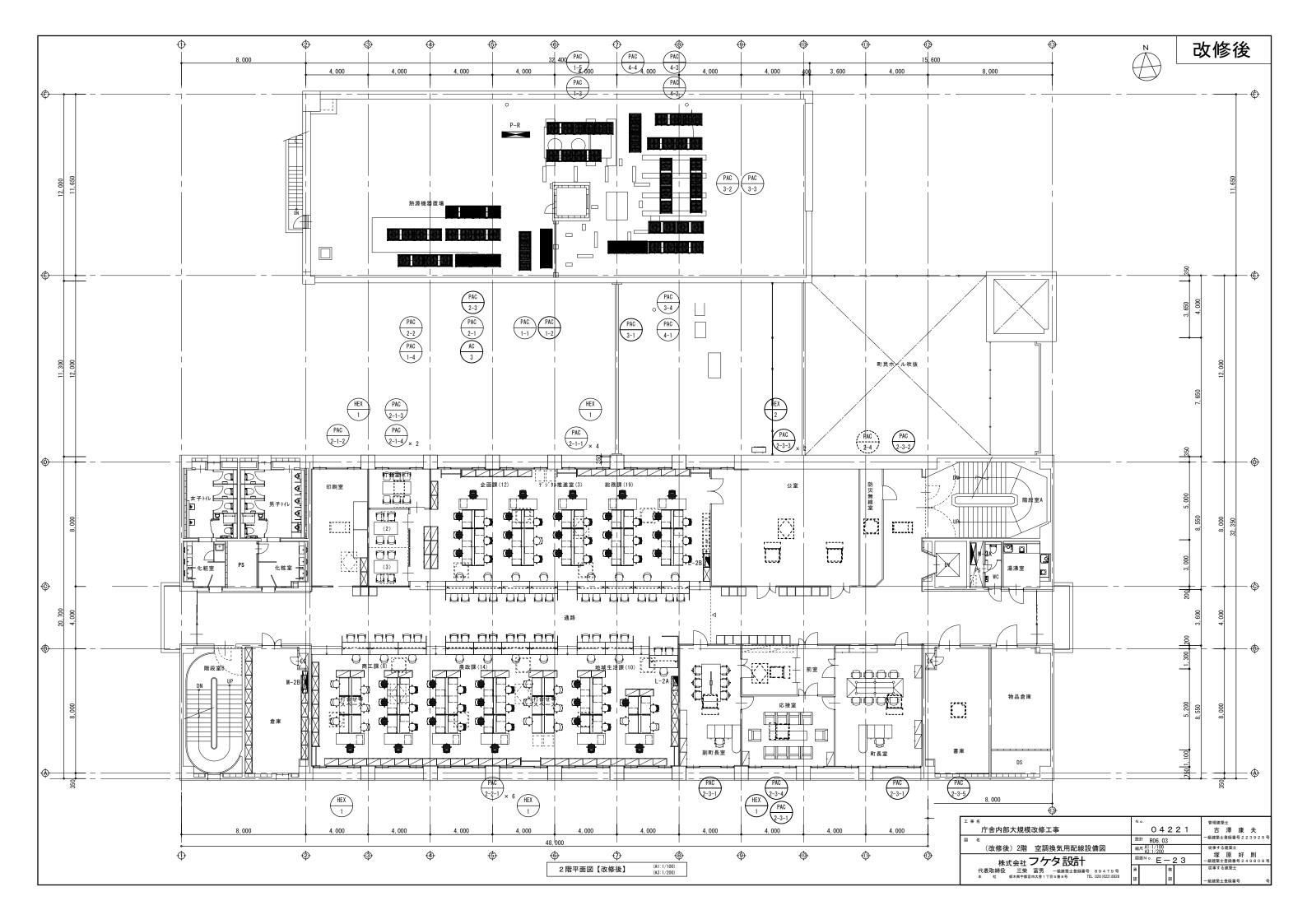


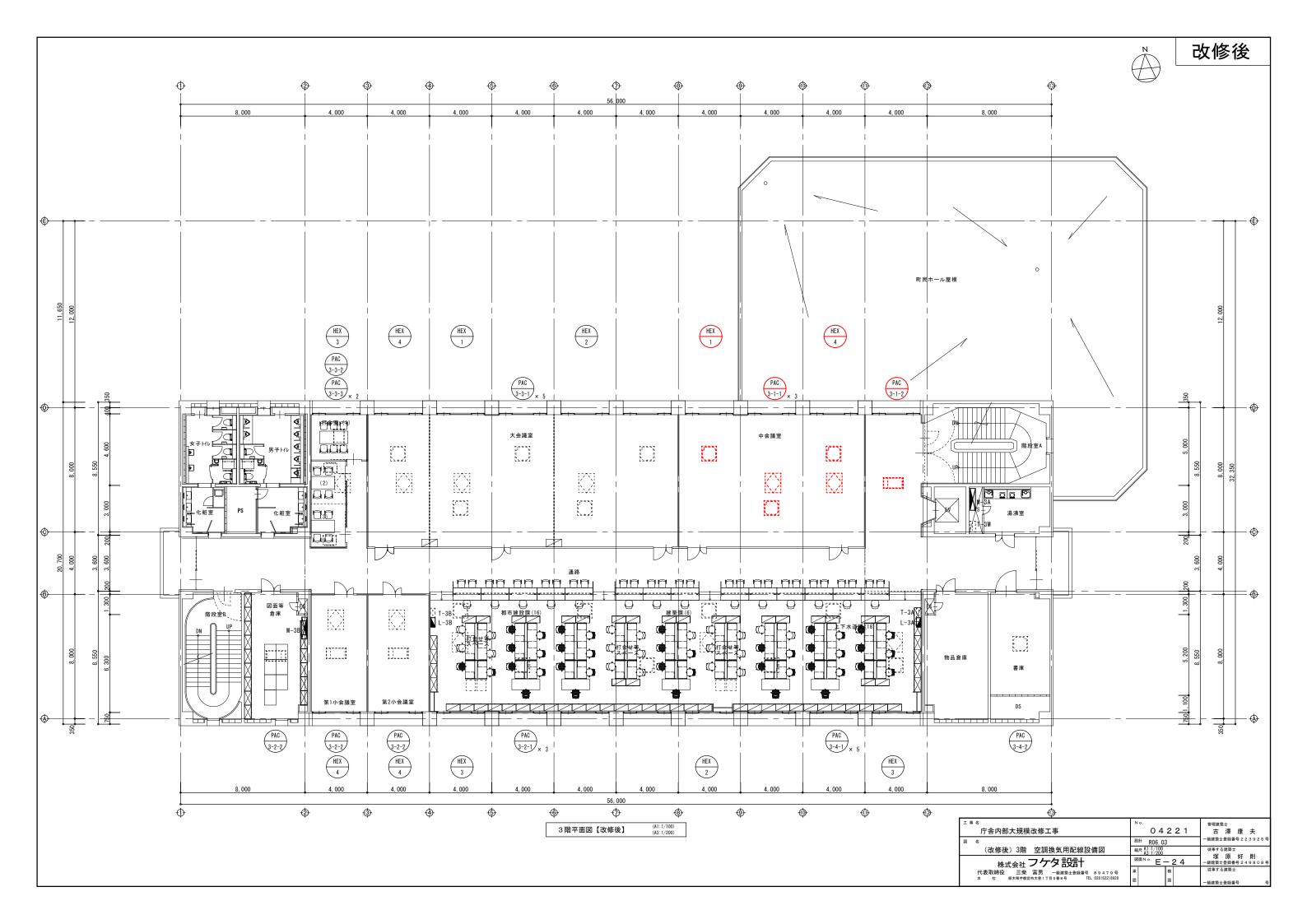


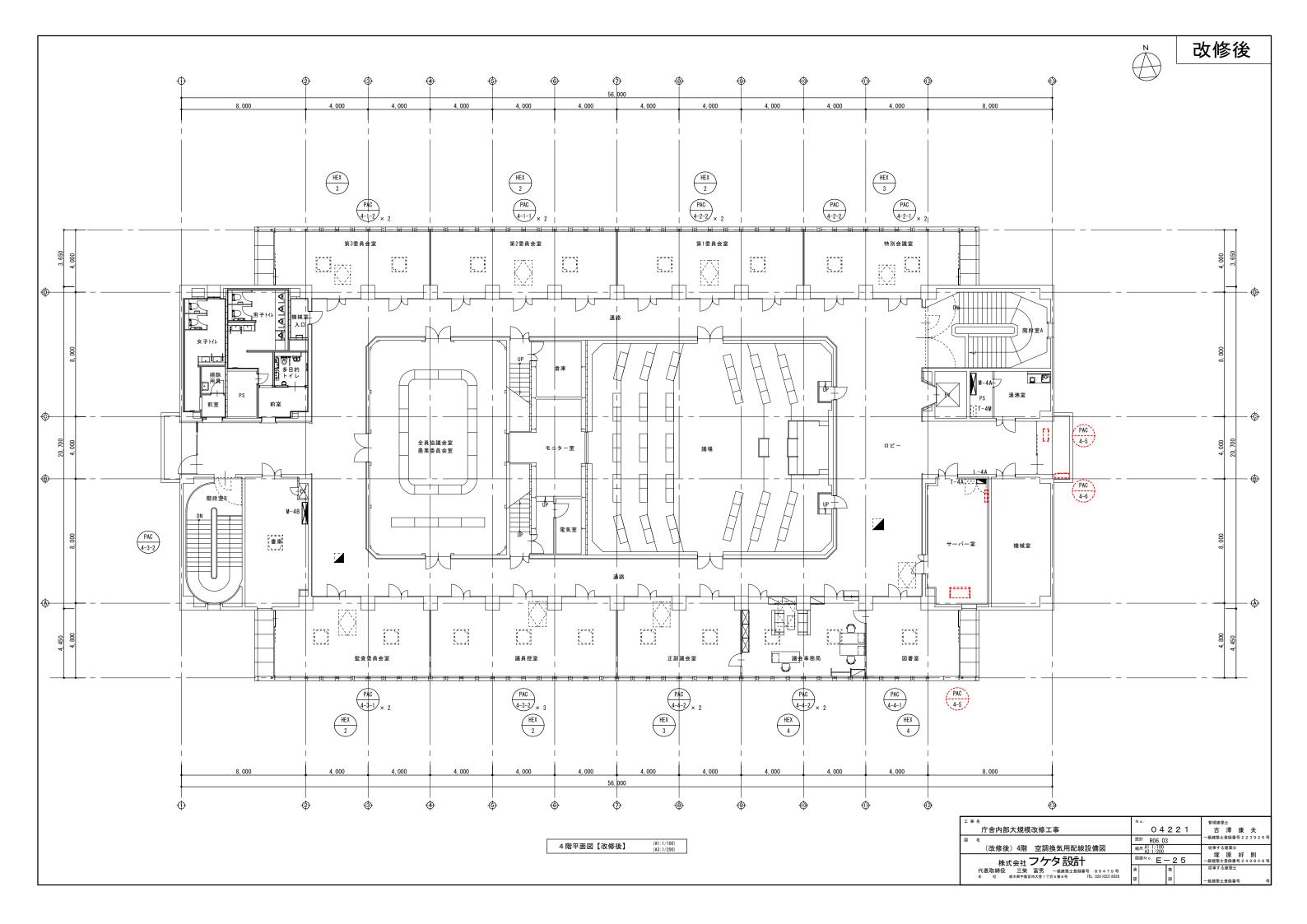


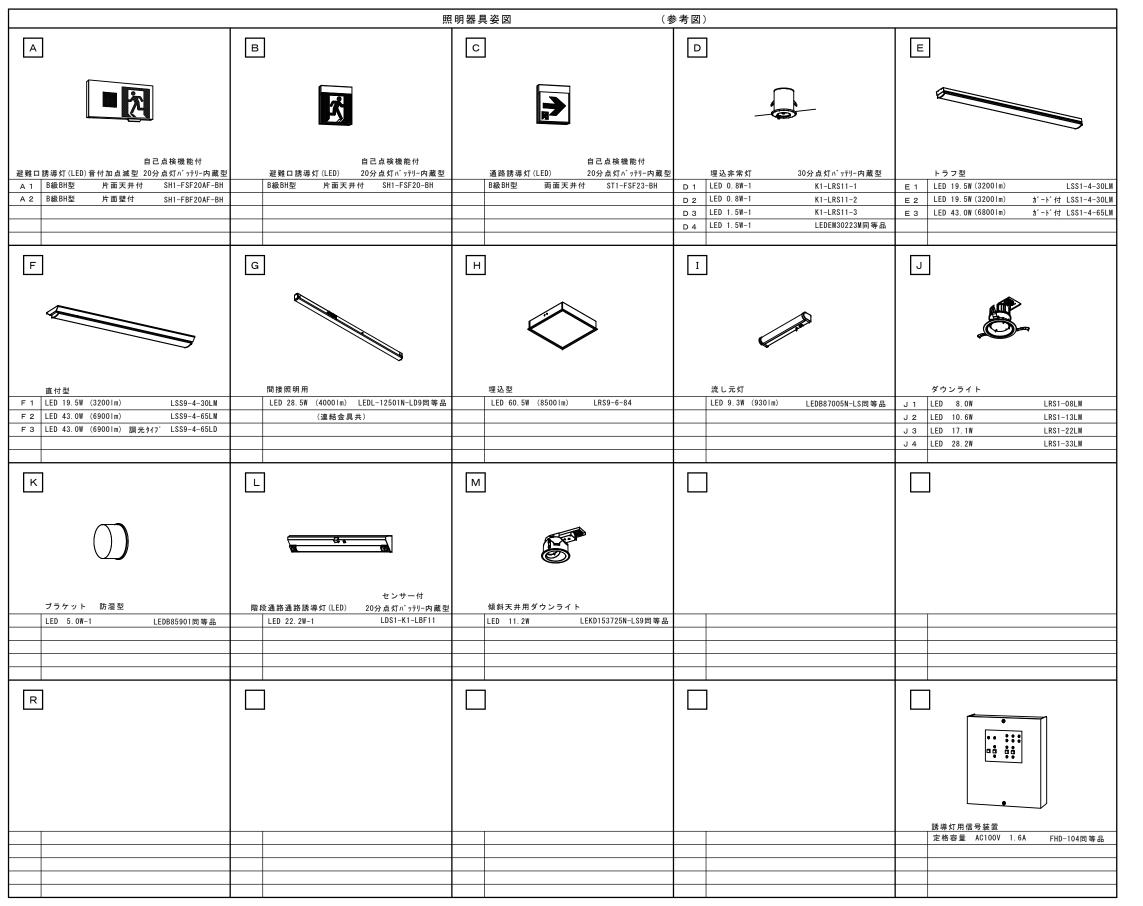








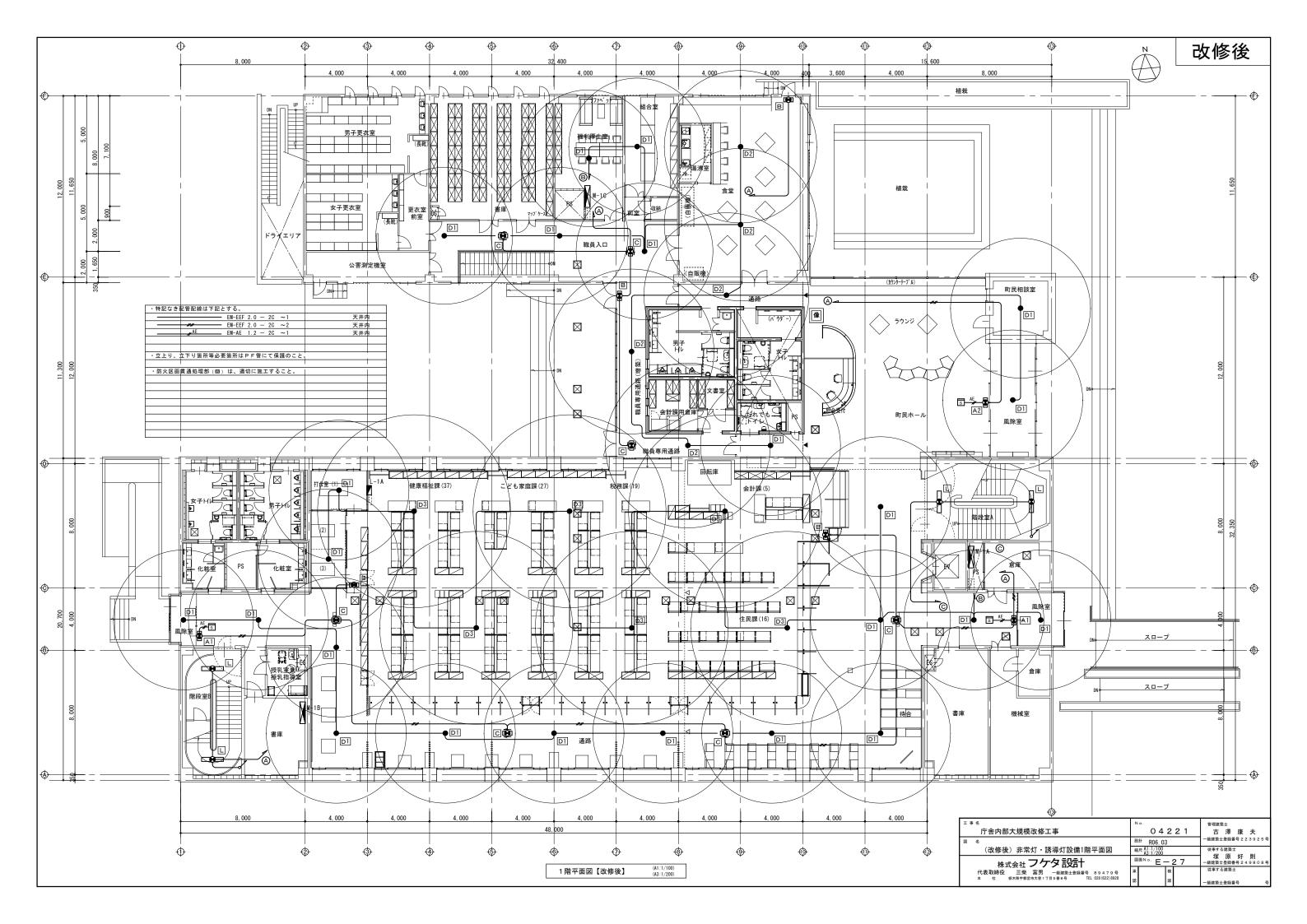


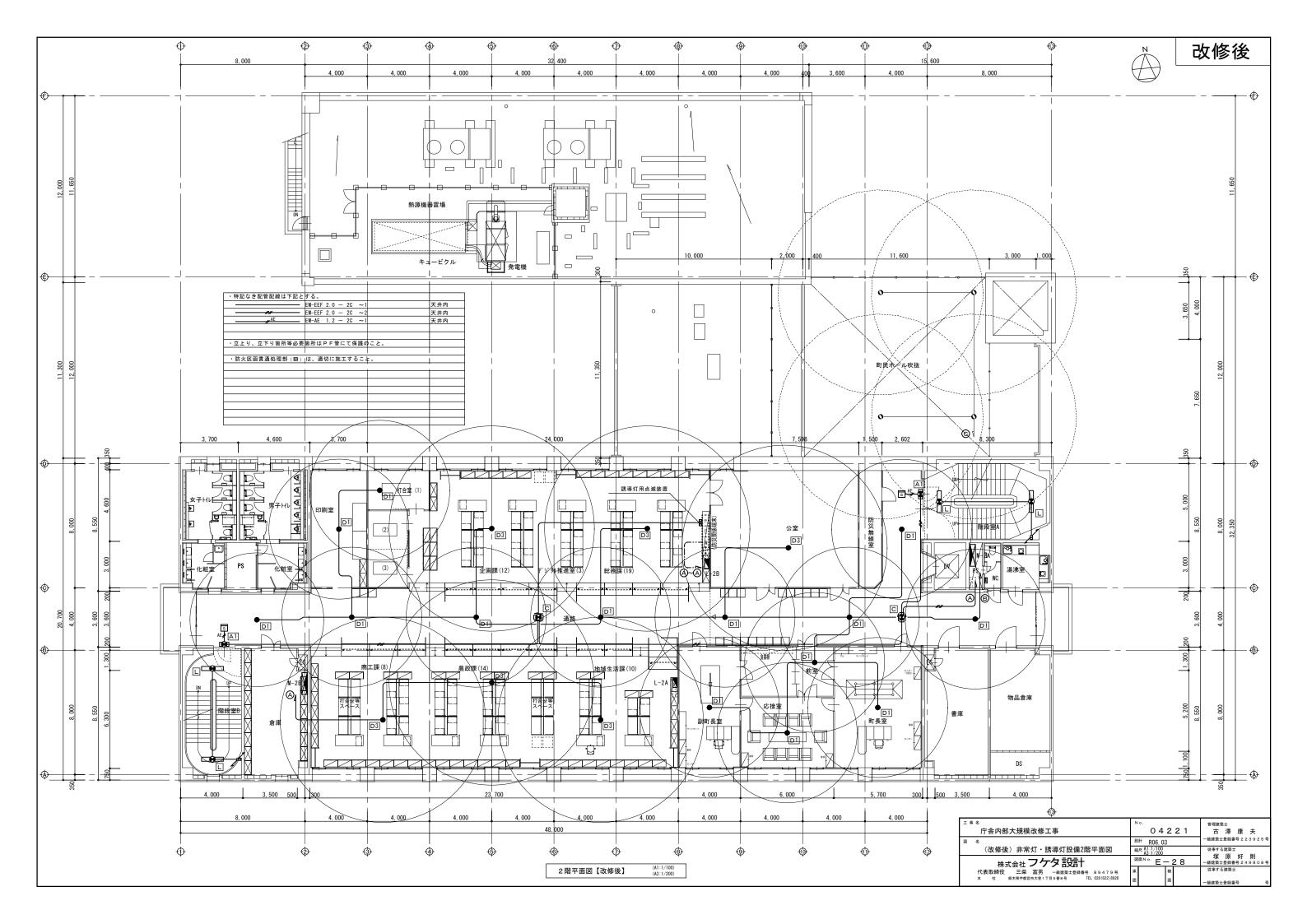


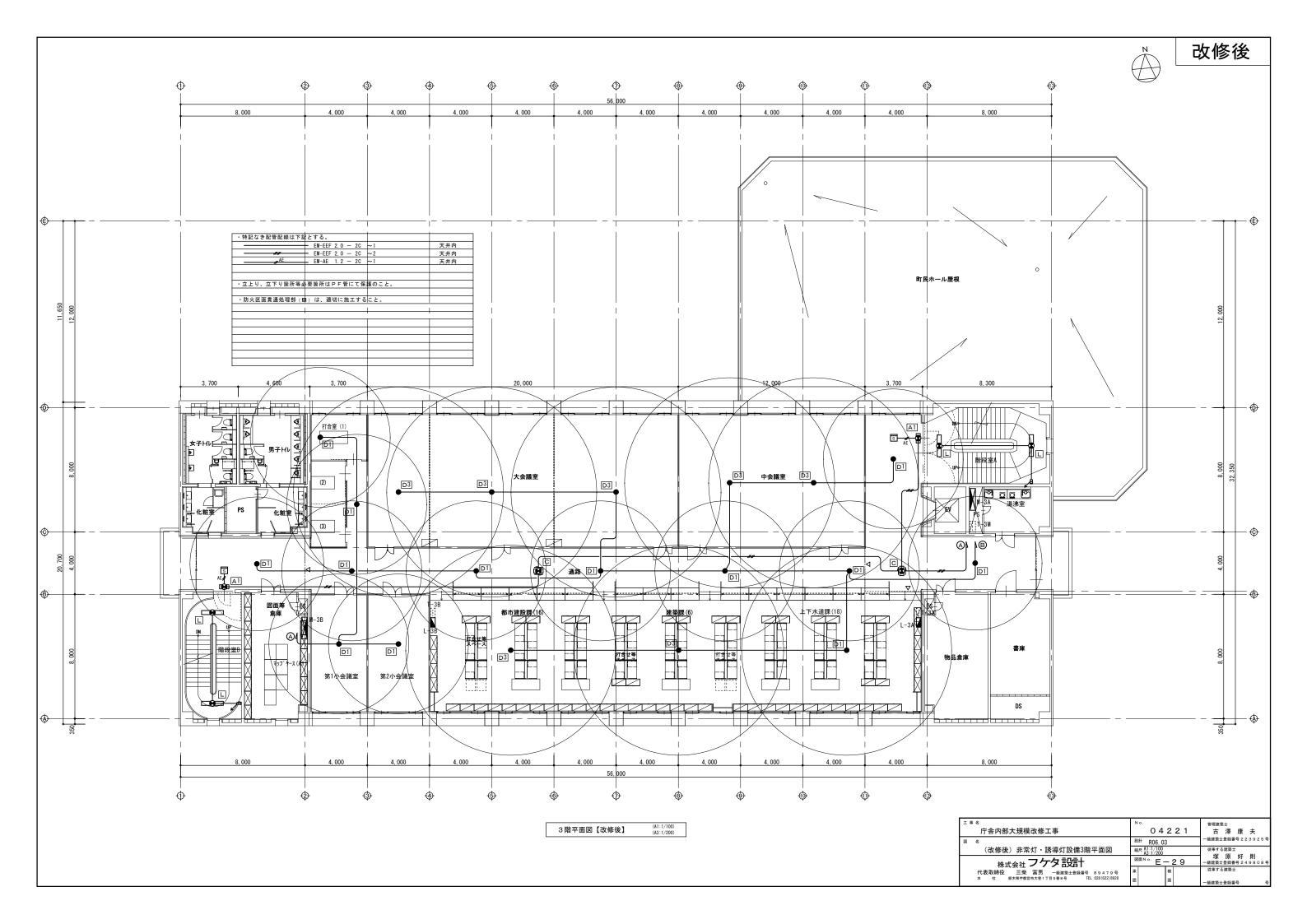
	f(フル2腺式)仕様は下記とす ()内数字は点滅系糸	
Ø n		ルヒハフ
<b>₩</b> R1	— 7L (124~129.175)	
<b>₩</b> R2	28L (104~131)	
<b>₩</b> R3	8L (124~129.132.1	76)
<b>₩</b> R4	— 4L (146∼149)	
<b>⊕</b> R5	— 5L (150∼154)	
<b>₩</b> R6	2L (145. 146)	
		150)
<b>₩</b> R7	4L (B104. B105. 155.	156)
<b>₩</b> R8	— 4L (157~160)	
<b>₩</b> R9	— 4L (155∼158)	
<b>₩</b> R10	4L (157, 158, 161, 16	2)
<b>⊗</b> R11	— 10L (159 ~ 162. 172.	173. 237~ 240)
<b>⊕</b> R12	2L (171, 174)	·
<b>₩</b> R13	2L (233. 234)	
<b>₩</b> R14	2L (219. 220)	
<b>₩</b> R15	— 3L (221∼223)	
<b>₩</b> R16	2L (206. 207)	
<b>₩</b> R17	2L (208. 209)	
<b>⊗</b> R18	— 1L (210)	
<b>8</b> €R19	2L (211. 212)	
<b>₩</b> R20	— 7L (224~230)	
<b>⊕</b> R21	2L (231. 232)	
<b>₩</b> R22	— 6L (213∼218)	
<b>₩</b> R23	2L (324. 325)	
<b>₩</b> R24		タッチスイッチWRT9261K同等品
<b>€</b> R25		) タッチスイッチWRT9261K同等品
<b>₩</b> R26	— 1L (320)	/ /// X1// III 1320 I (回 寺 旧
<b>₩</b> R27	— 6L (305∼310)	
<b>₩</b> R28	— 1L (321)	
<b>₩</b> R29	— 1L (322)	
<b>₩</b> R30	12L (419~422.425~	~ 431)
<b>⊕</b> R31	2L (403.404)	
<b>⊕</b> R32	— 1L (405)	
<b>₩</b> R33	2L (406. 407)	
<b>₩</b> R34	— 2L (408. 409)	
<b>₩</b> R35	— 2L (410.411)	
<b>₩</b> R36	2L (412.413)	
<b>₩</b> R37	— 1L (417)	
<b>⊕</b> R38	— 1L (416)	
	— 1L (415)	
<b>₩</b> R39		
<b>₩</b> R40	— 1L (414)	
<b>₩</b> R41	— 8L (501∼508)	
<b>₩</b> R42	— 1L (423)	
<b>₩</b> R43	— 3L (509∼511)	
<b>₩</b> R43	- 4L (B101. B102. B104	B105)
	複合防災盤(A)部	. 5 . 50/
<b>₩</b> RM1 ·		-nh. u
36L	グループ設定スイッチ + アト゚レン	
	(104~132). (136.137).	
	. (139. 140. 143). (144. 145	i). (146~149)
	. (150~154). (155~158).	
	. (166~169). 170. (172. 17	
	. (206. 207) . (208. 209) . 21	
	. (219. 220). (221~223).	
	. (233. 234) . (235. 236) . (3	05 <b>~</b> 310. 320. 324. 325)
	. (312. 313). (314~319). 3	
	. (408. 409) . (410. 411) . (4	
	. 417. (419~422. 425~432	
		./. TZU. (UUI:~ UUI)
	. (508~510)	
	. (508~510)	

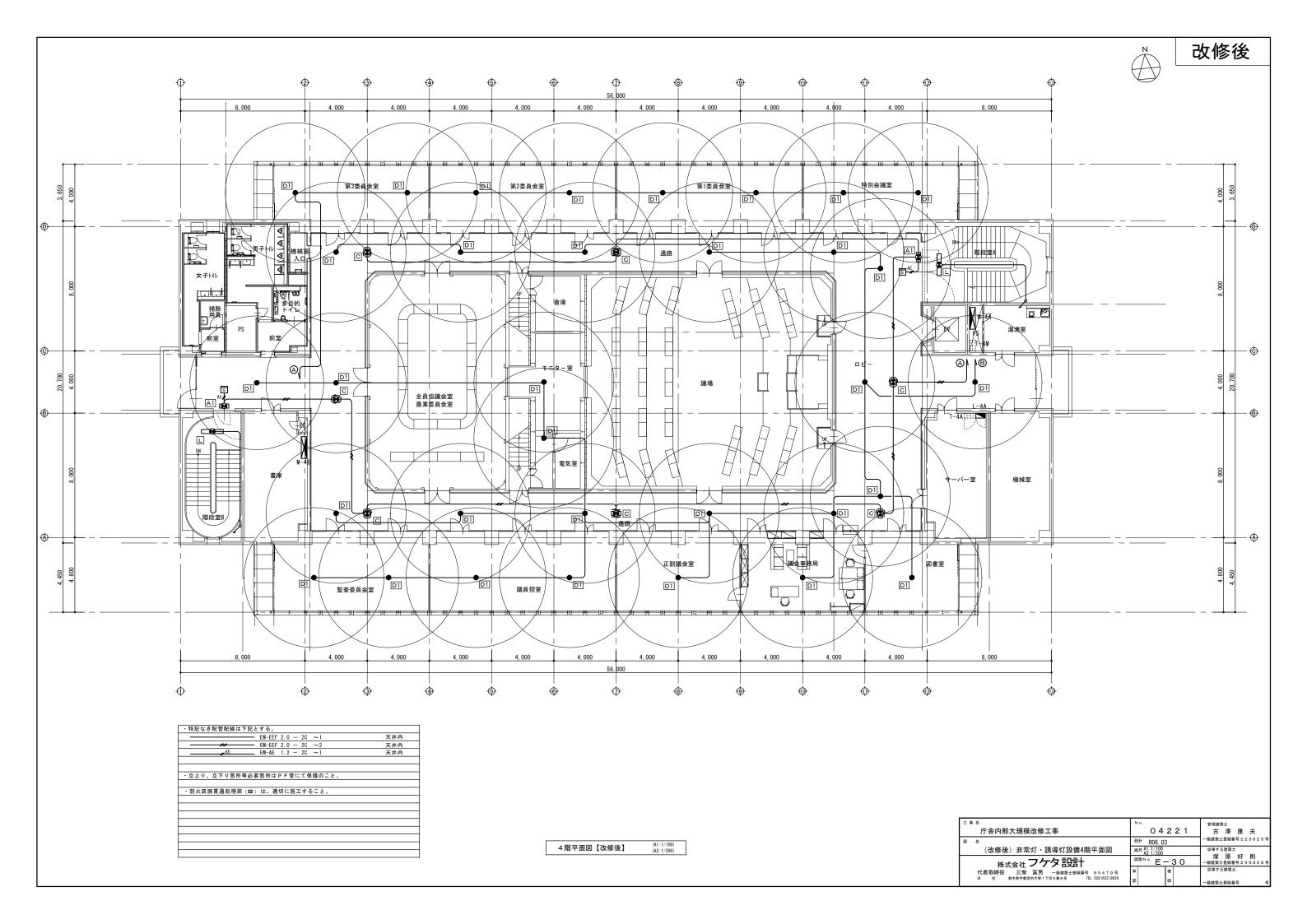
非常灯 1ルクス 配光範囲表					
器具 D 1 埋込非常灯 LED 0.8W-1 K	K1-LRS11-1 器具 D 2 埋込	非常灯 LED 0.8W-1 K1-LRS11-2	器具D3 埋込非常灯 LED 1.5W-1 K1-LRS11-3	器具 D 4 埋込非常灯 LED 1.5W-1	LEDEM30223M
器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.8m 3.8m 4.0m 5.0m	6.0m 器具取付高さ 2.1m	2. 4m 2. 6m 3.0m 4.0m 5. 0m 6. 0m	器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.8m 4.0m 5.0m 6.0m	器具取付高さ 4.00m 5.00m 6.0m 7.0m 8.0m	
単体配置 A1 4.0 4.3 4.4 2.9	- 単体配置 A1 4.4	4.8 5.0 5.3 2.3 i	単体配置 A1 5.5 6.1 6.4 7.0 8.0 6.6 5.6	単体配置 A1 7.6 8.6 6.6 5.8 4.3	
直線配置 A2 8.8 9.8 10.2 11.2	- 直線配置 A2 9.4	10.4 11.0 12.2 14.4 i	直線配置 A2 11.6 13.0 13.8 15.4 18.8 21.4 22.4	直線配置 A2 16.4 19.8 22.2 24.0 23.8	
四角配置 A4 7.1 7.8 8/3 9/2	- 四角配置 A4 7.5	8.3 8.8 9.8 11.9	四角配置 A4 8.9 10.0 10.7 12.0 15.0 17.5 19.6	四角配置 A4 12.4 15.0 17.4 19.6 21.5	
D 1 一 非常灯評定番号	} LALE-001 □	) 2 一 非常灯評定番号 LALE-001	D 3 一 非常灯評定番号 LALE-025	D4 一 非常灯評定番	号 LALE-025

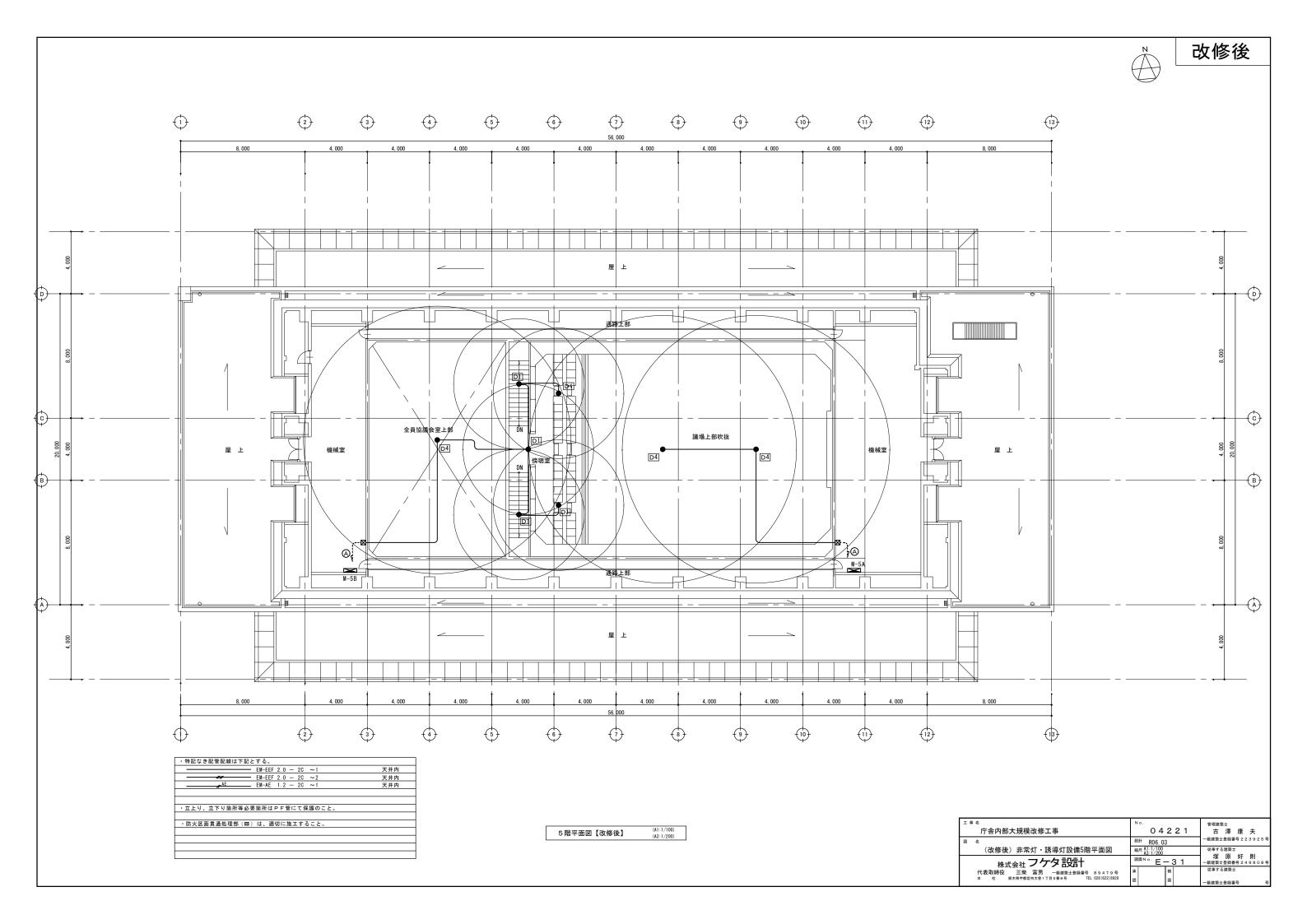
<sub>工事名</sub> 庁舎内部大規模改修工事	04221	<sub>管理建築士</sub> 古 澤 康 夫	
<sup>図 名</sup> 照明器具 姿図	股計 R06.03 縮尺 A1:1/NS A3:1/NS	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 従事する建築士	
株式会社フケタ設計	<sup>図面 N ∘ .</sup> E − 2 6	塚 原 好 則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号	
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承 検 図	従事する建築士 一級建築士券給番号 号	

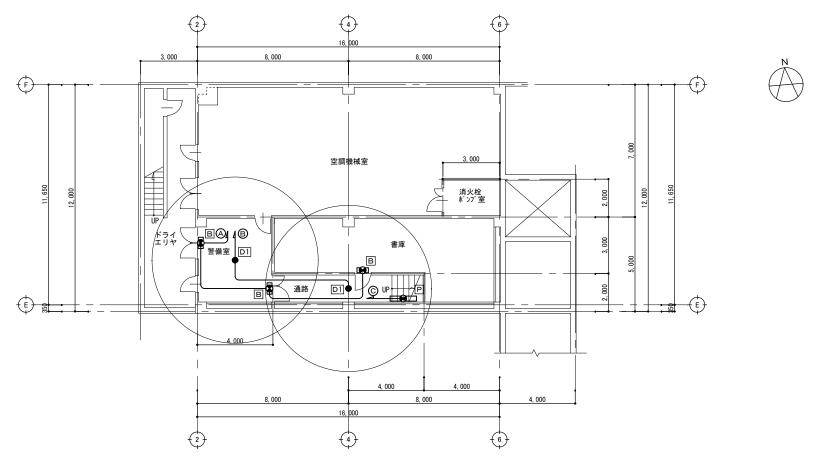








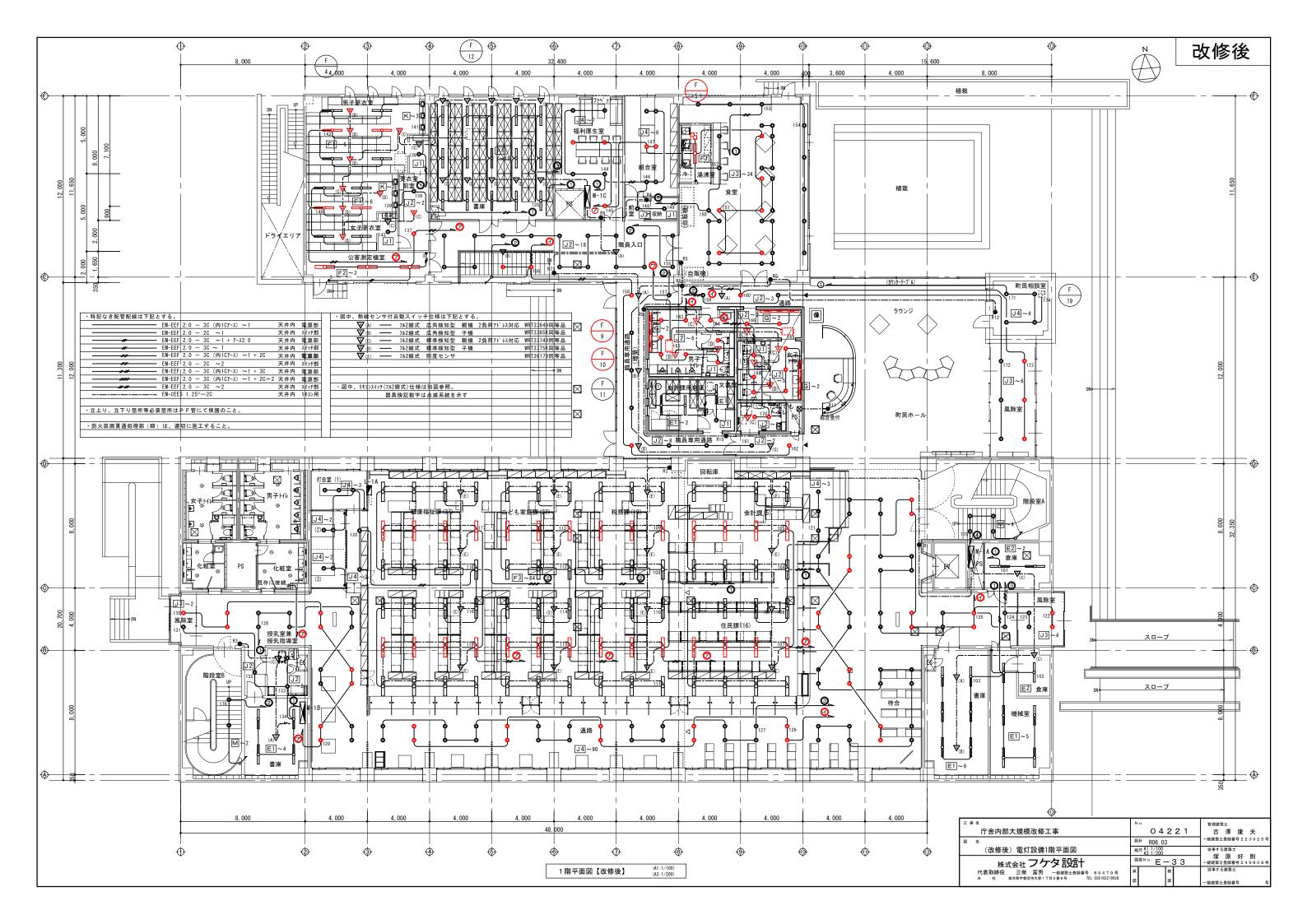


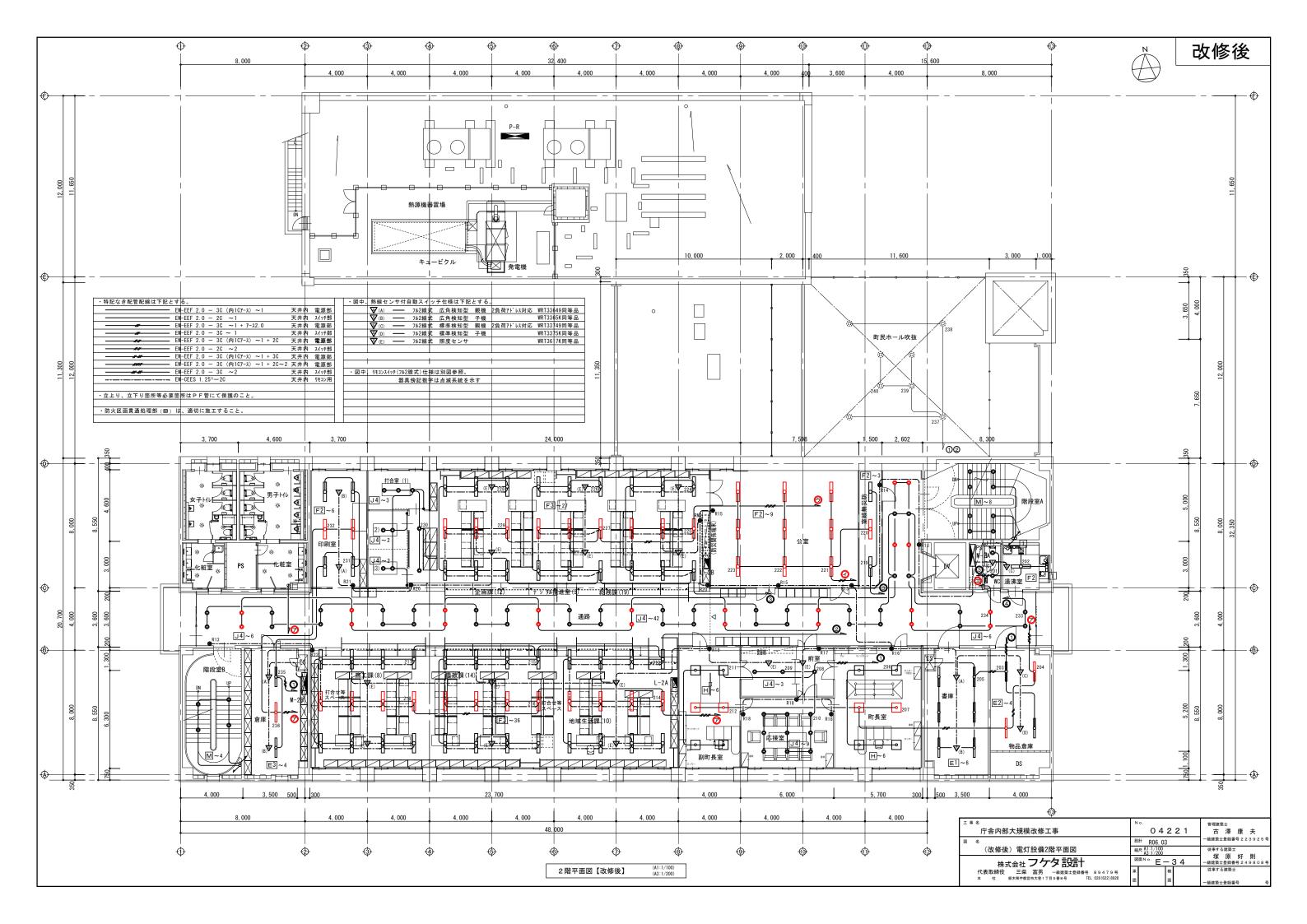


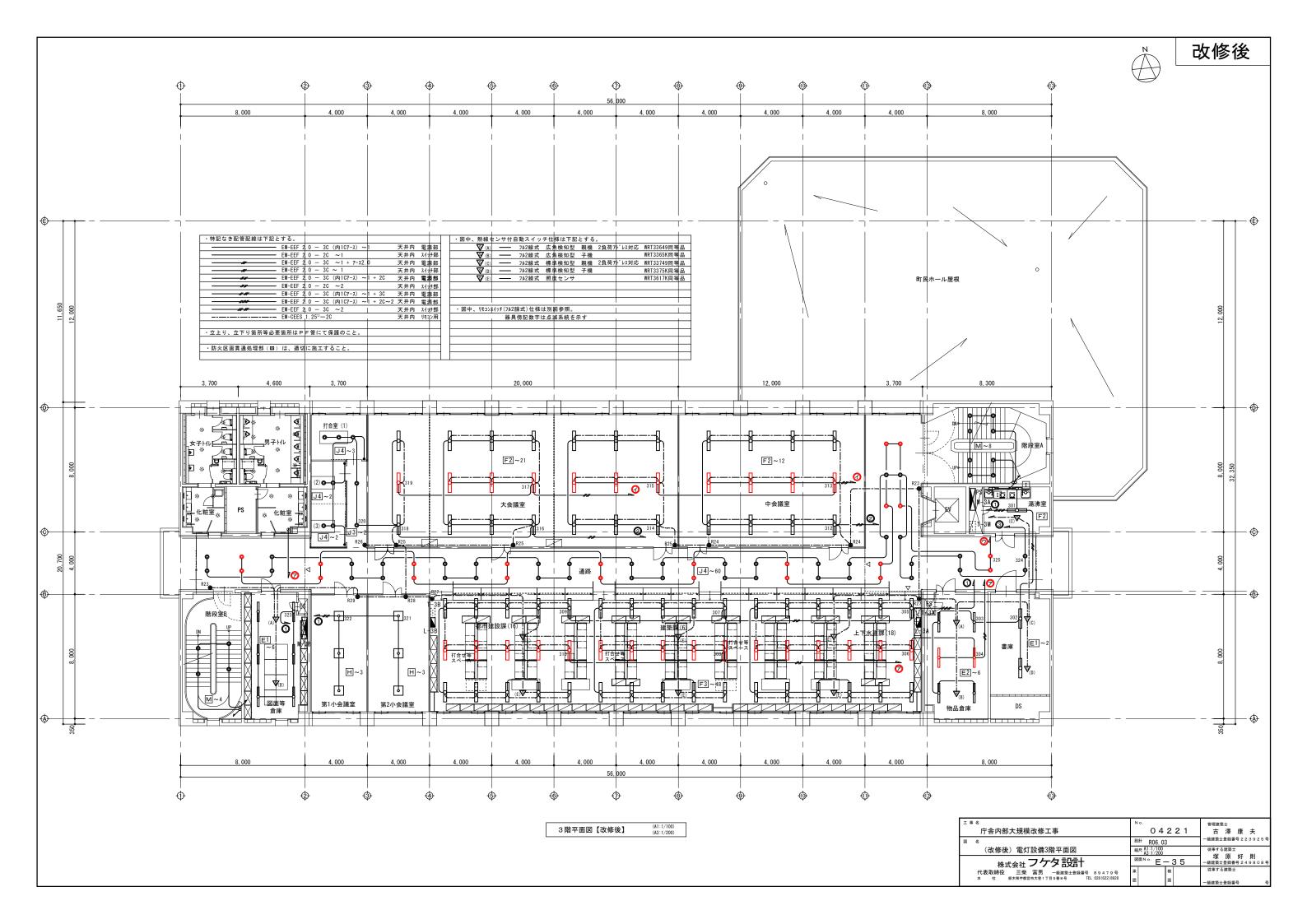
-	• EM-EEF 2.0 — 2C ∼1	天井内
	• EM-EEF 2.0 — 2C ~2	天井内
AE	. EM−AE 1.2 − 2C ~1	天井内
. 立上月 . 立工月签部签以	要箇所はPF管にて保護のこと。	
'ユエリ、ユトリ固川寺必	安固所はPF官にて休護のこと。	
·防火区画貫通処理部 / 网	)は、適切に施工すること。	
M/10/2022 11 (11)	, ICC 2917/22 / UCC 8	

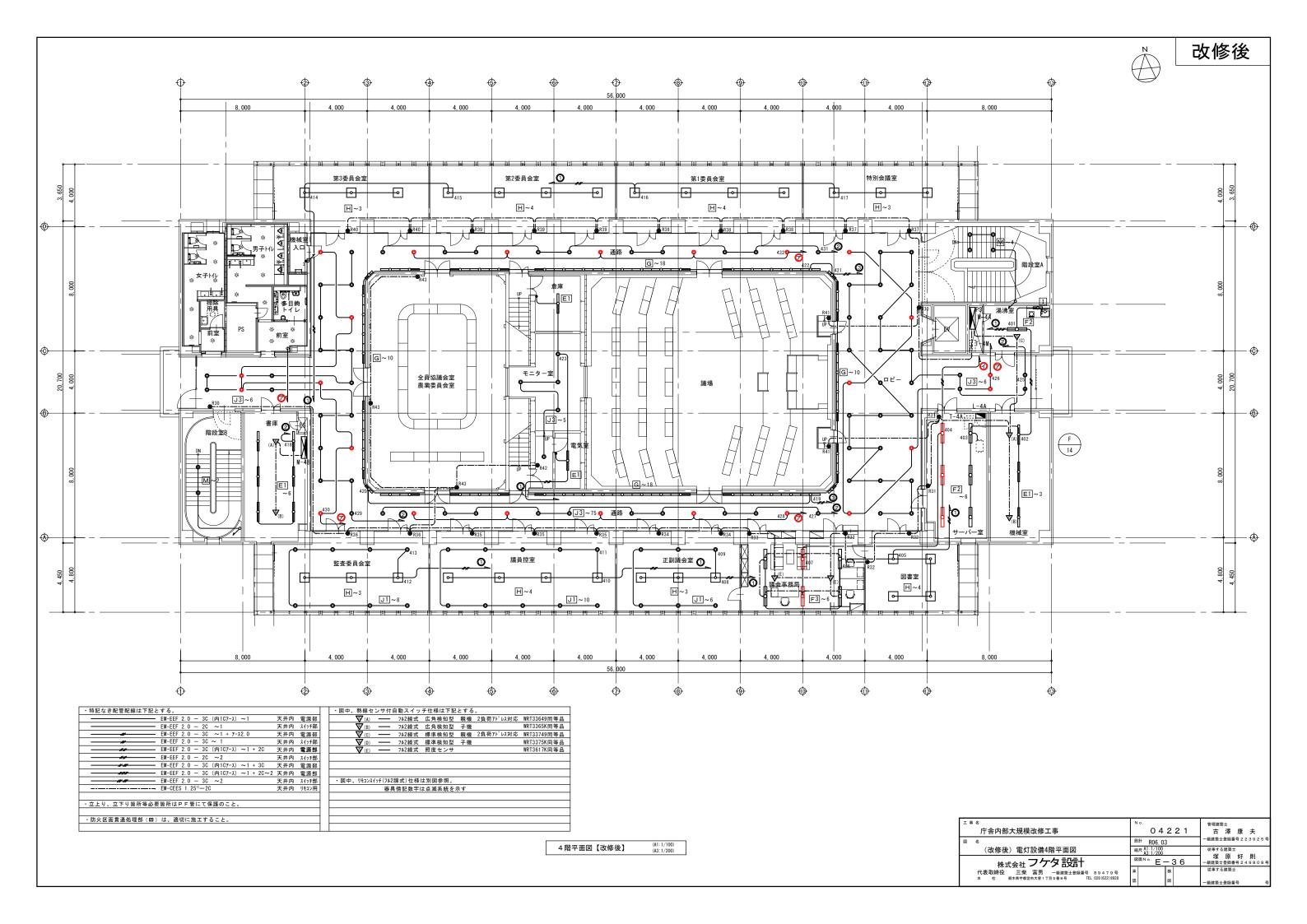
地下1階平面図【改修後】 (A1:1/100) (A3:1/200)

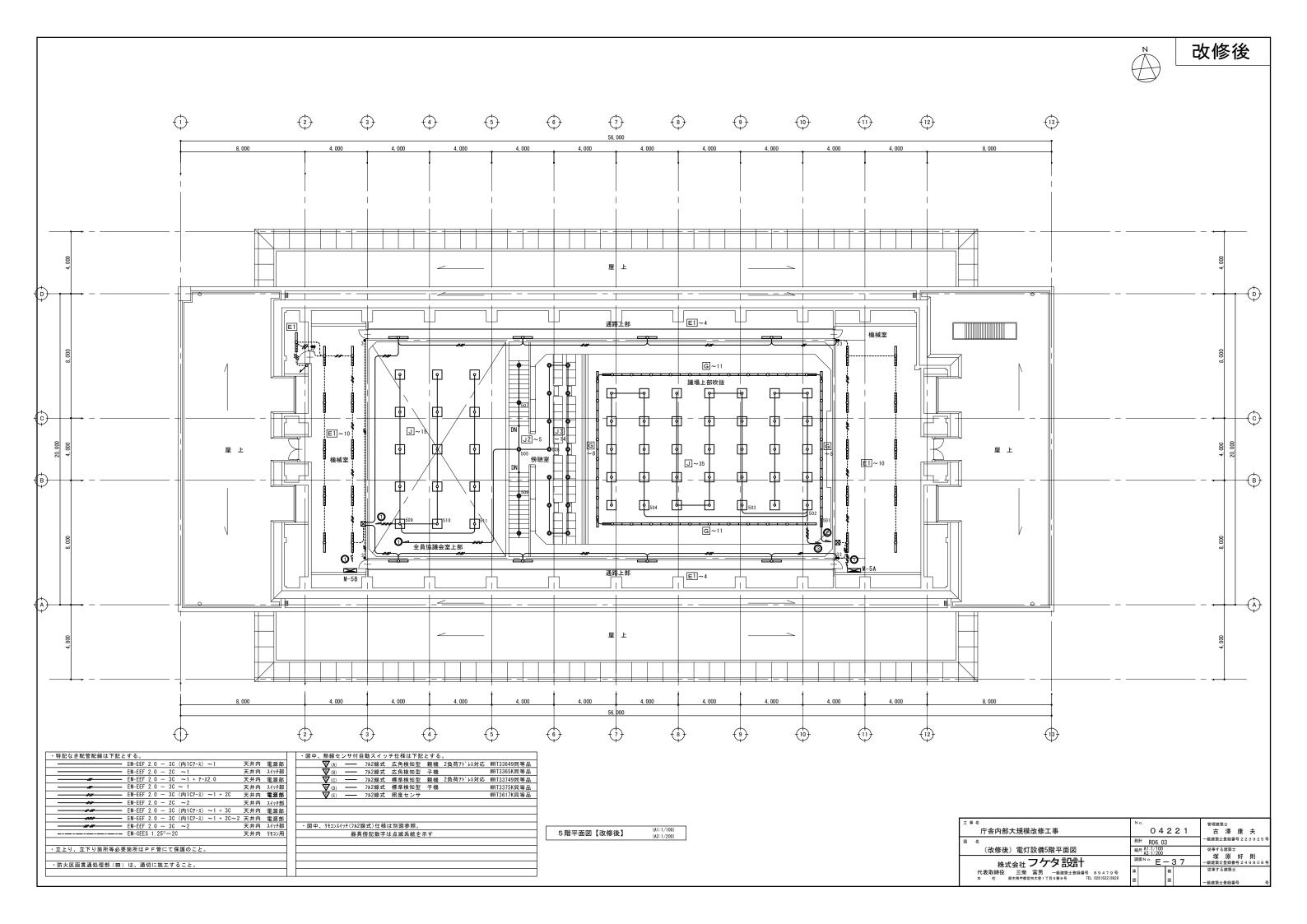
工事名	No.	管理建築士
庁舎内部大規模改修工事	0 4 2 2 1	古澤 康 夫
図 名	<sup>股計</sup> R06. 03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号
(改修後) 非常灯・誘導灯設備地下 1 階平面図	箱尺 A1:1/100 A3:1/200	従事する建築士
株式会社フケタ設計	<sup>図面N</sup> ° E − 3 2	塚原好則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	22 E	_ 63 to 64 to 24 to 25 t

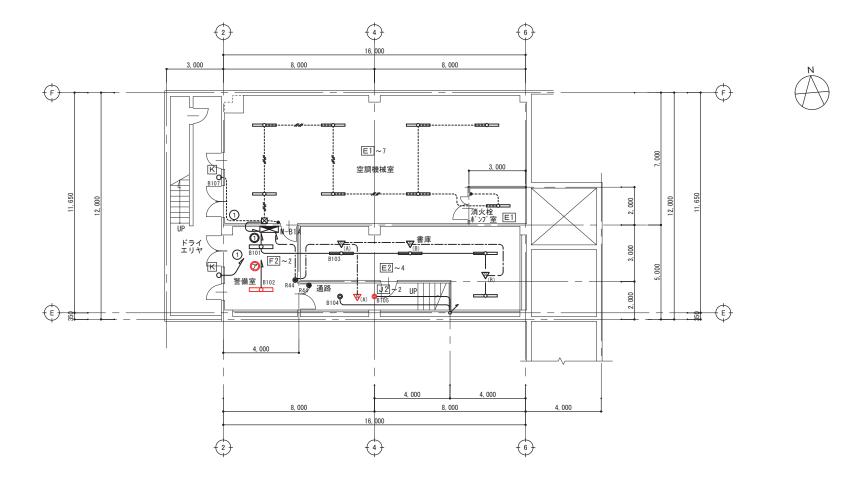








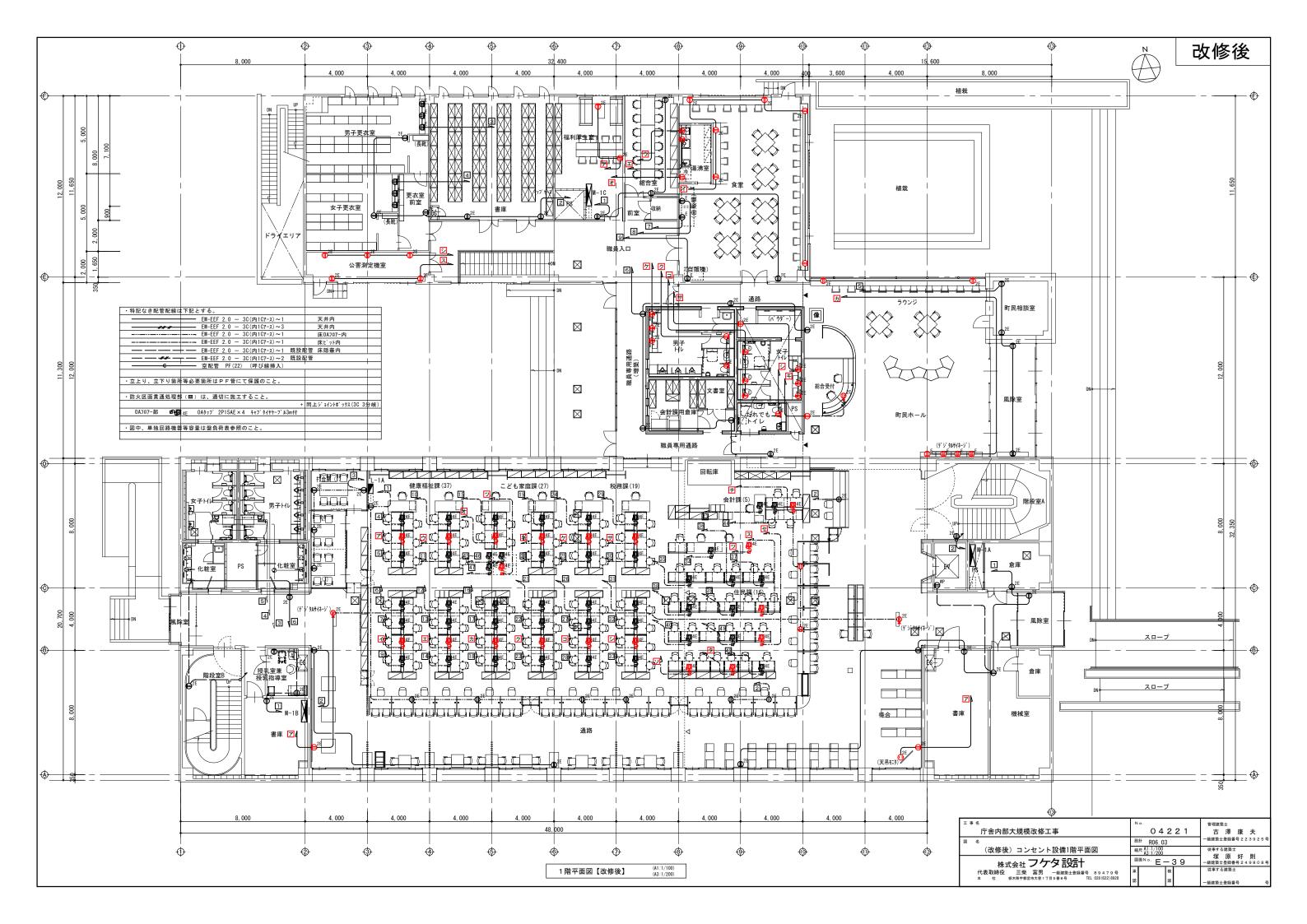


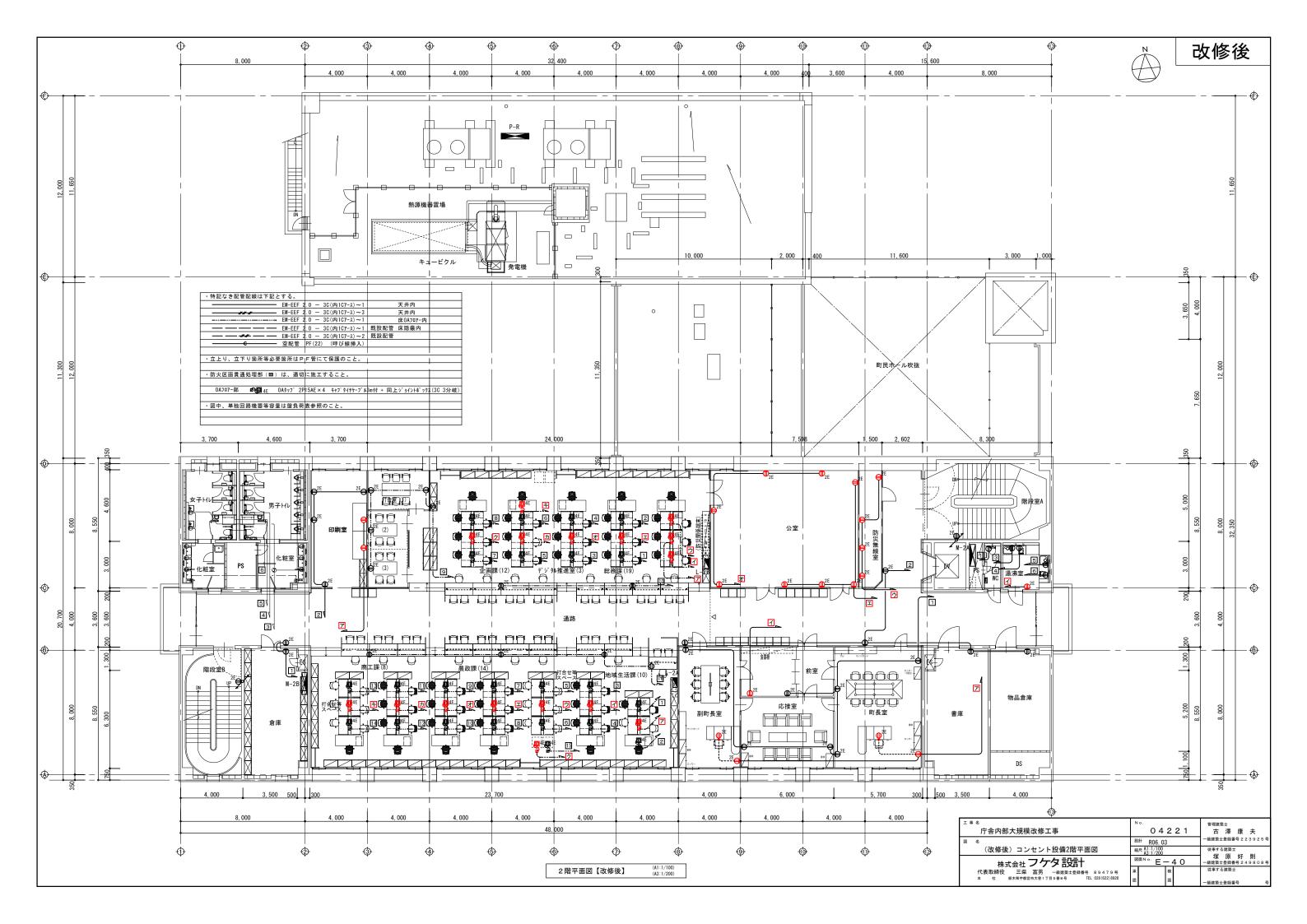


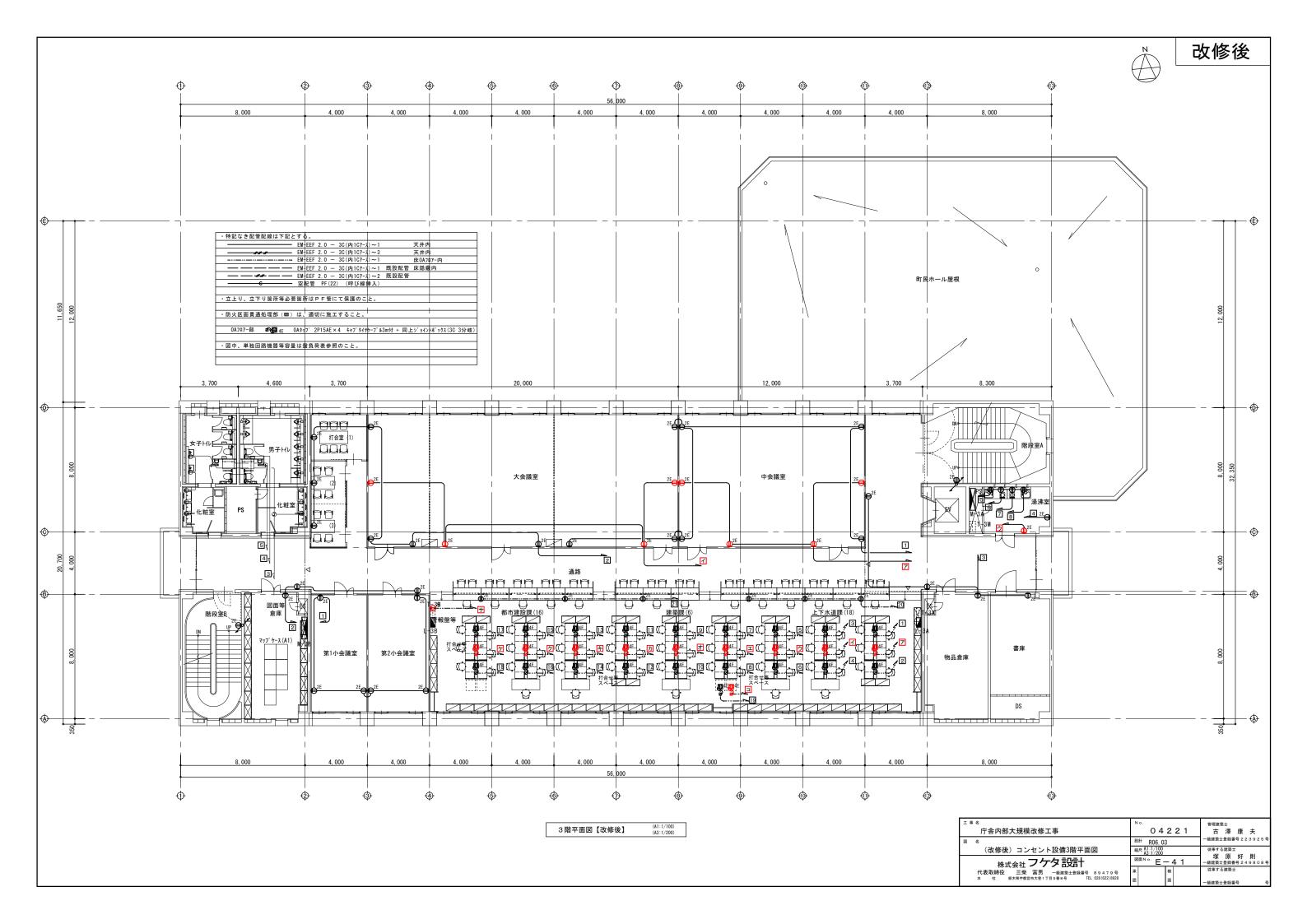
地下陌于画图【以修妆】 (A3:1/200)	地下1階平面図	【改修後】	(A1:1/100) (A3:1/200)
------------------------	---------	-------	--------------------------

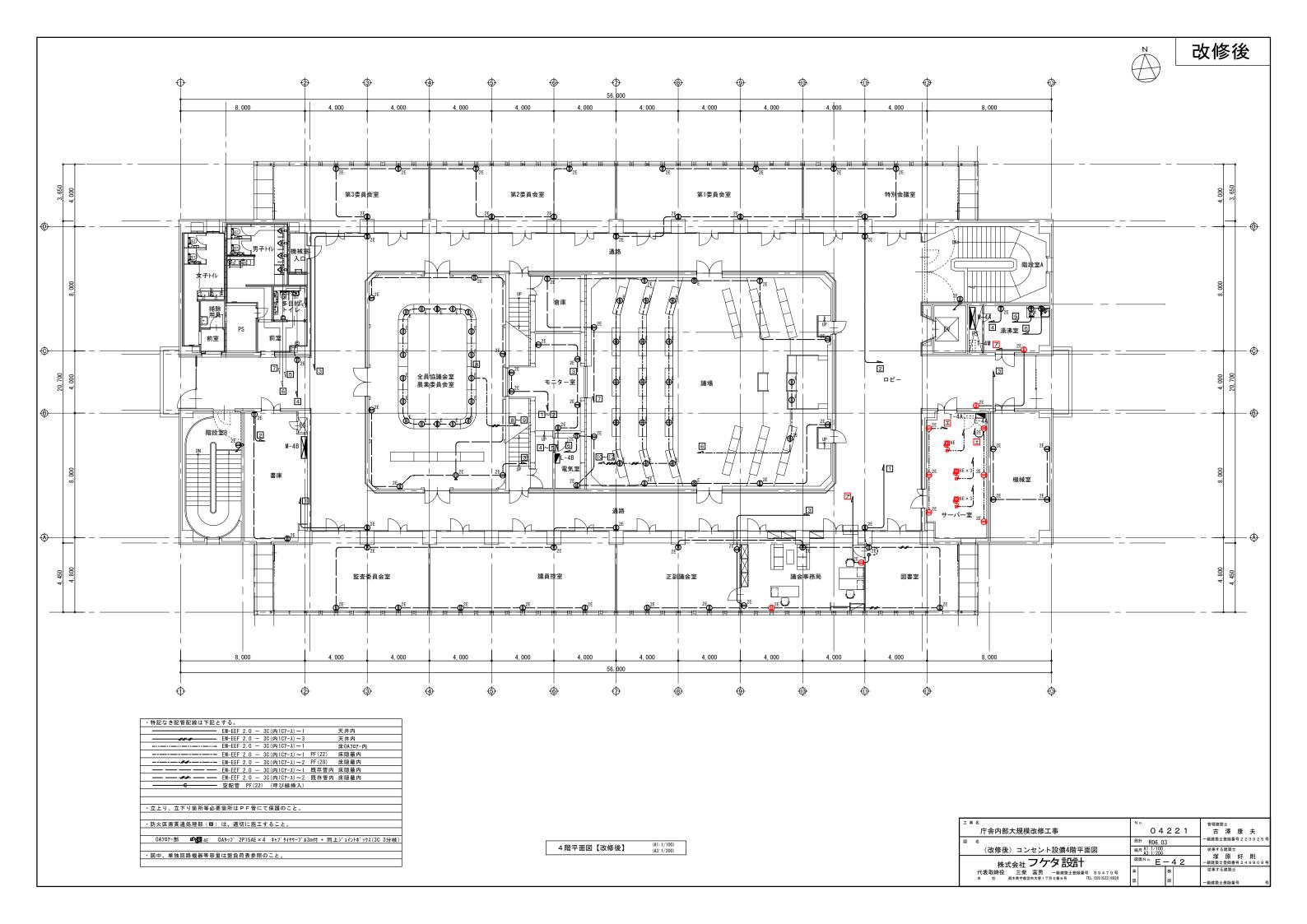
・特記なき配管配線は下記と	: する。			<ul><li>図中、</li></ul>	熱線セ	ンサ付	自動スイッ	チ仕様は下部	とする	0	
	EM-EEF 2.0 - 3C (内1C7-X) ~1	天井内	電源部		<b>▼</b> (A)	_	フル2線式	広角検知型	親機	2負荷アト゚レス対応	WRT33649同等品
	EM-EEF 2.0 − 2C ~1	天井内	スイッチ部		<b>▼</b> (B)	_	フル2線式	広角検知型	子機		WRT3365K同等品
	EM-EEF 2.0 − 3C ~1 + 7-x2.0	天井内	電源部		<b>V</b> (C)	_	フル2線式	標準検知型	親機	2負荷アト゚レス対応	WRT33749同等品
	EM-EEF 2.0 − 3C ~ 1	天井内	スイッチ部		<b>(D)</b>	_	7ル2線式	標準検知型	子機		WRT3375K同等品
	EM-EEF 2.0 - 3C (内1C7-ス) ~1 + 2C	天井内	電源部		<b>▼</b> (E)	_	7ル2線式	照度センサ			WRT3617K同等品
	EM-EEF 2.0 − 2C ~2	天井内	スイッチ部								
	EM-EEF 2.0 - 3C (内1C7-ス) ~1 + 3C	天井内	電源部								
	EM-EEF 2.0 - 3C (内1C7-ス) ~1 + 2C~2	天井内	電源部								
	EM-EEF 2.0 − 3C ~2	天井内	スイッチ部	<ul> <li>図中、</li> </ul>	リモコンスイ	ッチ (フル2	腺式)仕様	は別図参照。			
	EM-CEES 1.25°-20	天井内	リモコン用			器具	傍記数字	は点滅系統を	示す		
<ul><li>・立上り、立下り箇所等必要</li></ul>	<b>長箇所はPF管にて保護のこと。</b>										
·防火区画貫通処理部(図)	は、適切に施工すること。										

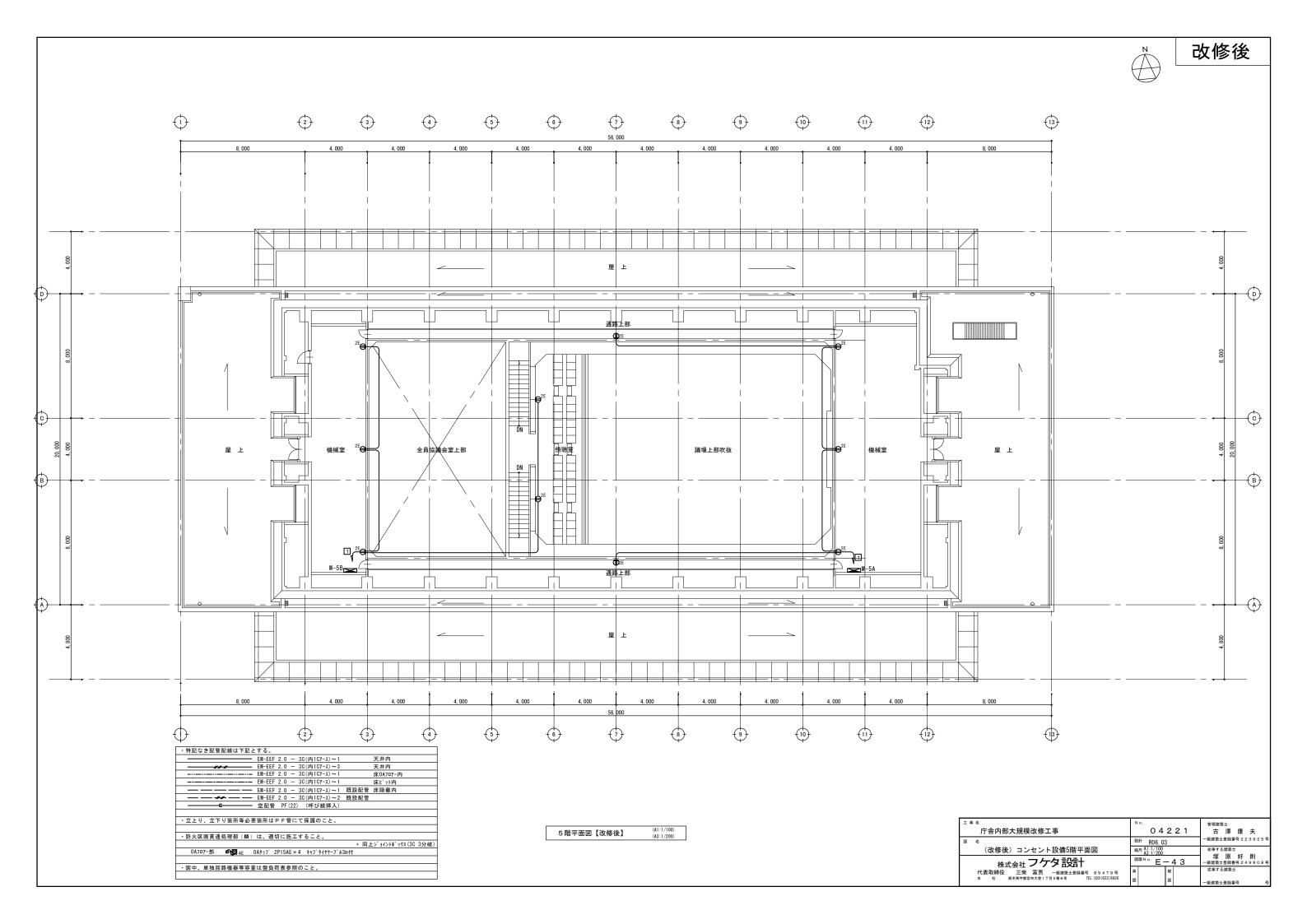
□ ェ * 名 □ 庁舎内部大規模改修工事	04221	<sub>管理建築士</sub> 古澤康夫	
図 名	<sup>股計</sup> R06.03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号	
(改修後)電灯設備地下1階平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	<sup>従事する建築士</sup> 塚 原 好 則	
株式会社フケタ設計	<sup>図面N</sup> ∘ E − 38	塚原好則 -級建築士登録番号249808号	
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承検	従事する建築士	
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	翠	一級建築十巻経番号 号	

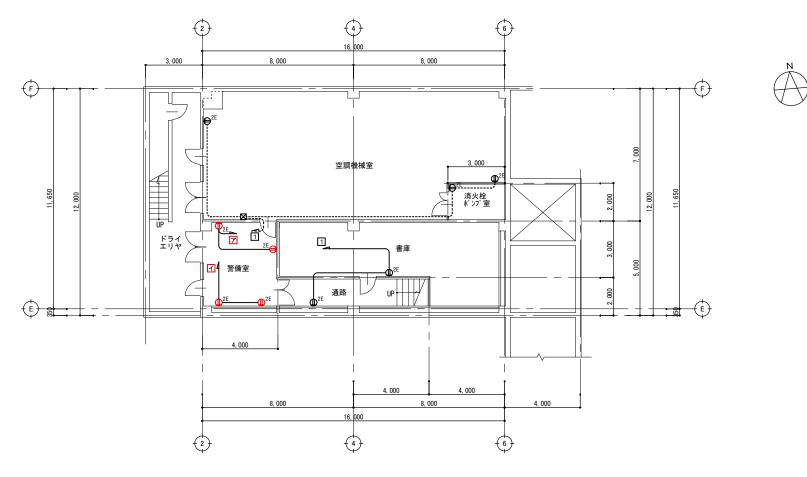








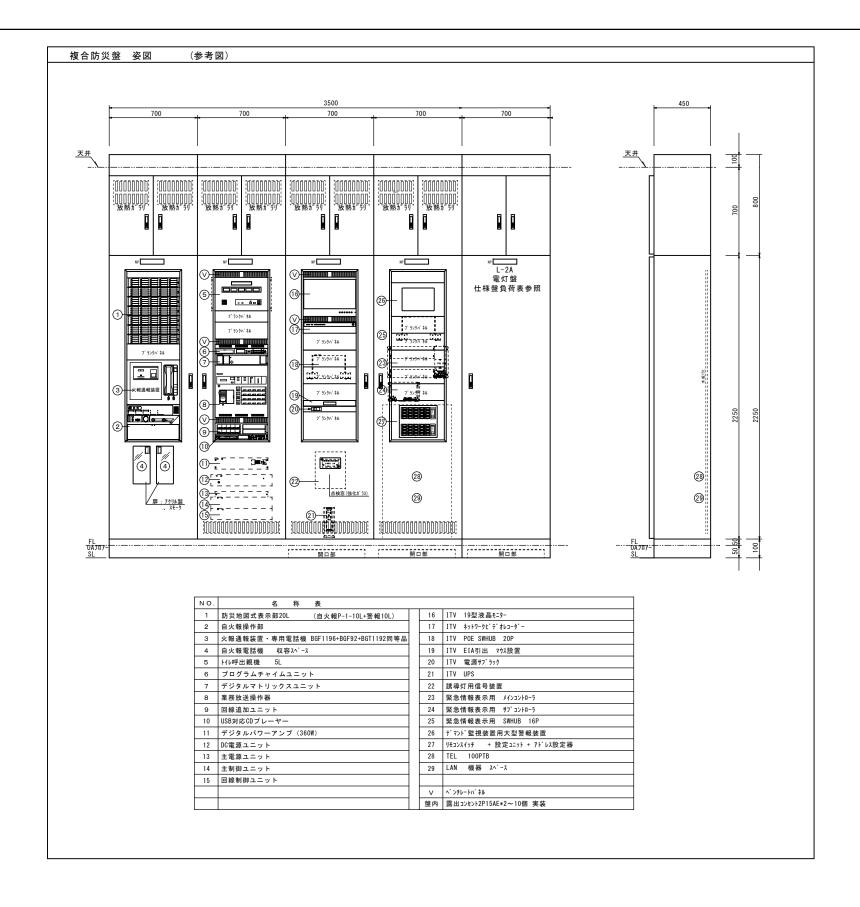




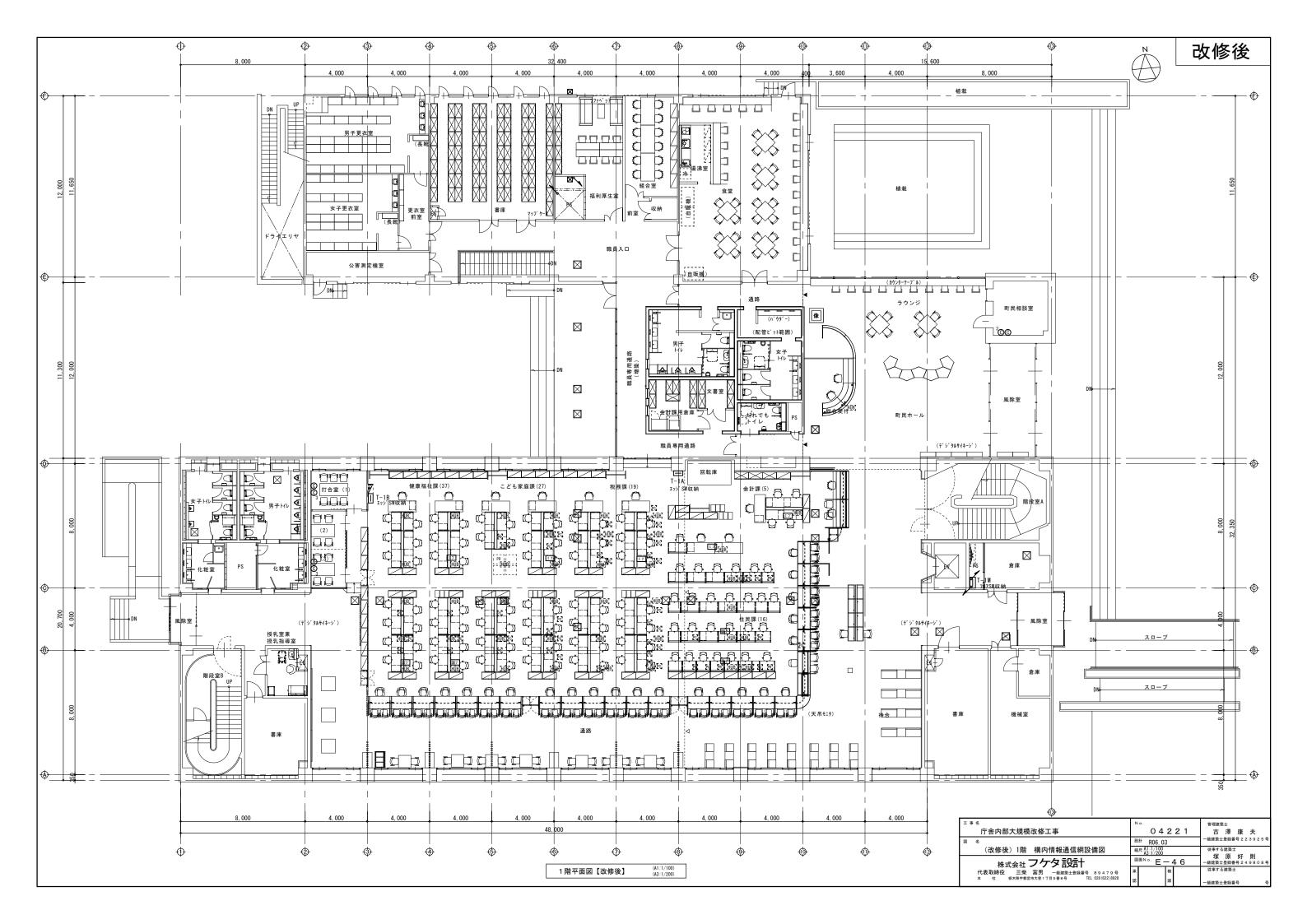
・特記なき配管配線は下記と	する。					
	EM-EEF 2.0 - 3C(内1C7-ス)~1	天井内				
	EM-EEF 2.0 - 3C(内1C7-ス)~3	天井内				
	EM-EEF 2.0 - 3C(内1C7-ス)~1	床0Aフロアー内				
	EM-EEF 2.0 - 3C(内1C7-ス)~1	床ピット内				
	EM-EEF 2.0 - 3C(内1C7-ス)~1	既設配管 床隠蔽内				
— — ## — —	EM-EEF 2.0 - 3C(内1C7-ス)~2	既設配管				
— с	空配管 PF(22) (呼び線挿入)					
・立上り、立下り箇所等必要箇所はPF管にて保護のこと。						
・防火区画貫通処理部(図)	は、適切に施工すること。					
		+ 同上ジョイントボックス(3C 3分岐)				
0A7p7-部 <b>20日</b> 4E (	)Aタップ 2P15AE×4 キャプタイヤケープル3	m付				
・図中、単独回路機器等容量	は盤負荷表参照のこと。					

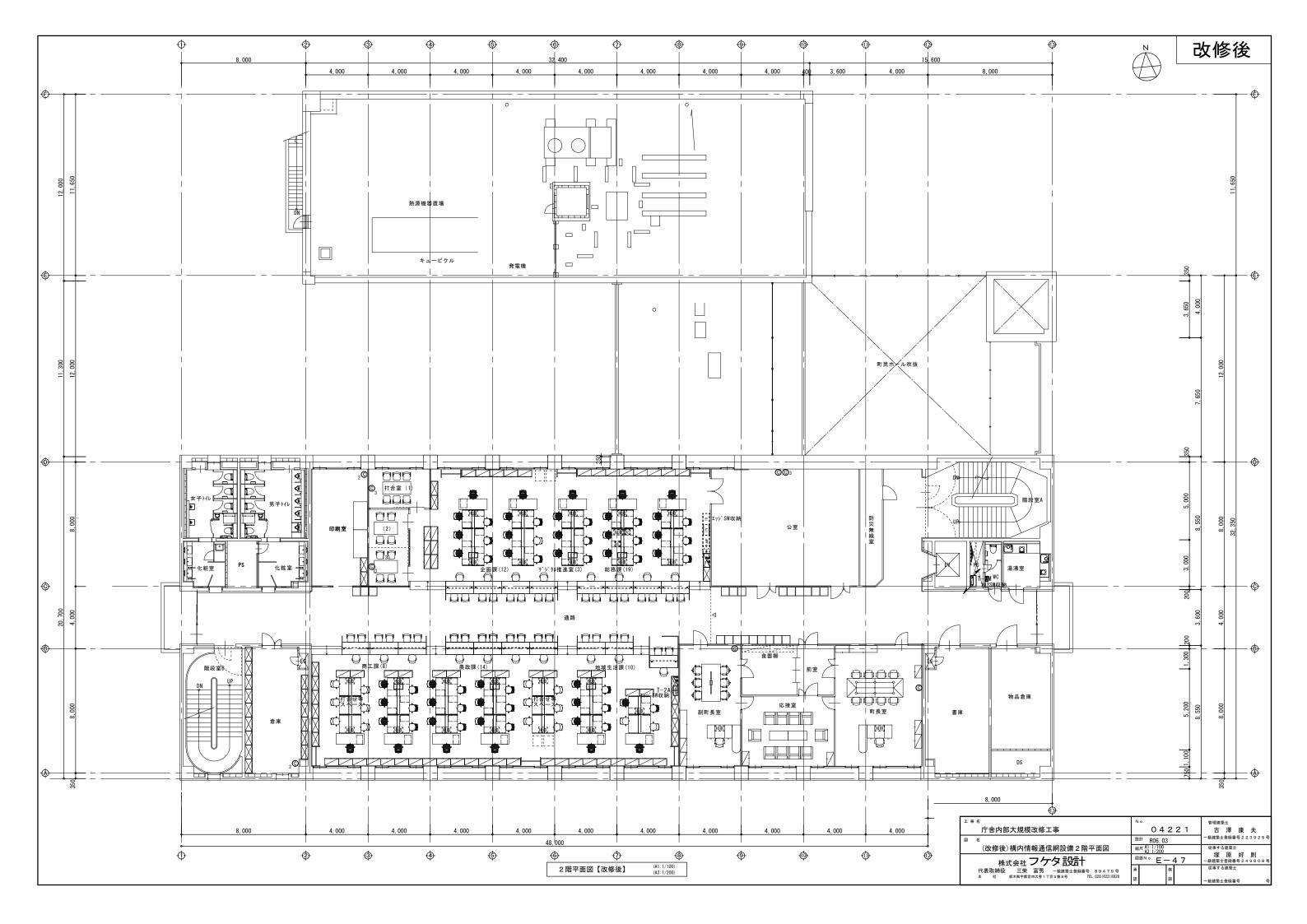
地下1階平面図【改修後】 (A1:1/100) (A3:1/200)

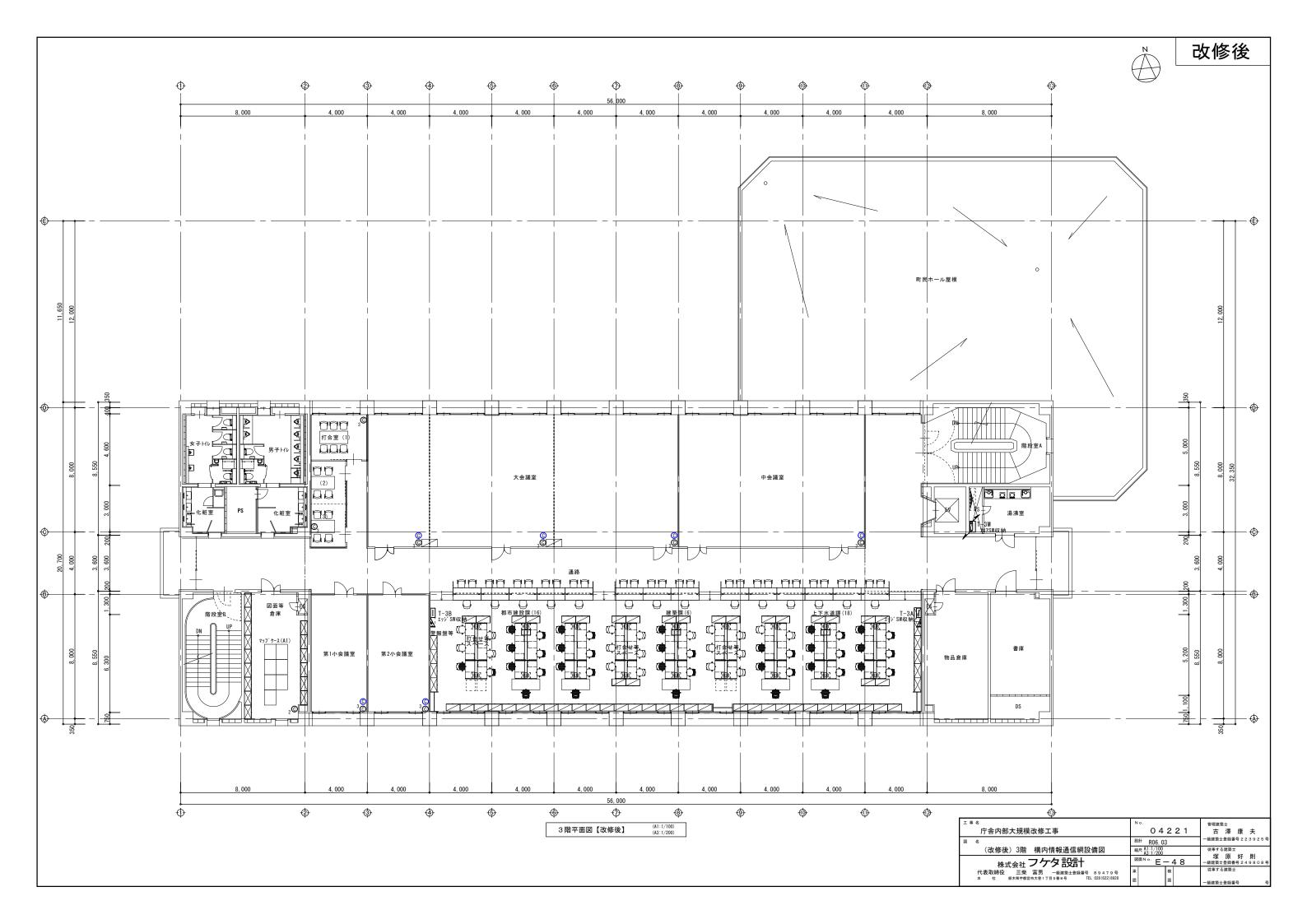
工事名	No.	管理建築士
庁舎内部大規模改修工事	04221	古 澤 康 夫
図 名	<sup>股計</sup> R06.03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号
(改修後) コンセント設備地下 1 階平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	従事する建築士
株式会社フケタ設計	<sup>図面N</sup> ° E − 4 4	塚原好則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	82 E	一級建築士登録番号 号

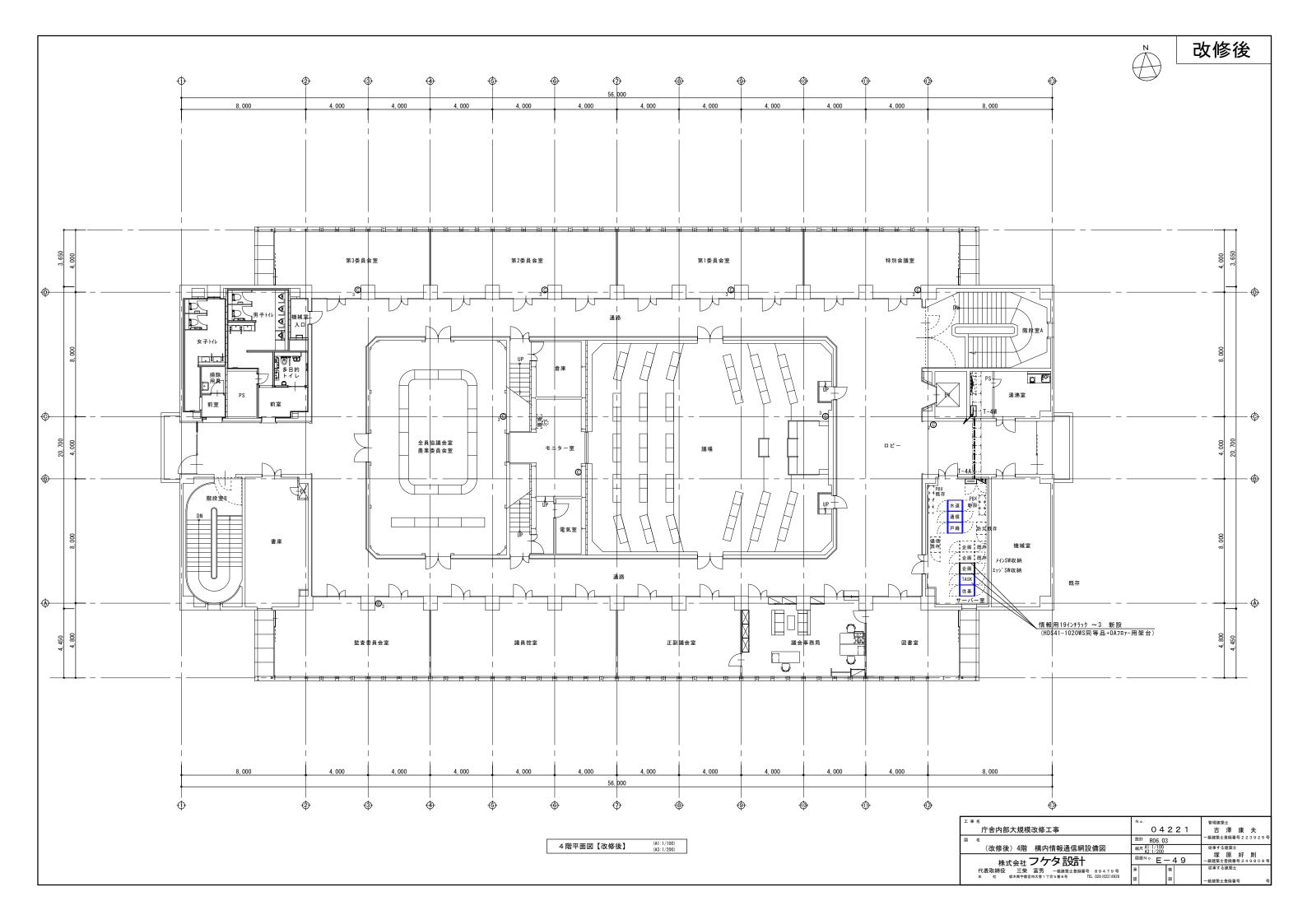


工事名	No.	管理建築士
庁舎内部大規模改修工事	04221	古澤 康 夫
図 名 複合防災盤 姿図	<sup>股計</sup> R06. 03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号
複合防災盤 安凶	縮尺 A1:1/15 A3:1/30	従事する建築士
<sub>株式会社</sub> フケタ 設計	<sup>図面N</sup> ° E − 4 5	塚原 好則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築±登録番号 89479号	承検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	22 E	一級建築士登録番号 号









# 電話交換機設備仕様書

### 工事名称

### 工事場所

### 1. 一般事項

- (1) 本工事は、電気通信事業法に定める端末設備等子息に基づき施行すること.
- (2) 本工事に必要なNTT等への申請手続きはすべて請負者が代行して行うものとする.
- (3) 本工事は据付け完了後,関係係員の立ち合い検査合格をもって検収完了とする.

# 2. 工事範囲

- (1) 主装置
- (2) 電話機
- (3)主装置設置工事
- (4) 付属品機器接続工事
- (5) 構内配線及び電話機取付工事
- (6) 電源接続工事

# 3. 機器仕様

3 - 1

### (1)交換方式

項目	方 式
制御方式	蓄積プログラム方式
通話路交換方式	時分割T1段スイッチ
処理装置	128bitCPU
冷却方式	自然冷却式
冗長構成	ビルディングブロック方式

### (2) 収容回線数

[	回線種別	容量	実 装	現用	備考
局線	アナログ	1 4 4	8	5	
75) 10%	ひかり電話	144	2 4	2 4	
内線	多機能		180	1 2 0	
P3 10K	一般		5 6	4 0	
		4 8 0			

### (3)番号計画

接続種別		番 号	備考
内線	番号	10から9999	桁数は打合せによる
局線	発信	発信ボタン	
局線	応答	オフフック応答	
転	送	保留ボタン+内線番号	多機能電話は転送ボタン
システム短縮	ダイヤル発信	短縮ボタン+短縮番号	
可変短縮	発信	外線キー押下	
ダイヤル	登録	電話帳長押し	
代理応答		0 #	

# (4) トラフィック条件

内線電話機1台当たりの標準発着信呼量は,6HCS以上とする

# (5)環境条件

温度 0~40°C 湿度 20~85%

# (6) 電気的特性(内線線路条件)

一巻内線 6 0 0 Ω以下(電話機内線抵抗含む) 多機能内線 4 5 Ω以下(電話機内線抵抗含まず)

### (7) 構造

交換機本体 床面設置自立型

### (8) サービス機能

短縮ダイヤル

- 内線代表専用線
- 不在応答転送
- 着信音識別
- ・サービスクラス
- ・国際自即発信
- ・その他基本機能 ・話中/不在応答転送

# 3 - 2 電源装置

正流器 蓄電池は交換機内蔵型とする

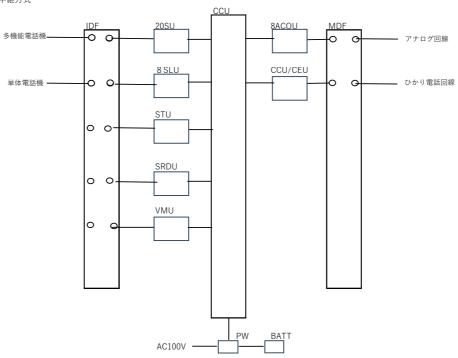
正流器 入力:単相100V

蓄電池 停電保証3時間を満足する容量

# 3-3 本配線盤

キャビネット型とし,端子,弾器等は書由来の増設を考慮し余裕をもって設計すること

### 4. 中継方式



	略 号	名 称
1	BATT	バッテリー
2	CCU	中央制御ユニット
3	8 ACOU	局線ユニット
4	2 0 SU	多機能電話機収容ユニット
5	8 SLU	単体電話機収容ユニット
6	STU	ページングユニット
7	SRDU	専用線収容ユニット
8	VMU	音声メールユニット
9		
1 0		

# 5. その他

本仕様書に明記なき事項は,関係係員と十分打合せの上,施工すること.

電話器の一部について、仮庁舎(旧中央公民館)で使用予定の NEC 機種の電話器を本庁舎移設して使用することを想定しているため、 本工事で採用する電話器は、移設する電話器と同等機種とし、電話交換機については連携が図れる機種を採用すること。

### 6. 附属機器

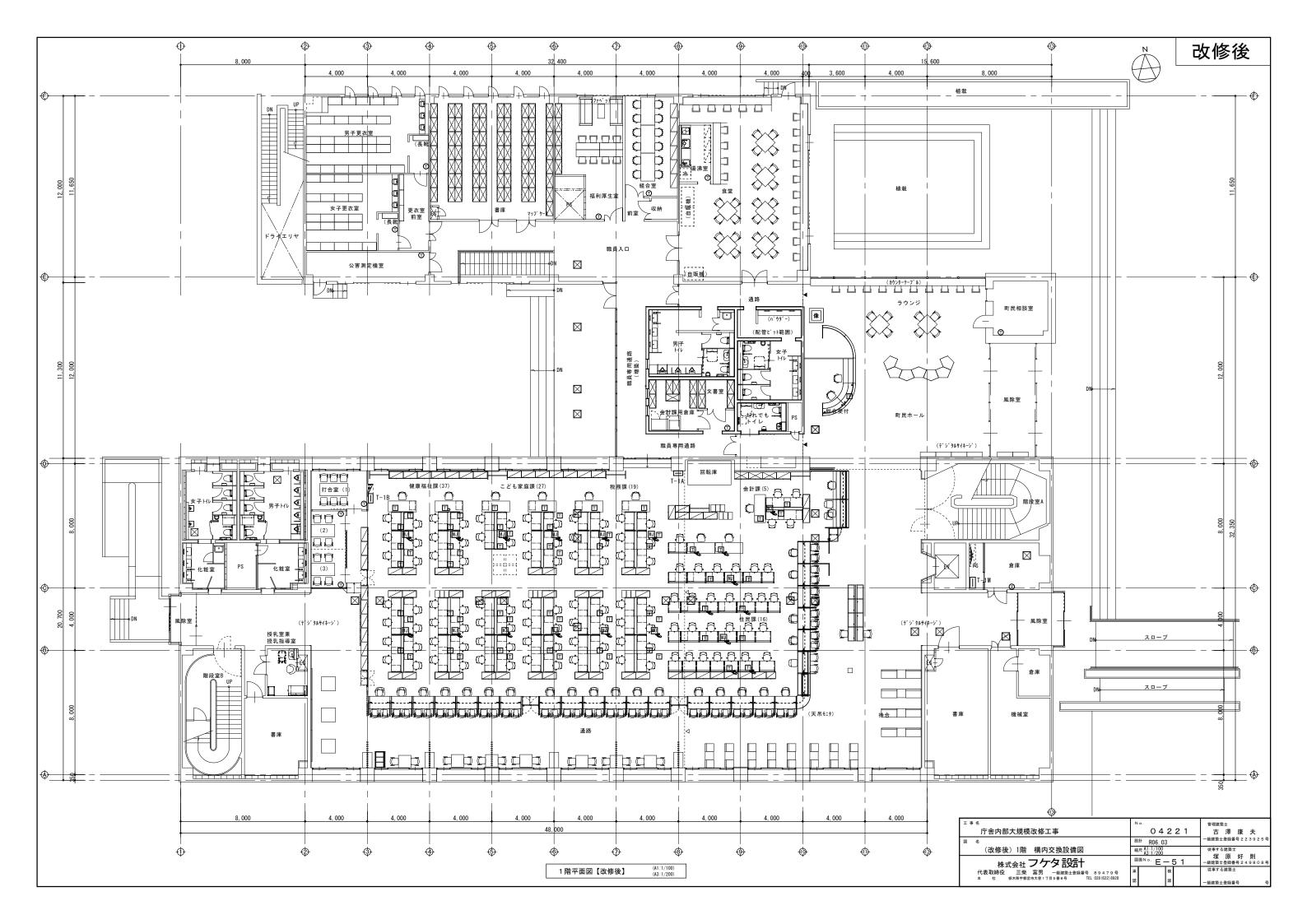
 多機能電話機
 ・・・・ 133台 (内カールコードレス電話機20代含む)

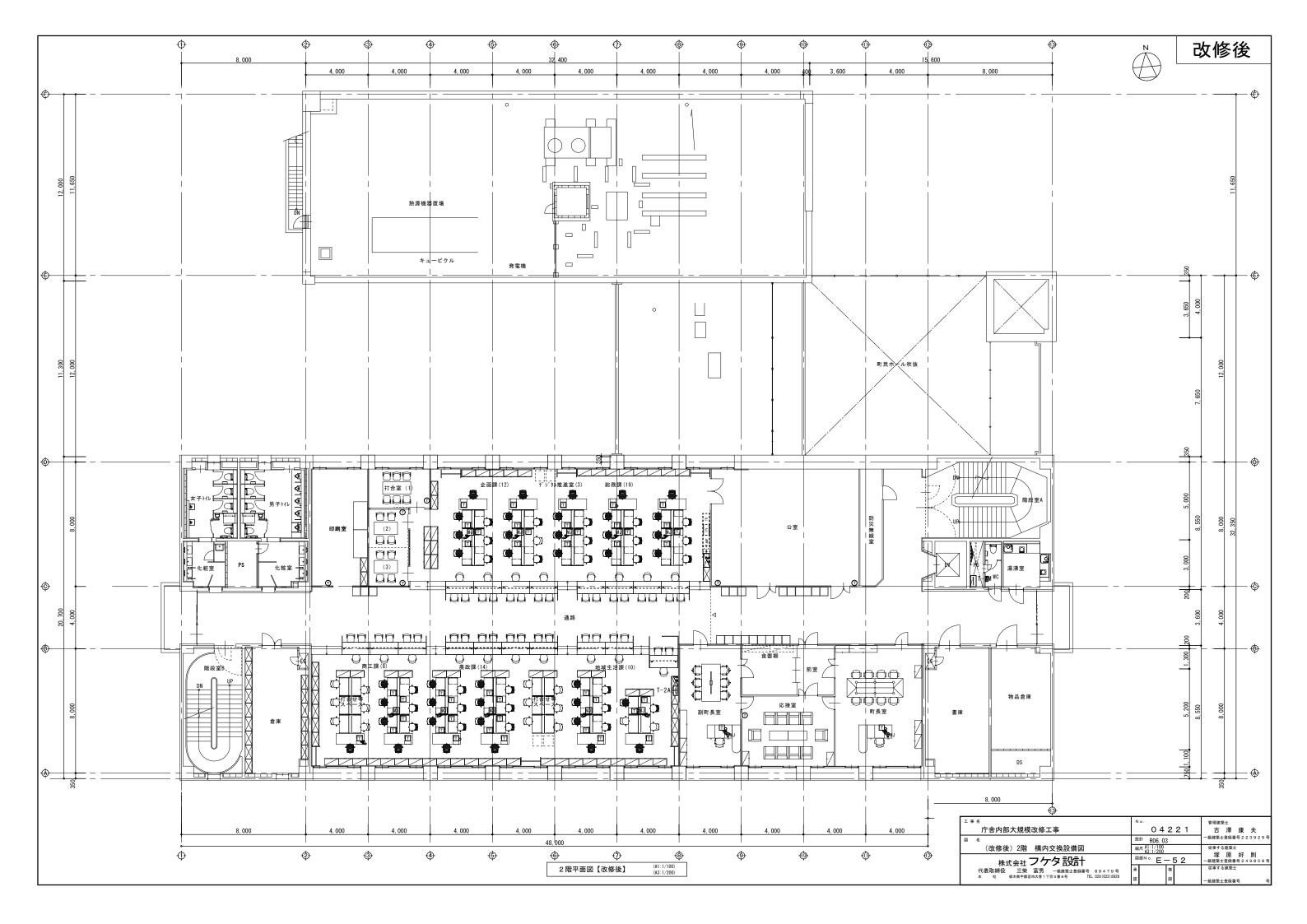
 単体電話機
 ・・・・ 38台

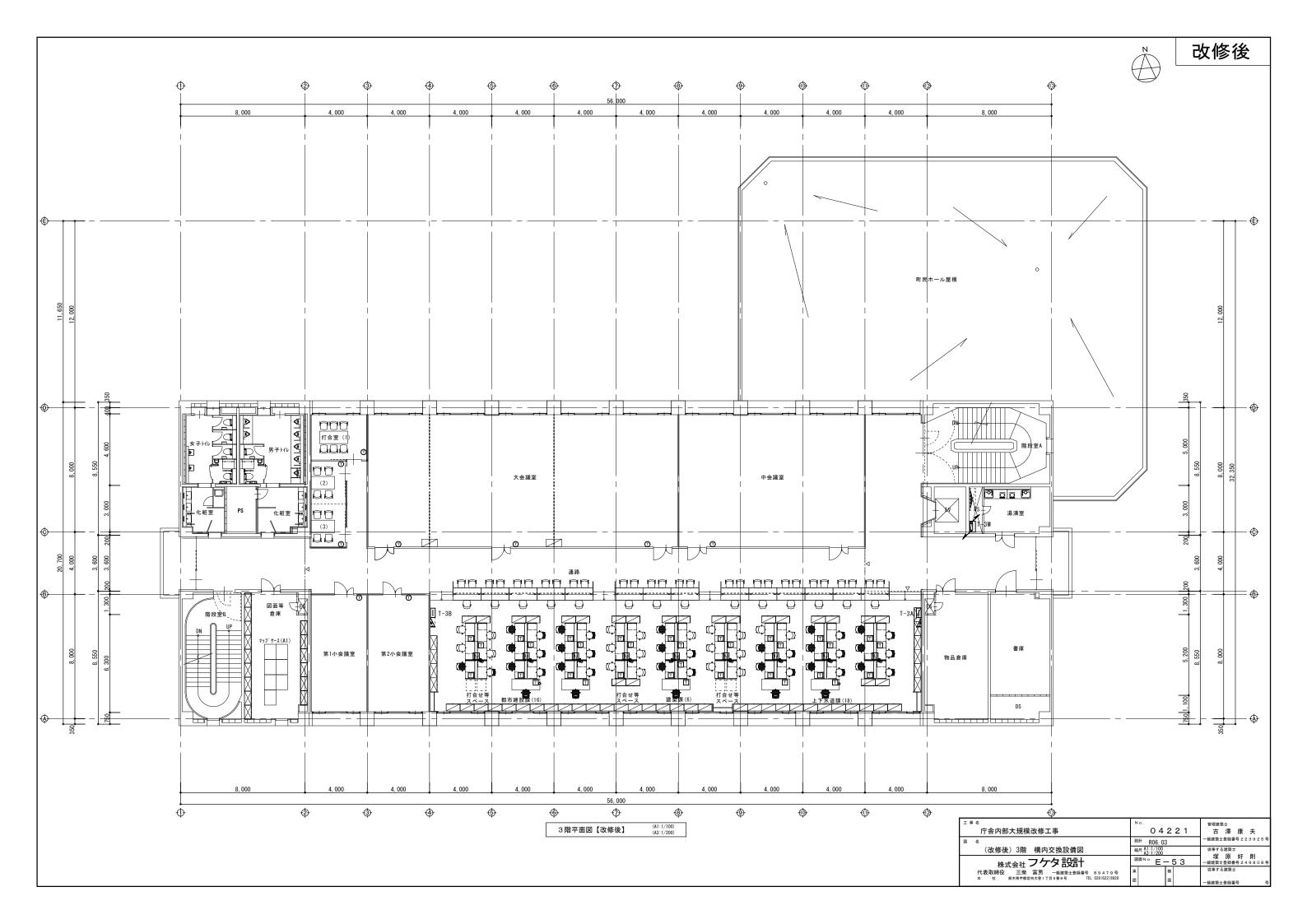
### 7. 機器姿図

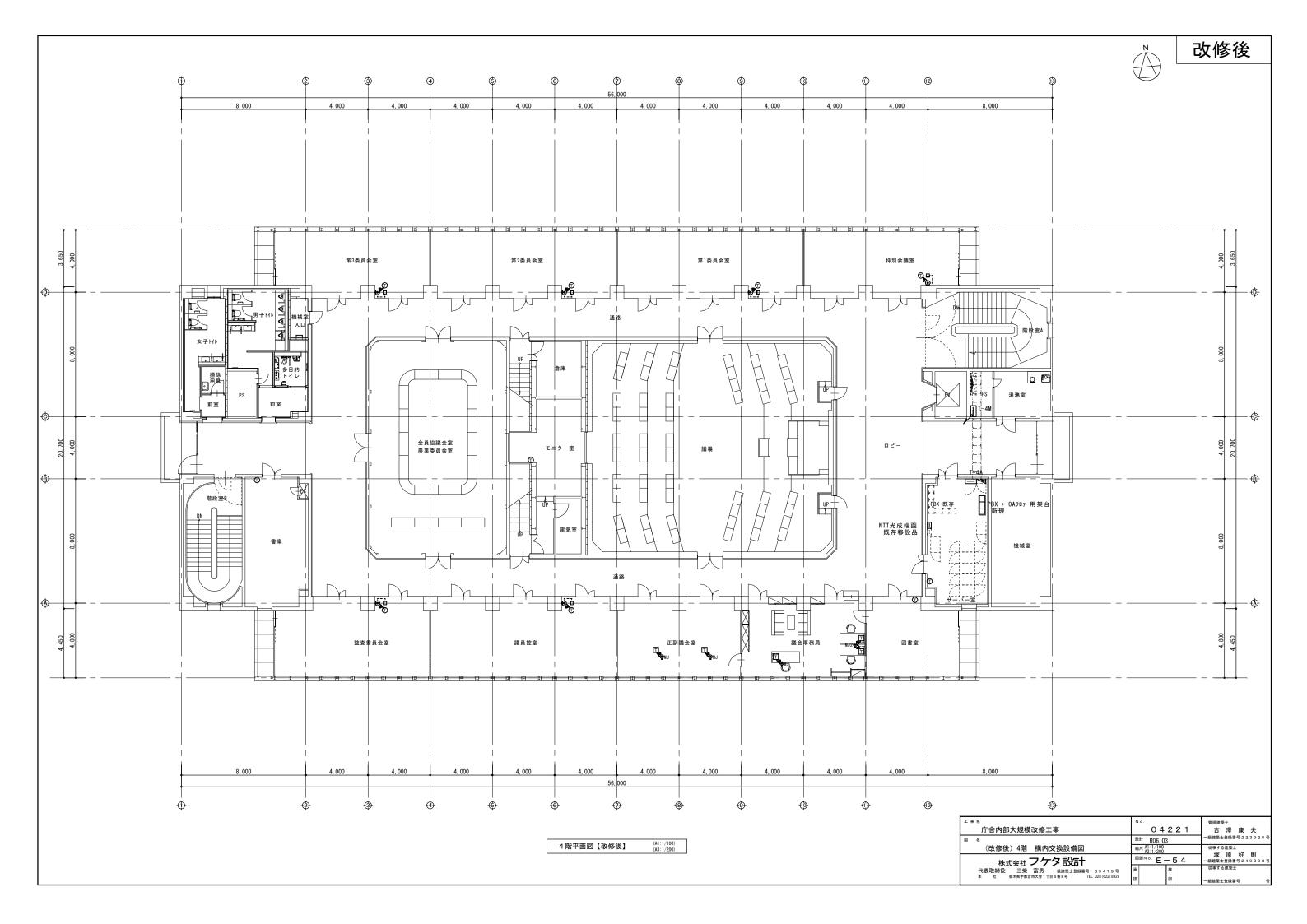
	主装置	多機能電話機
	多機能電話機(カールコードレス)	単体電話機
<b>5.</b>		

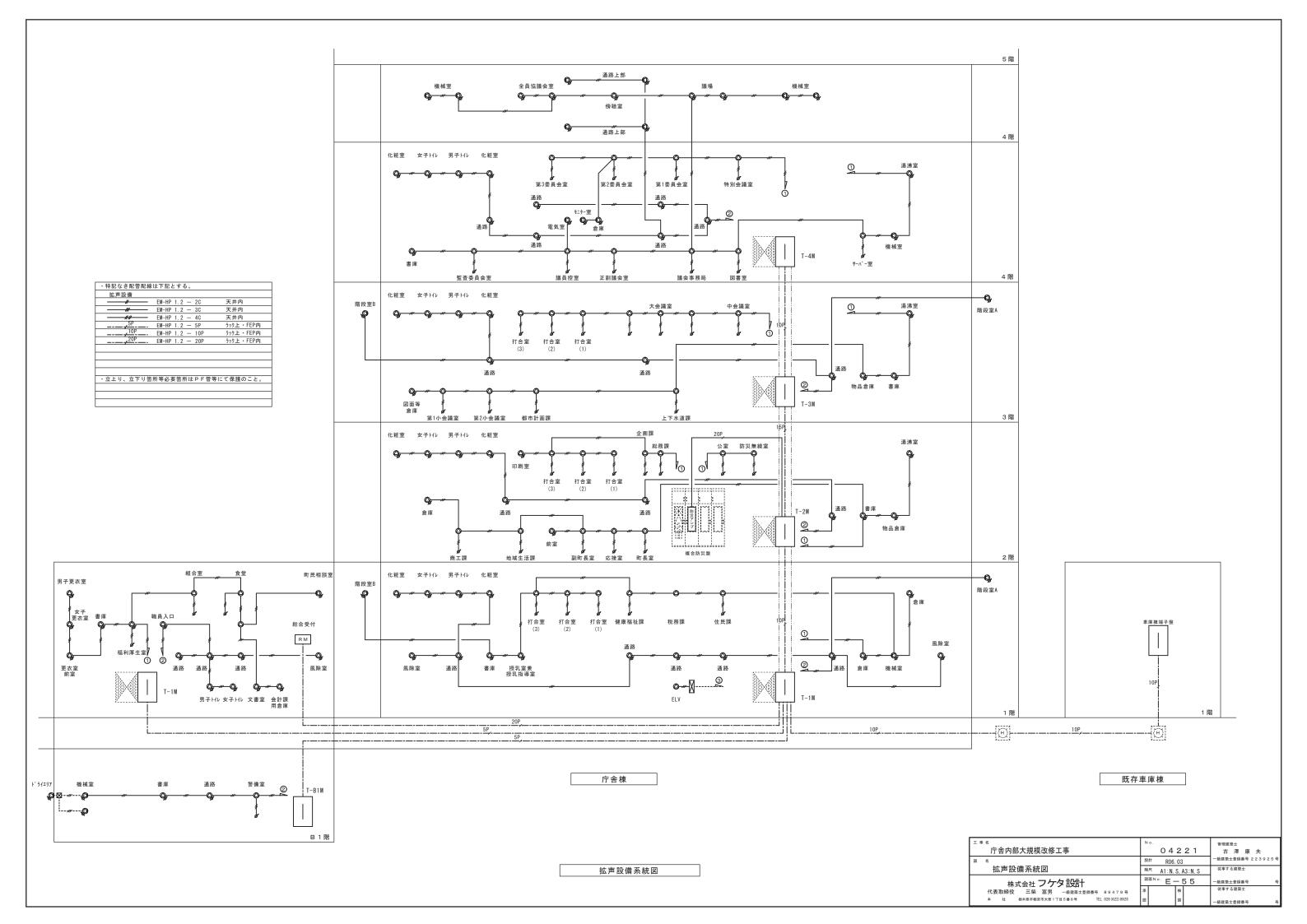
工事名	No.	管理建築士
庁舎内部大規模改修工事	04221	古澤 康 夫
図 名	<sup>設計</sup> R06.03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号
電話交換機器仕様書	縮尺 A1:N.S A3:N.S	従事する建築士
株式会社 フケタ設計	<sup>図面</sup> № E — 5 0	塚 原 好 則 一級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽1丁目5番8号 TEL 028(622)8928	認図	一級建築士登録番号 号

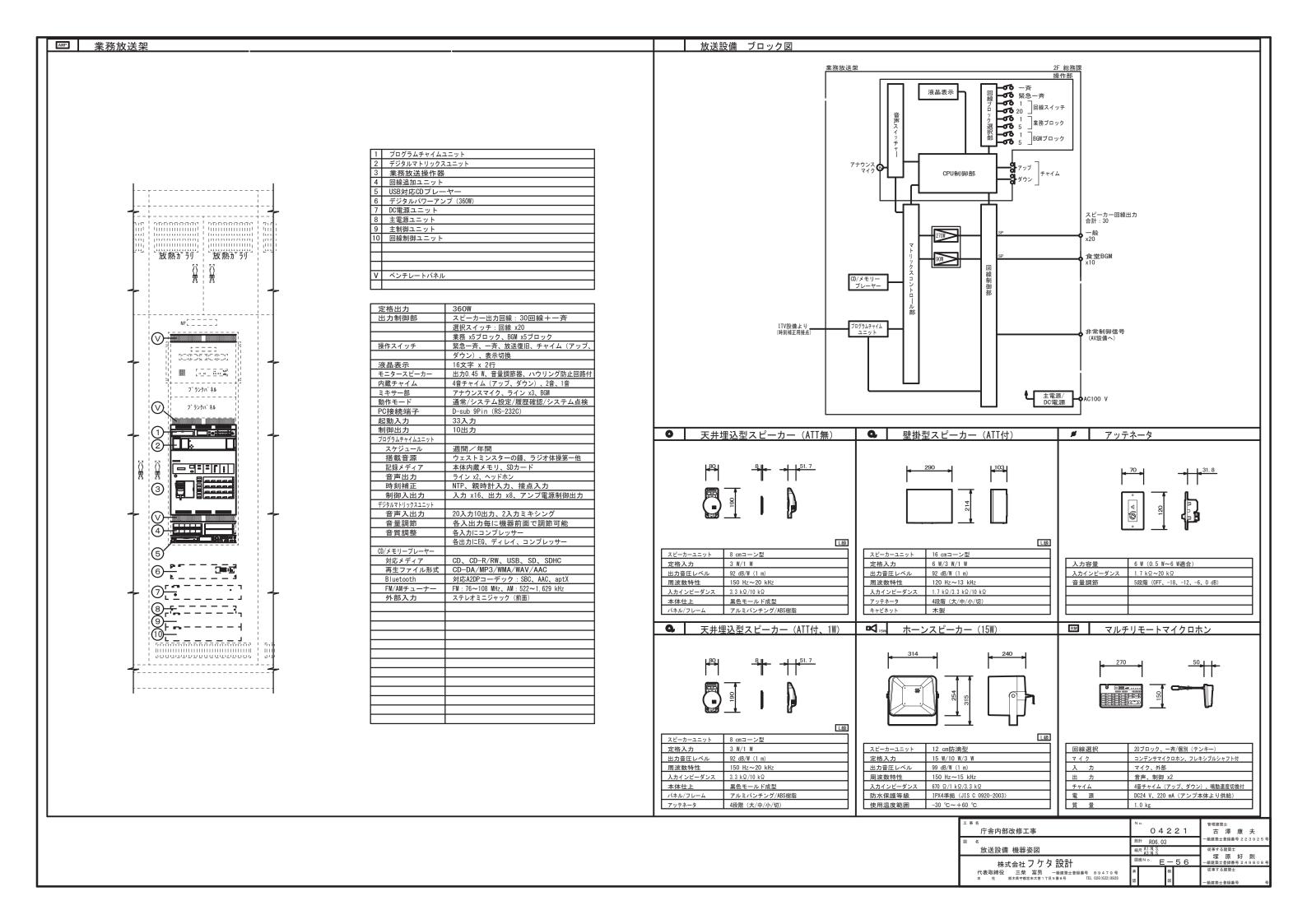


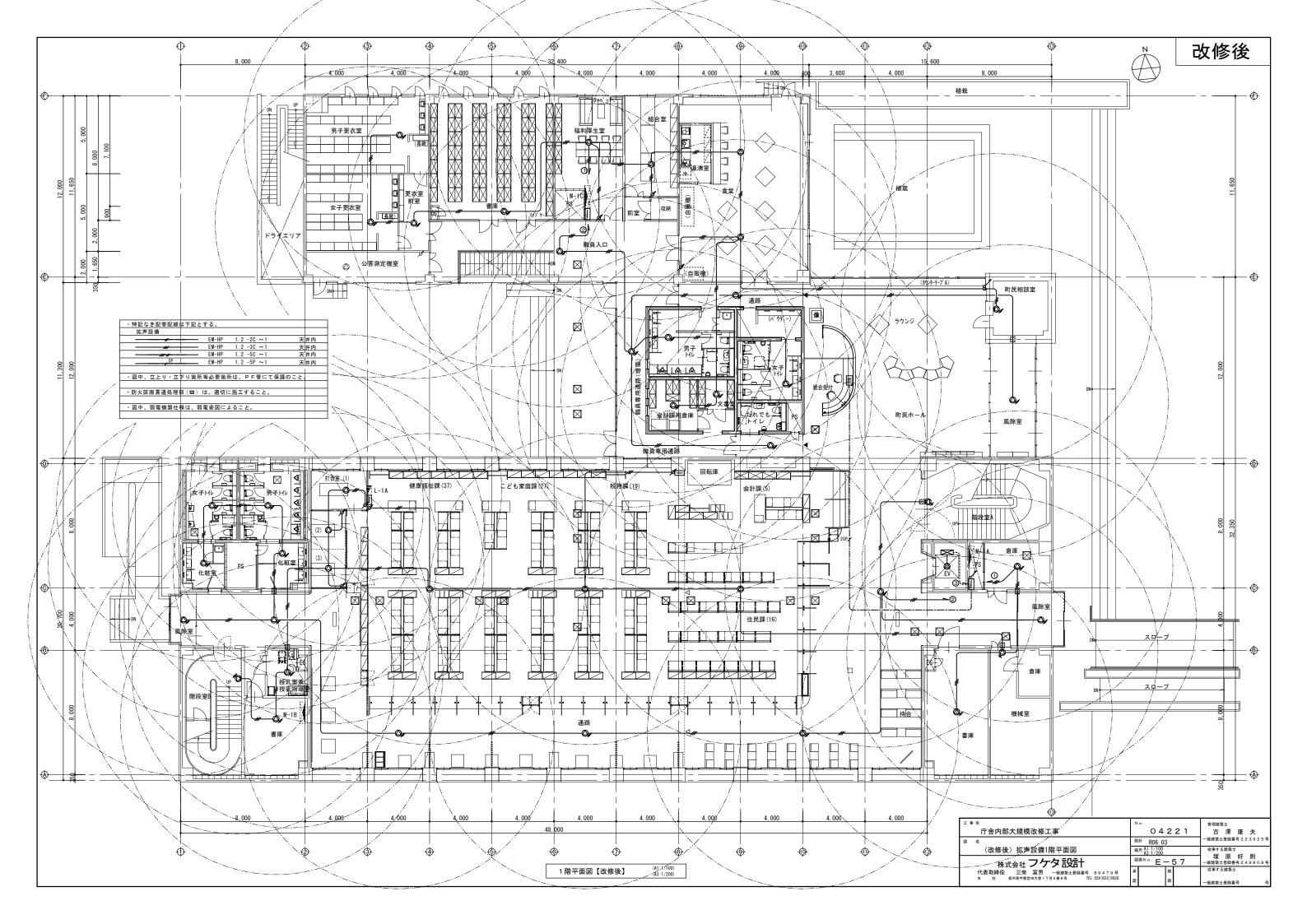


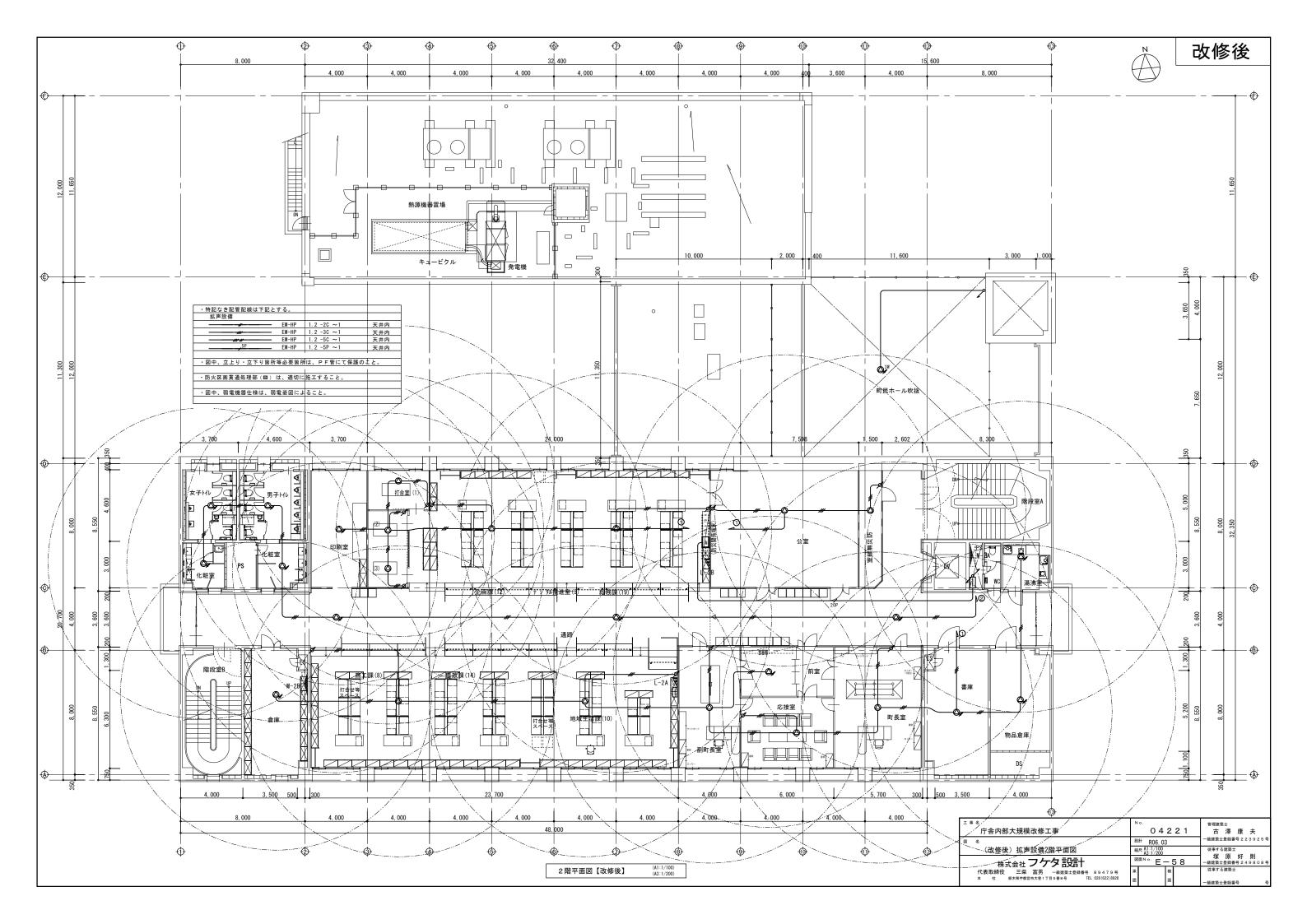


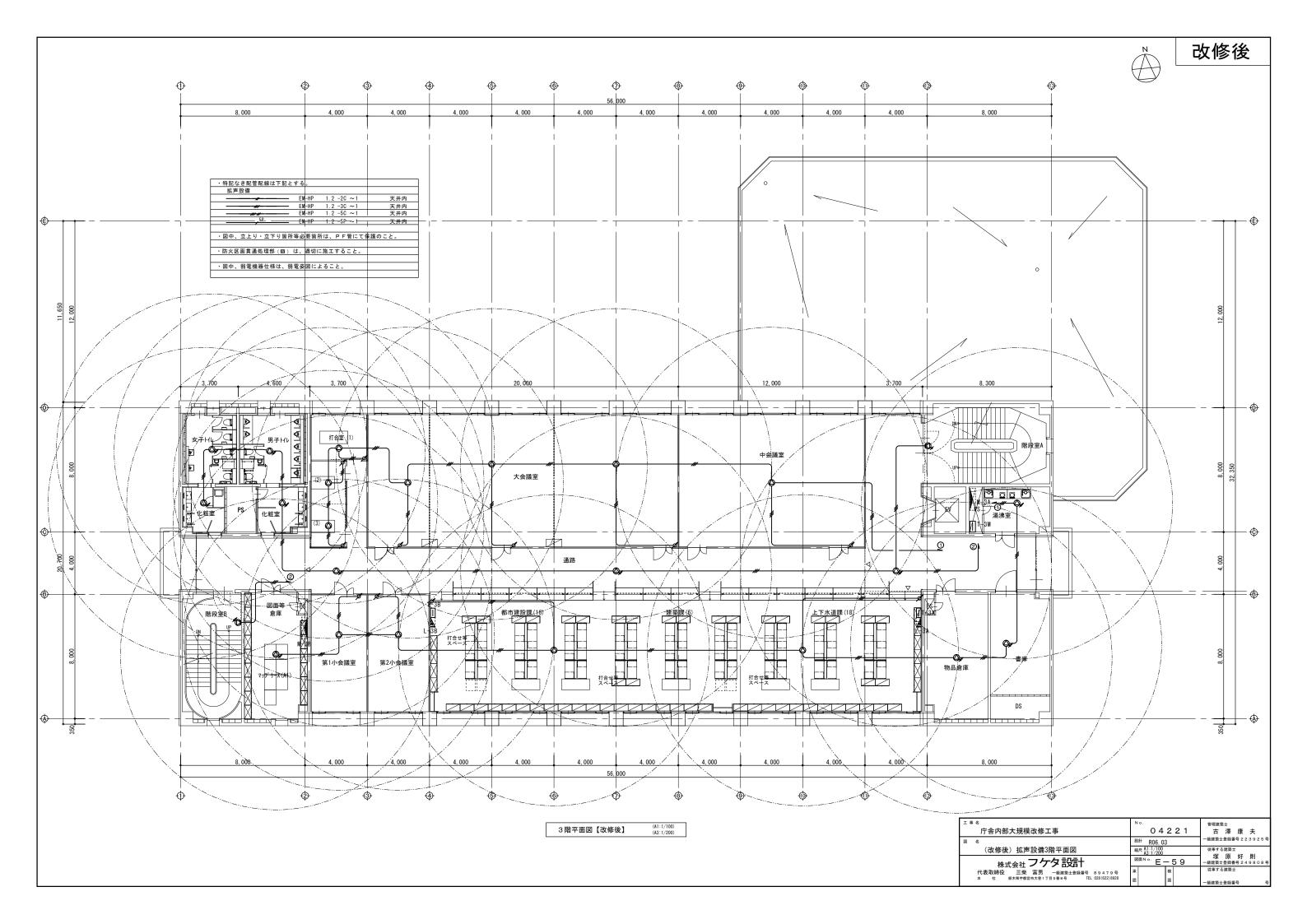


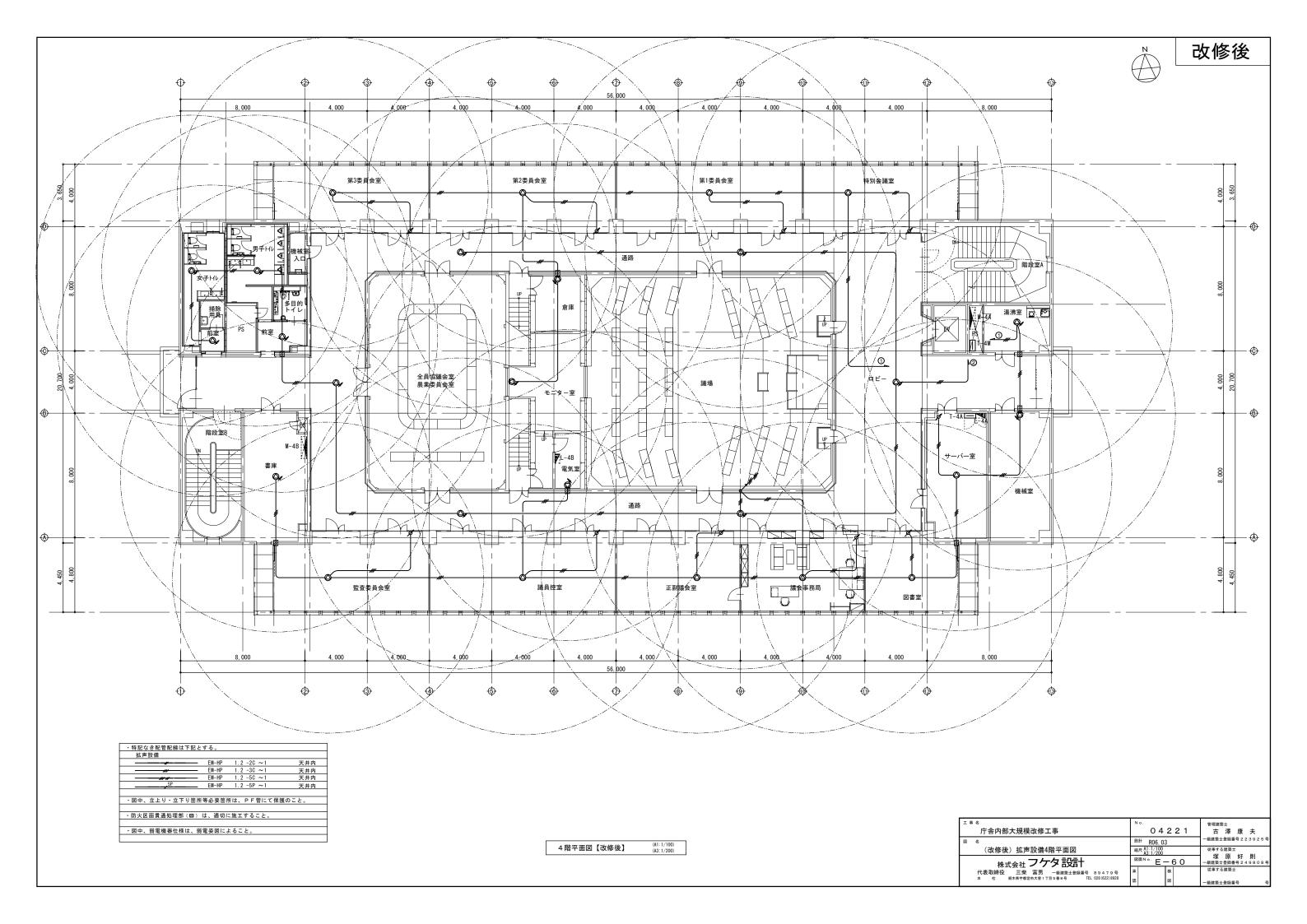


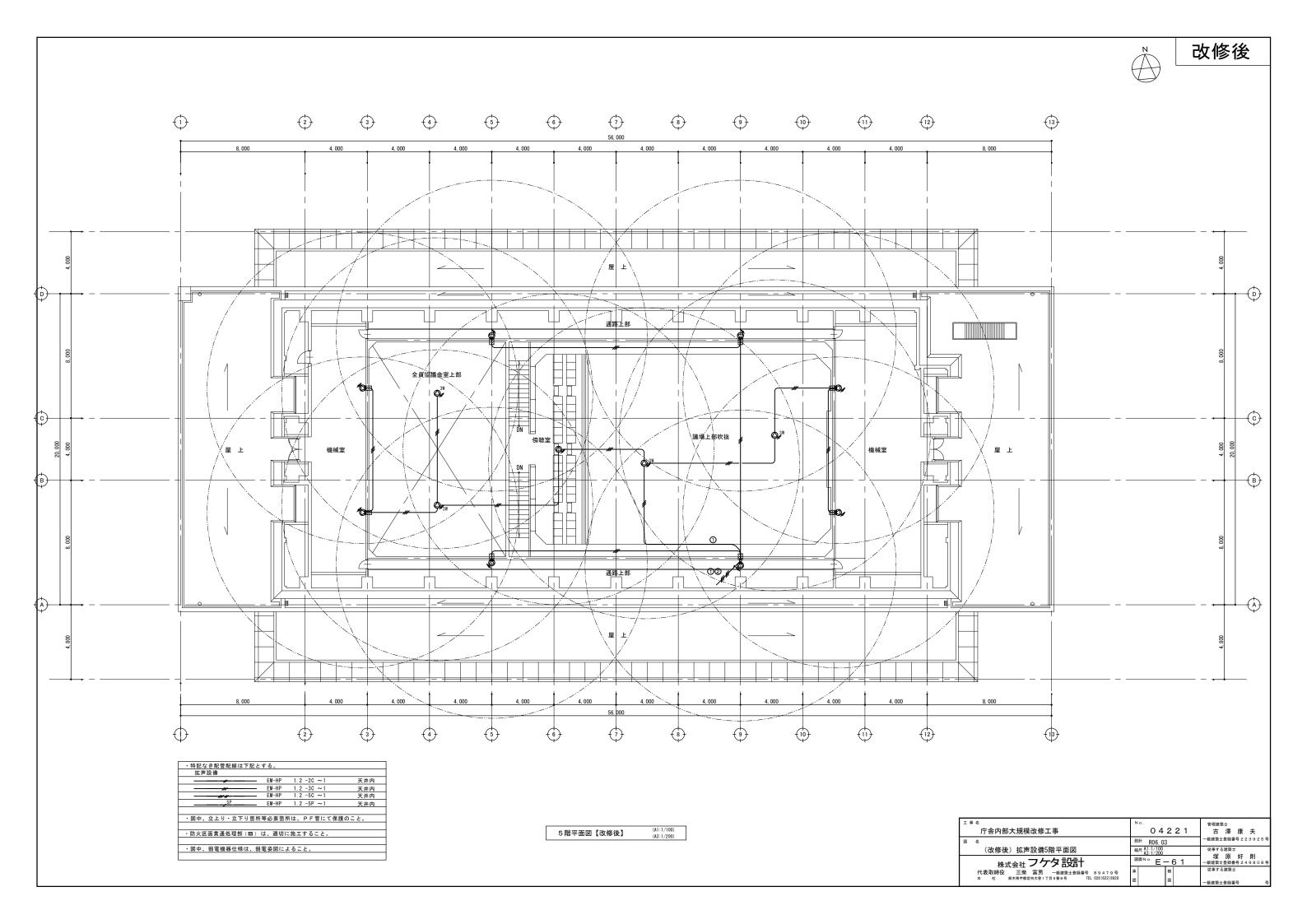


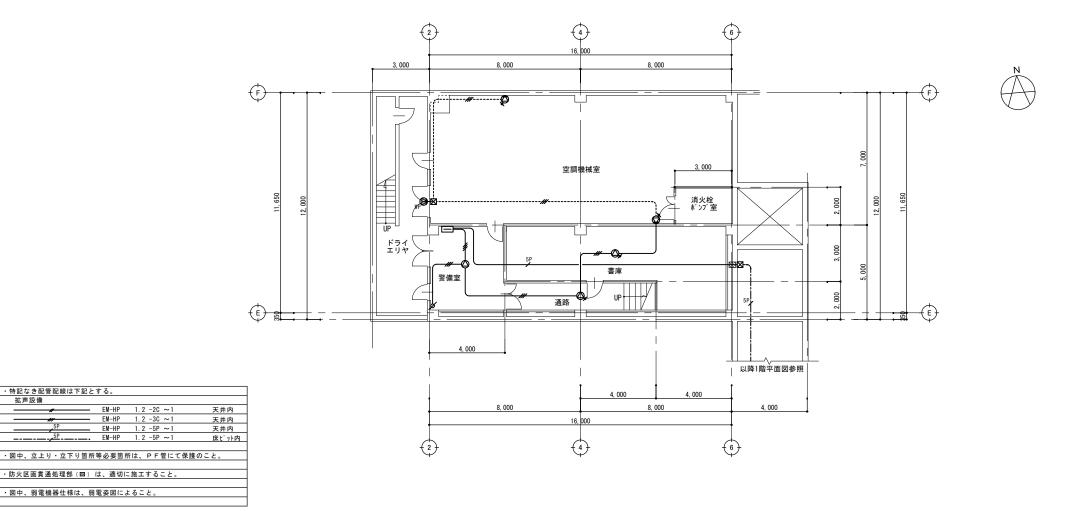










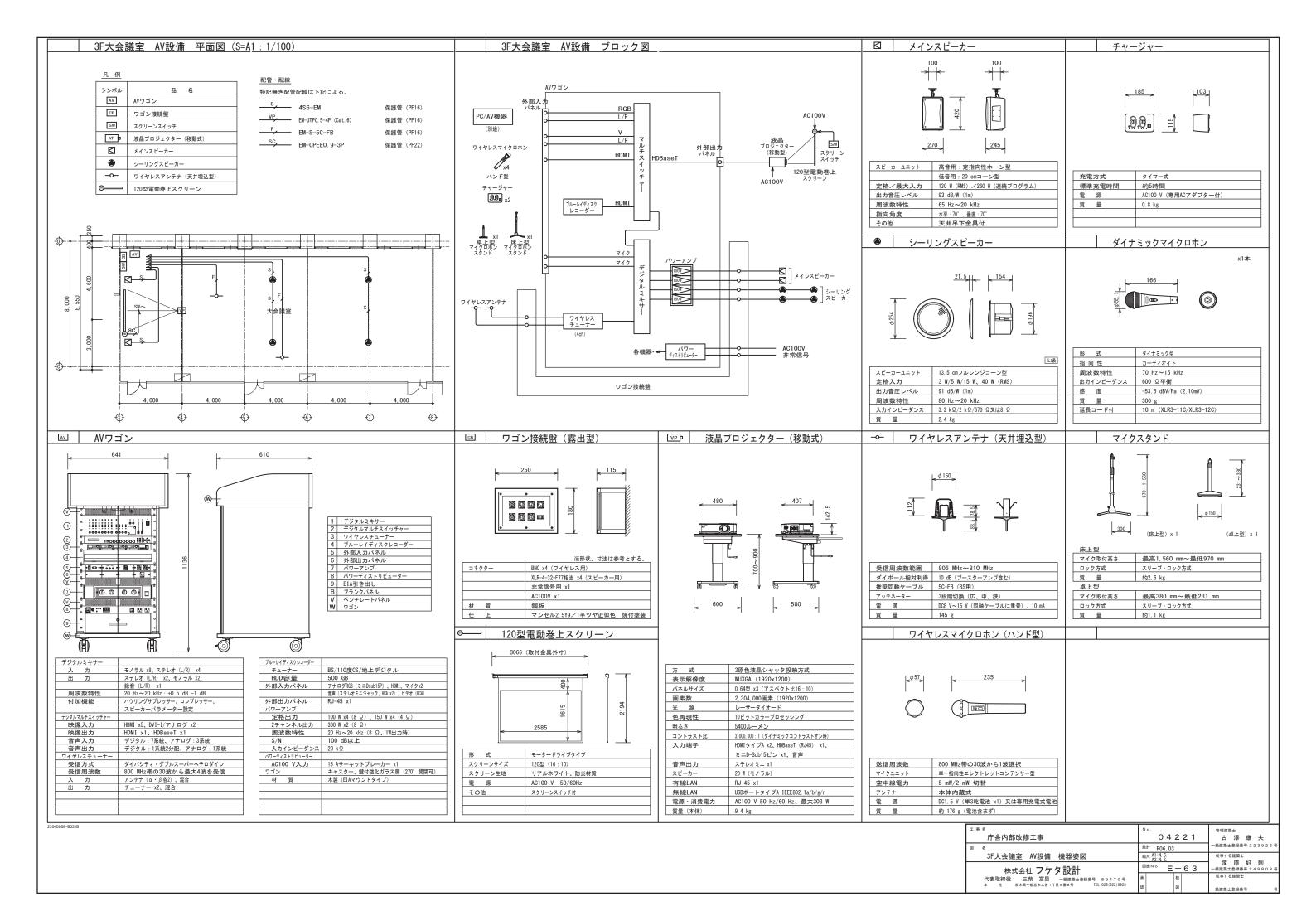


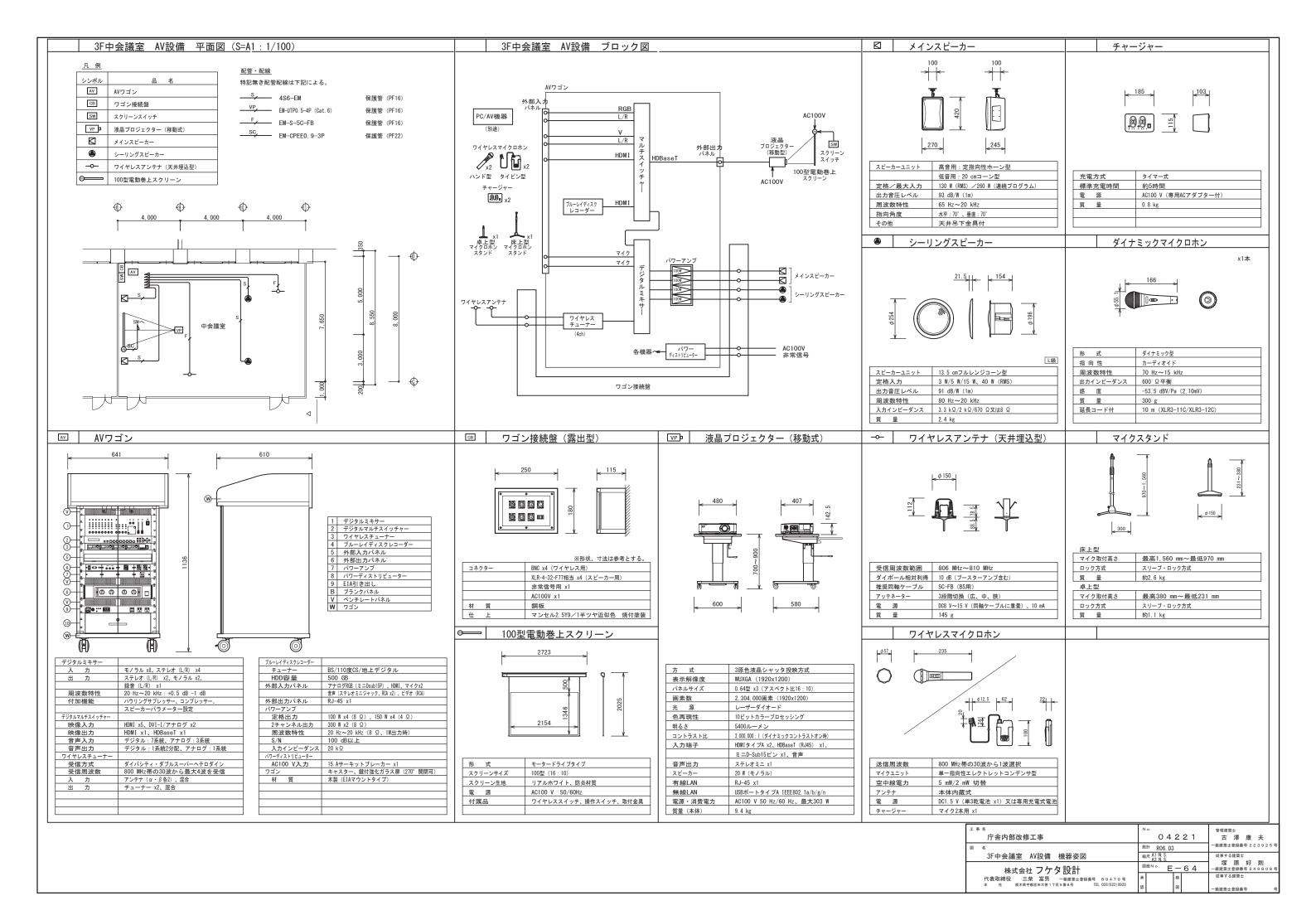
	地下1階平面図	【改修後】	(A1:1/100) (A3:1/200)
--	---------	-------	--------------------------

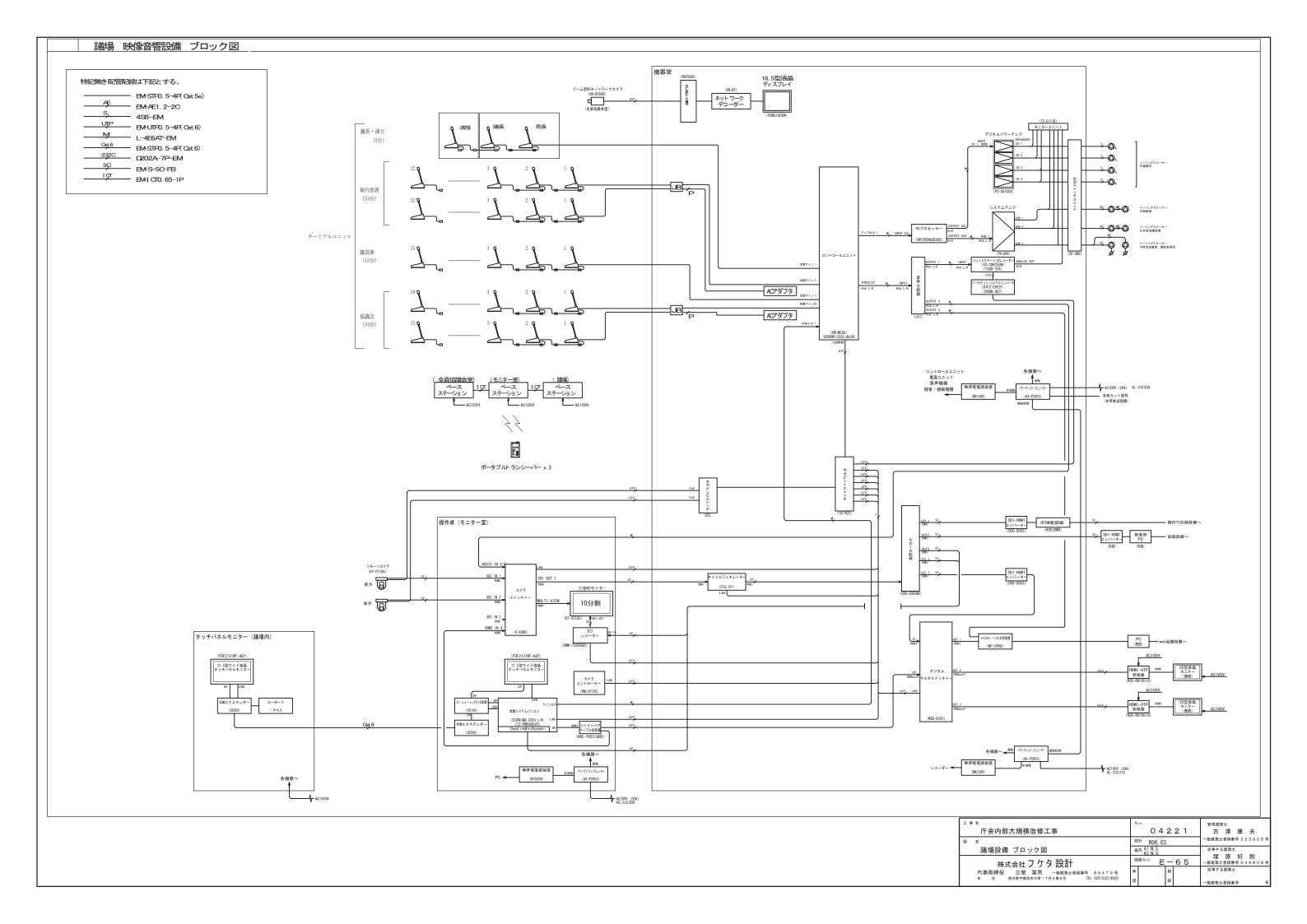
・特記なき配管配線は下記とする。 拡声設備

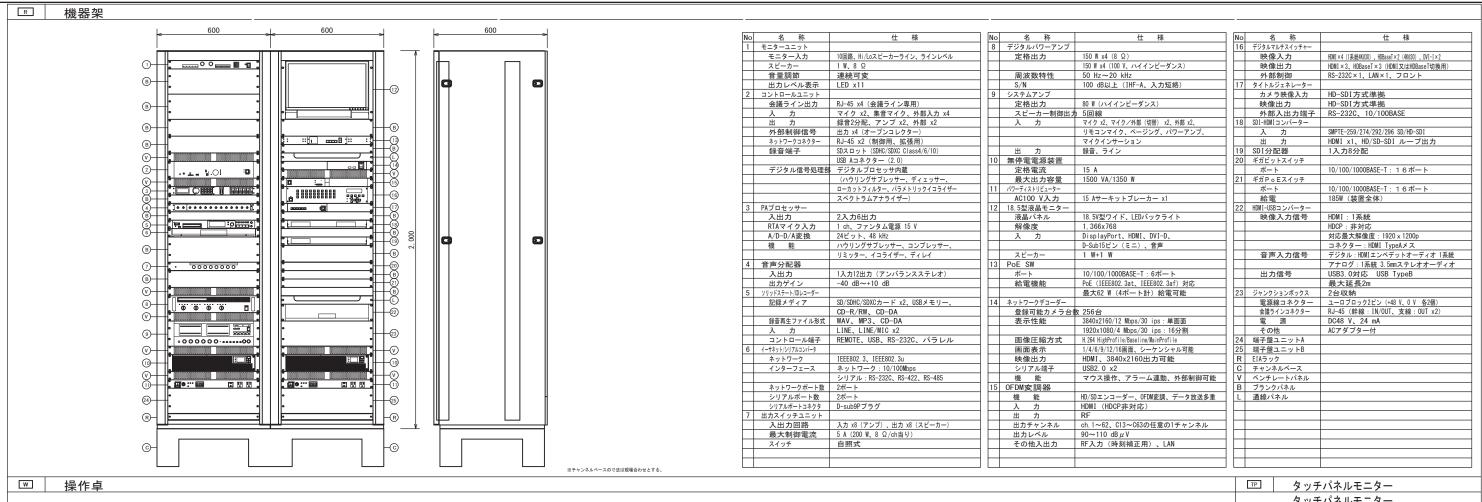
・防火区画貫通処理部(図) は、適切に施工すること。 ・図中、弱電機器仕様は、弱電姿図によること。

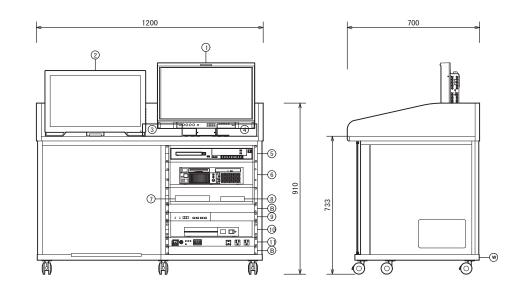
工事名	No.	管理建築士
庁舎内部大規模改修工事	0 4 2 2 1	古澤 康 夫
図 名	<sup>股計</sup> R06.03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号
(改修後) 拡声設備地下 1 階平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	従事する建築士
株式会社フケタ設計	<sup>図面N</sup> ° E − 6 2	塚原 好 則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	题	_ 你神像上数档平日 日



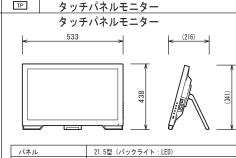






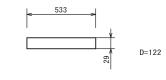


lo	名 称	仕 様	No	名 称	仕 様
1	21型HDモニター		7	KVMエキステンダー	
	液晶パネル	21V型ワイド		解像度	最大4k、1080p
	画素数 (解像度)	水平1,920 x 垂直1,080		KVMポート	DisplayPortメス x1
	視野角	上下80°/80°、左右85°/85°			USB Type-Aメス ×1
	入 力	HD/SD SDI x2、HDMI x1			ステレオミニジャック x2
	電 源	AC100 V、43 W (最大)			RJ-45 x1
2	21.5型ワイド液晶タッチパネルモ	<u> </u>	8	DisplayPort分配器	
	液晶パネル	21.5型、LEDバックライト		解像度	最大4k
	表示画素数	1,920x1,080ピクセル		入力	DisplayPortメス x1
	タッチパネル	超音波表面弾性波方式		出 力	DisplayPortメス ×4
	入 力	DVI-Dx1、D-Subx1、DisplayPortx1		最大距離	4. 6m (4k)
	チルト角度	15° ∼70°	9	ツイストペアケーブル延長器	
3	カメラスイッチャー			入力	HDMI/DVI 1系統、HDBaseT 1系統
	映像フォーマット	1080/59.94i、720/59.94i他		出力	HDMI/DVI 1系統、HDBaseT 1系統2分配
	入 力 数	SDI x4, HDMI x2			アナログ音声 1系統 (ステレオ)
	出 力 数	SDI 1~2, HDMI 1~2		対応フォーマット	VGA~4K、480i~1080p · 4K@60
	映像エフェクト	切り替え、合成		ケーブル最大距離	HDBaseT: 150 m (ロングリーチモード使用時)
	その他機能	プリセットメモリー(8個)、パネルロック機能、		外部制御	RS-232C, LAN
		EDIDエミュレーター、リモート・カメラ制御	10	UPS	
	電源	ACアダプター 3.1A 37W		入力最大電流	7.5 A
4	カメラコントローラー			出力定格容量	500 VA/300 W
	カメラ接続台数	最大100台	11	パワーディストリビューター	
	プリセットポジション数	最大100ポジション		AC100 V入力	15 Aサーキットブレーカー x1
	端 子	TALLY (D-sub9ピン)、LAN		キャプチャーカード	
	電源	DC12 V, 0.6 A		入力コネクタ	SDI, HDMI
5	BDレコーダー			EIAワゴン	キャスター、鍵付強化ガラス扉付
	HDD容量	4 TB (外付HDD対応)		材 質	木製 (EIAマウントタイプ)
	録画可能ディスク	BD-R/RE、DVD-R/RW/RAM ほか	W	EIAワゴン	
	記録圧縮方式	映像: MPEG-2、MPEG-4 AVC/H. 264	В	ブランクパネル	
		音声:ドルビーデジタル、MPEG2 AAC			
	入 力	HD/SD-SDI、HDMI、音声			
	出 力	HD/SD-SDI、HDMI、音声			
	外部制御	LAN			
	USB端子	USB 3.0x1, USB 2.0x1			
	LAN端子	10/100/1000BASE-T (RJ-45)			
	その他	シリアル変換器 (RS232C-RS422) を含む			
6	会議システムパソコン				
	0 S	Windows 10 Professional 64bit			
$\Box$	CPU	Core i3 以上			
J	HDD	320GB 以上			
J	メモリー	4GB 以上			
J	シリアルI∕F	RS-232C D-Sub9ピンx2			
		制御ソフトウェア、キャプチャーカード共			
			1 🗆		



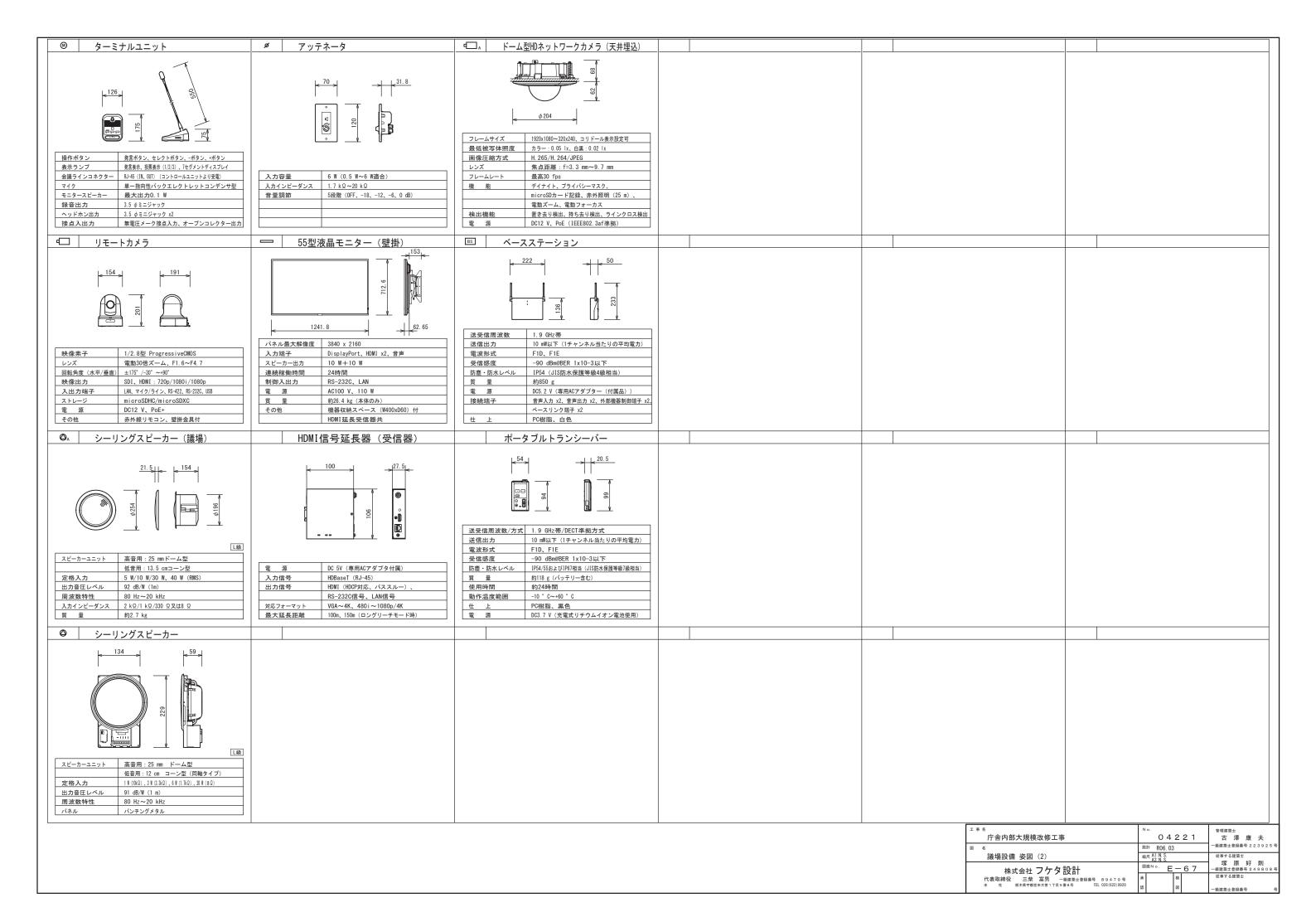
	パネル	21.5型(バックライト:LED)
	推奨解像度	1920 x 1080
	視野角 (水平/垂直)	170° /160°
	入力端子	DVI-D、D-Sub15ピン、DisplayPort
	対応0S	Windows10/8/7 (各64 bit/32 bit)
	電源	AC100 V、最大32 W
	質 量	約6.5 kg

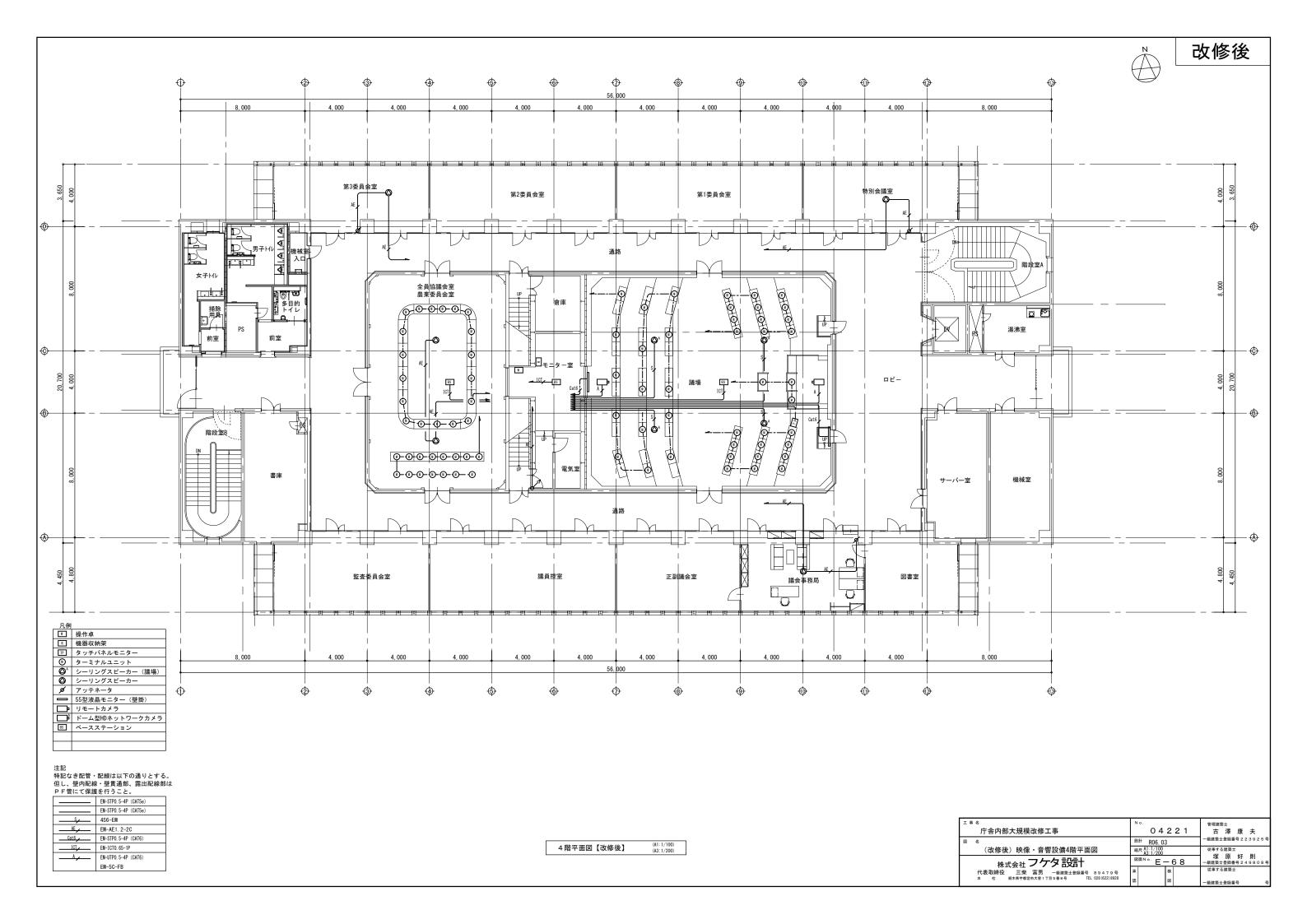
# KVMエクステンダー

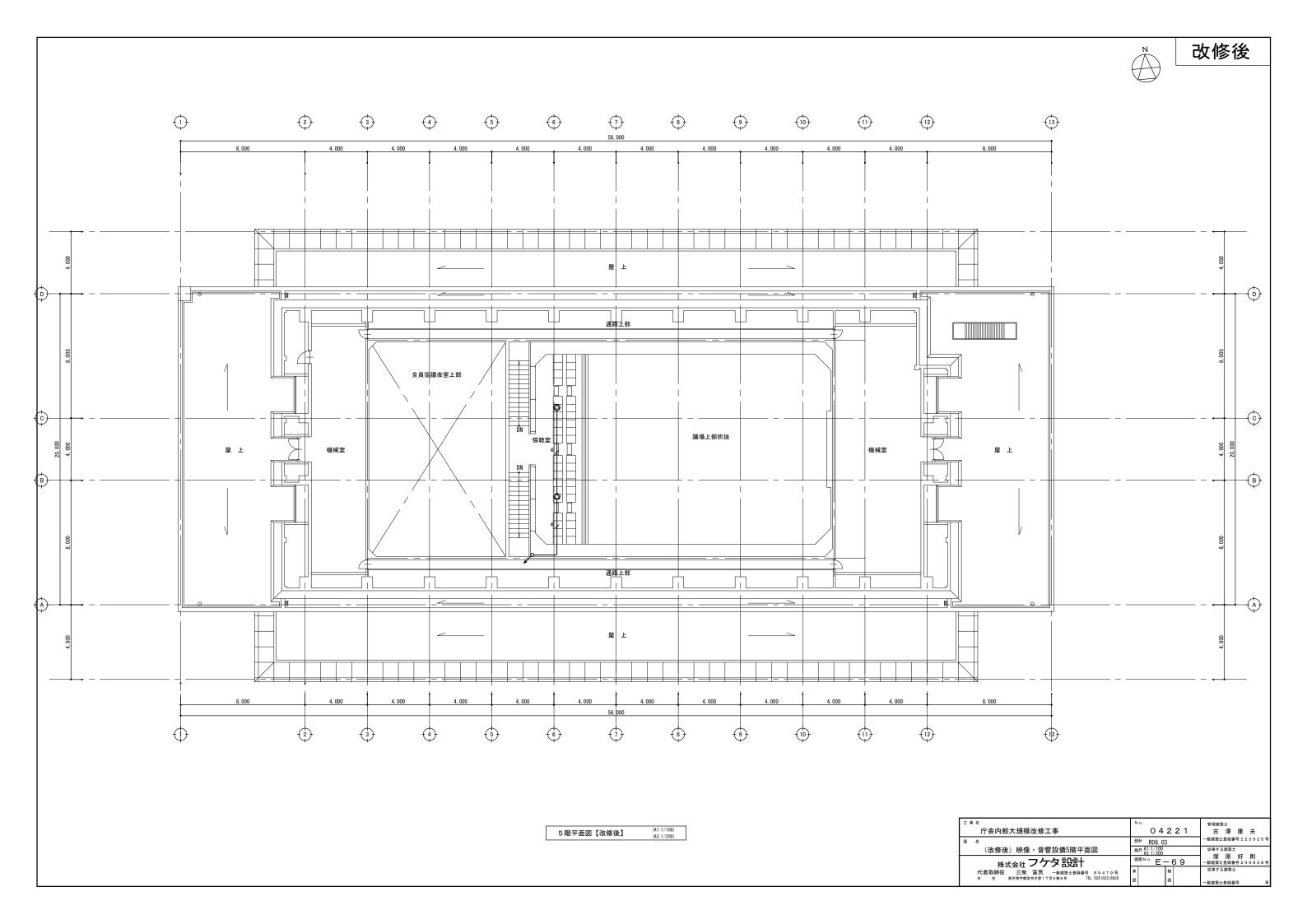


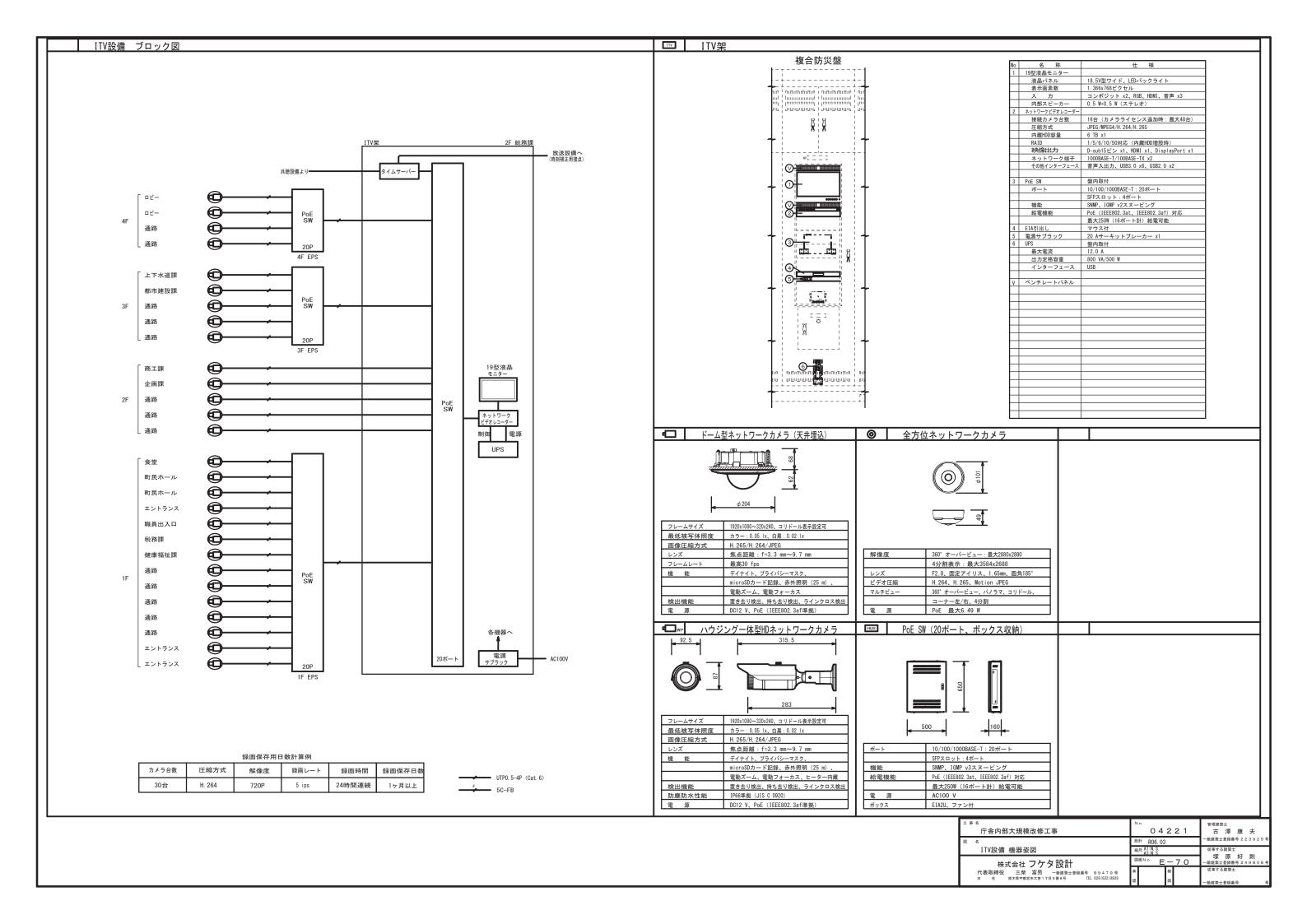
解像度	最大4k、1080p
コンソールポート	DisplayPortメス ×1
	USB Type-Aメス ×1
	ステレオミニジャック x2
	RJ-45 x1
電源	DC5V、ACアダプター付
質 量	約0.64 kg
その他	マウス、キボード付

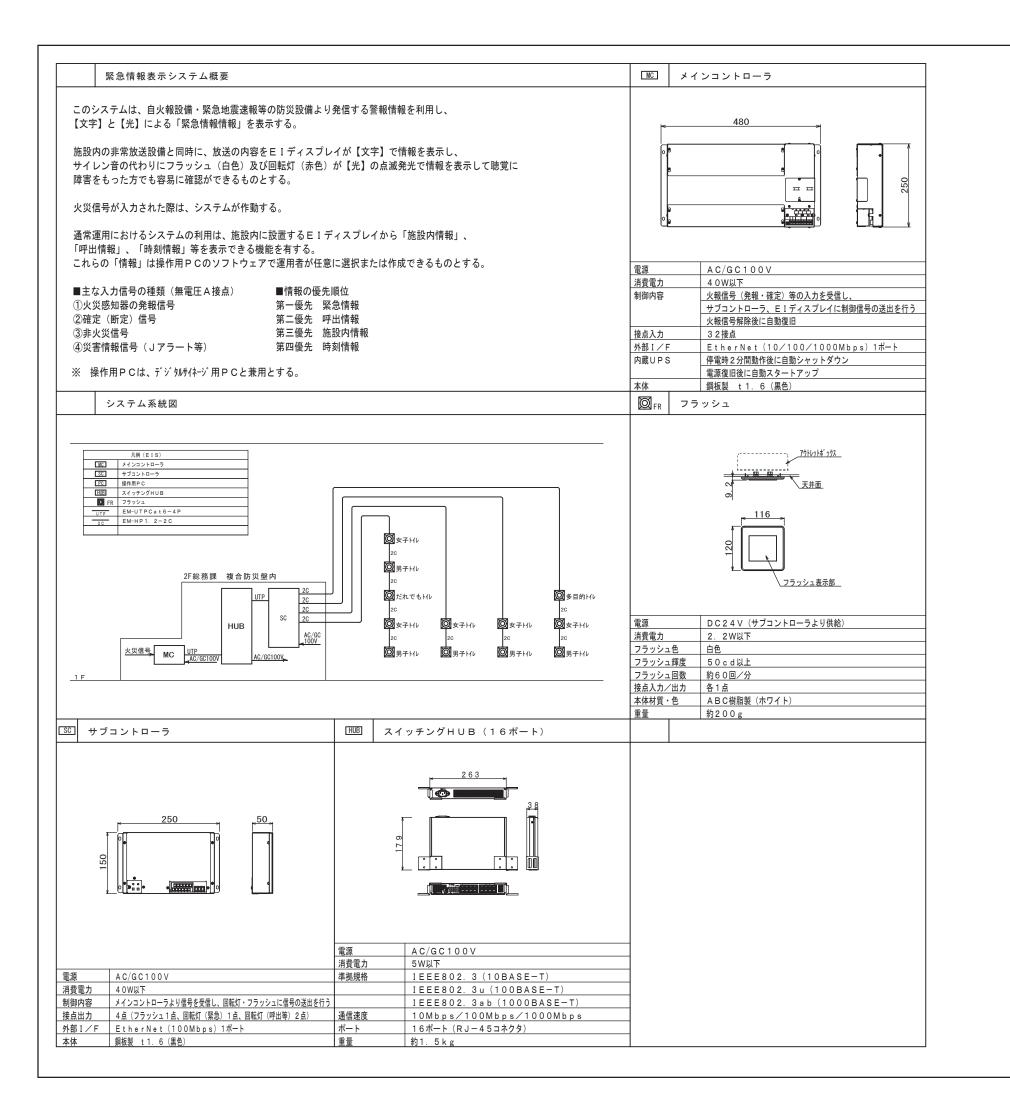
ェ * * *	N	0.4	2	2 1	<sup>管理建集士</sup> 古澤康夫
図 名	設	KUU. US	;		一級建築士登録番号 223925号
議場設備 姿図(1)	縮	尺 A1:N.S. A3:N.S.			従事する建築士
株式会社 フケタ設計	<sup>図面N</sup> ° E−66			6 6	塚 原 好 則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承		検		従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	82		Ø		一級建築士登録番号 号



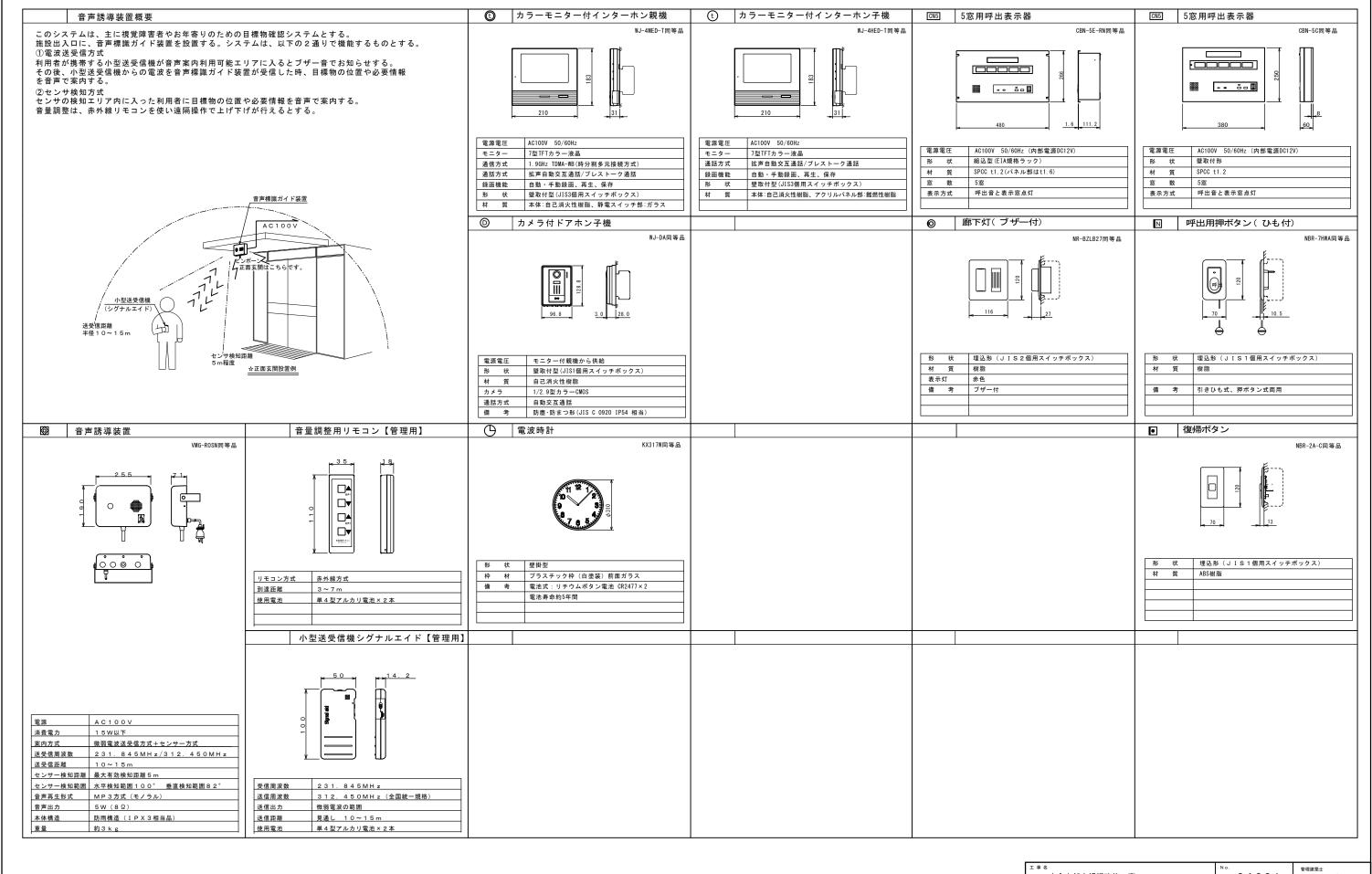




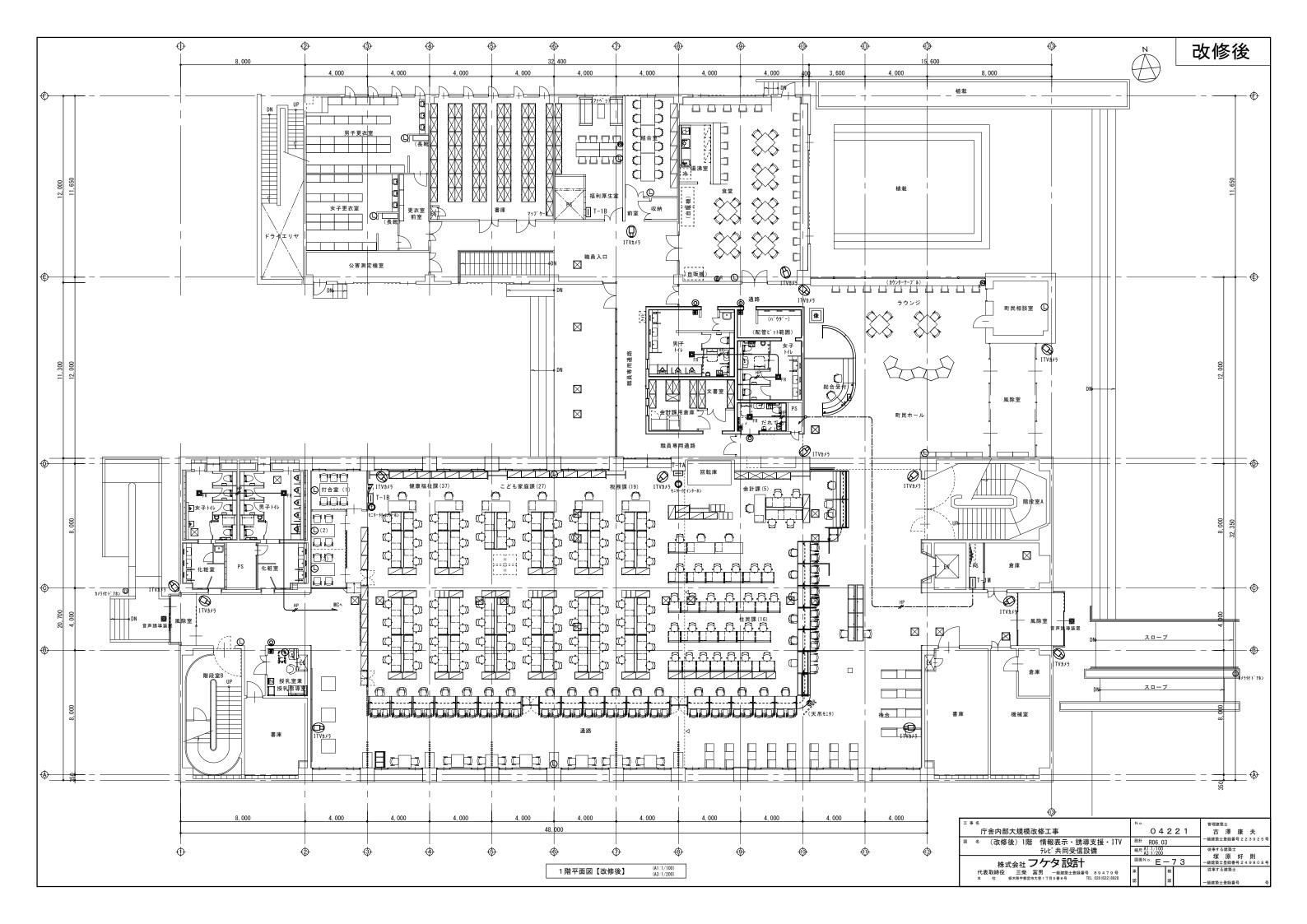


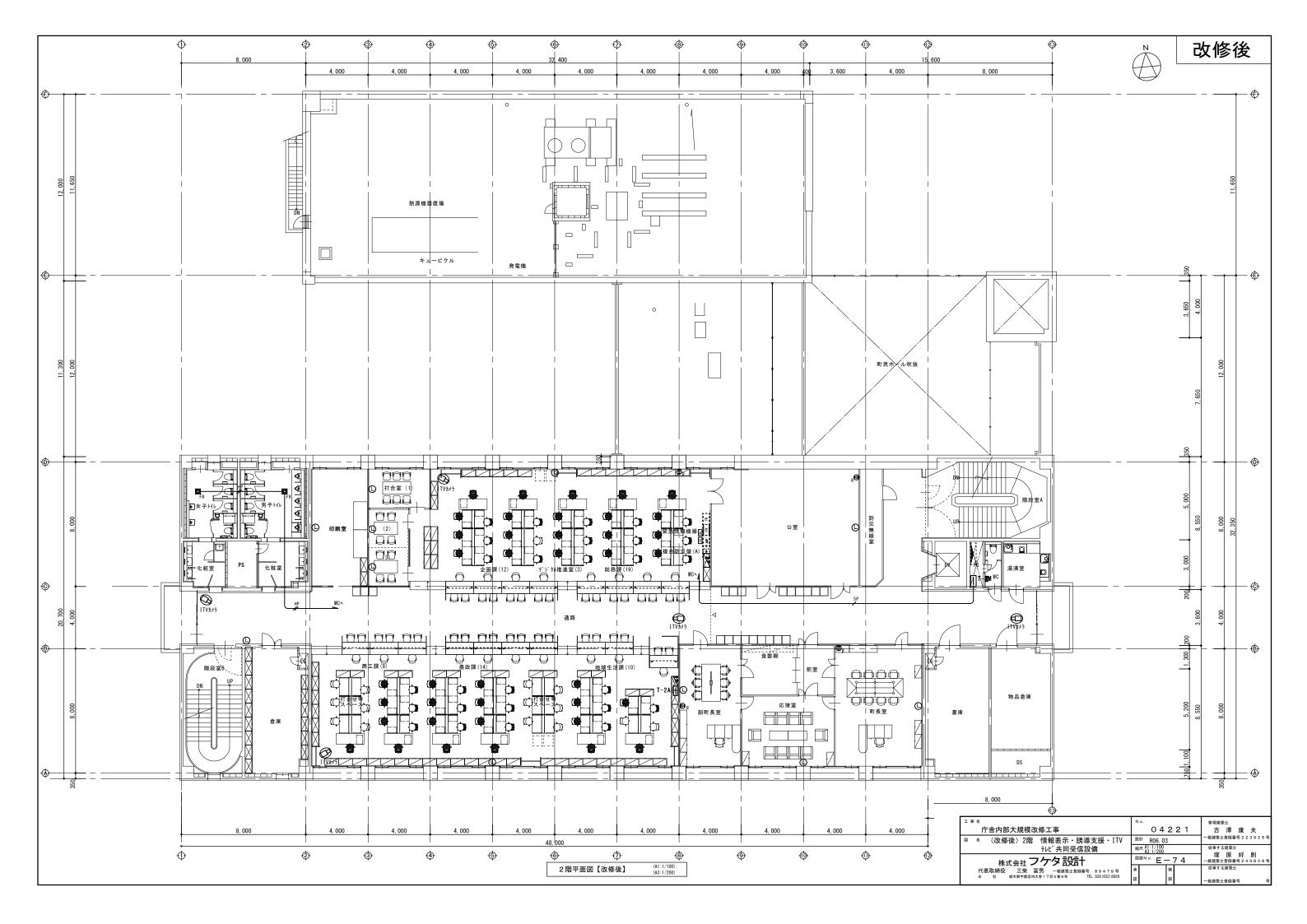


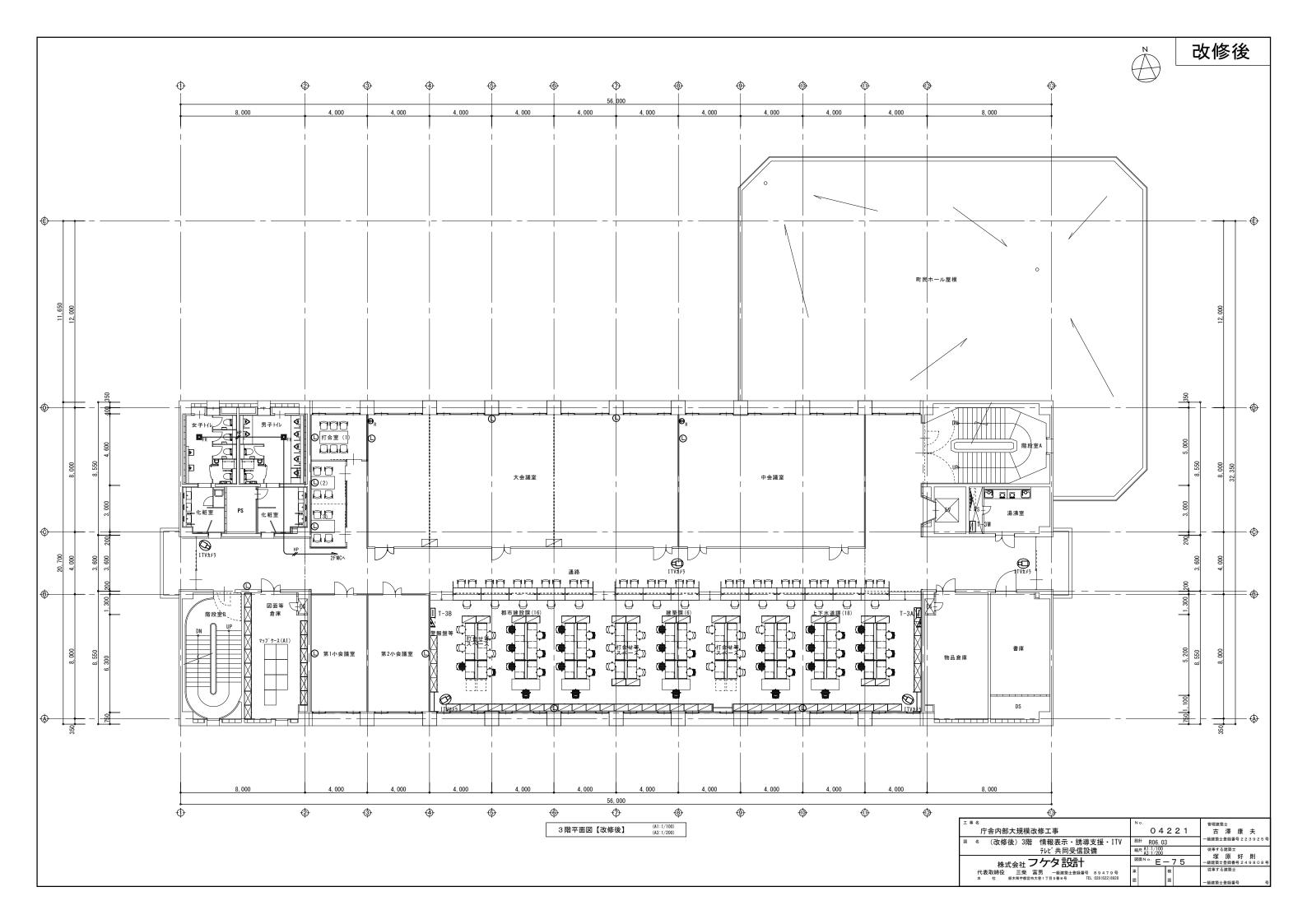
工事名	No.	管理建築士
庁舎内部大規模改修工事	0 4 2 2 1	古澤 康 夫
図 名	<sup>股計</sup> R06.03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号
情報表示設備機器姿図	縮尺 A1:N. S A3:N. S	従事する建築士
株式会社フケタ設計	<sup>図面N</sup> ° E − 7 1	塚原好則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	恩図	一級建築士登録番号 号

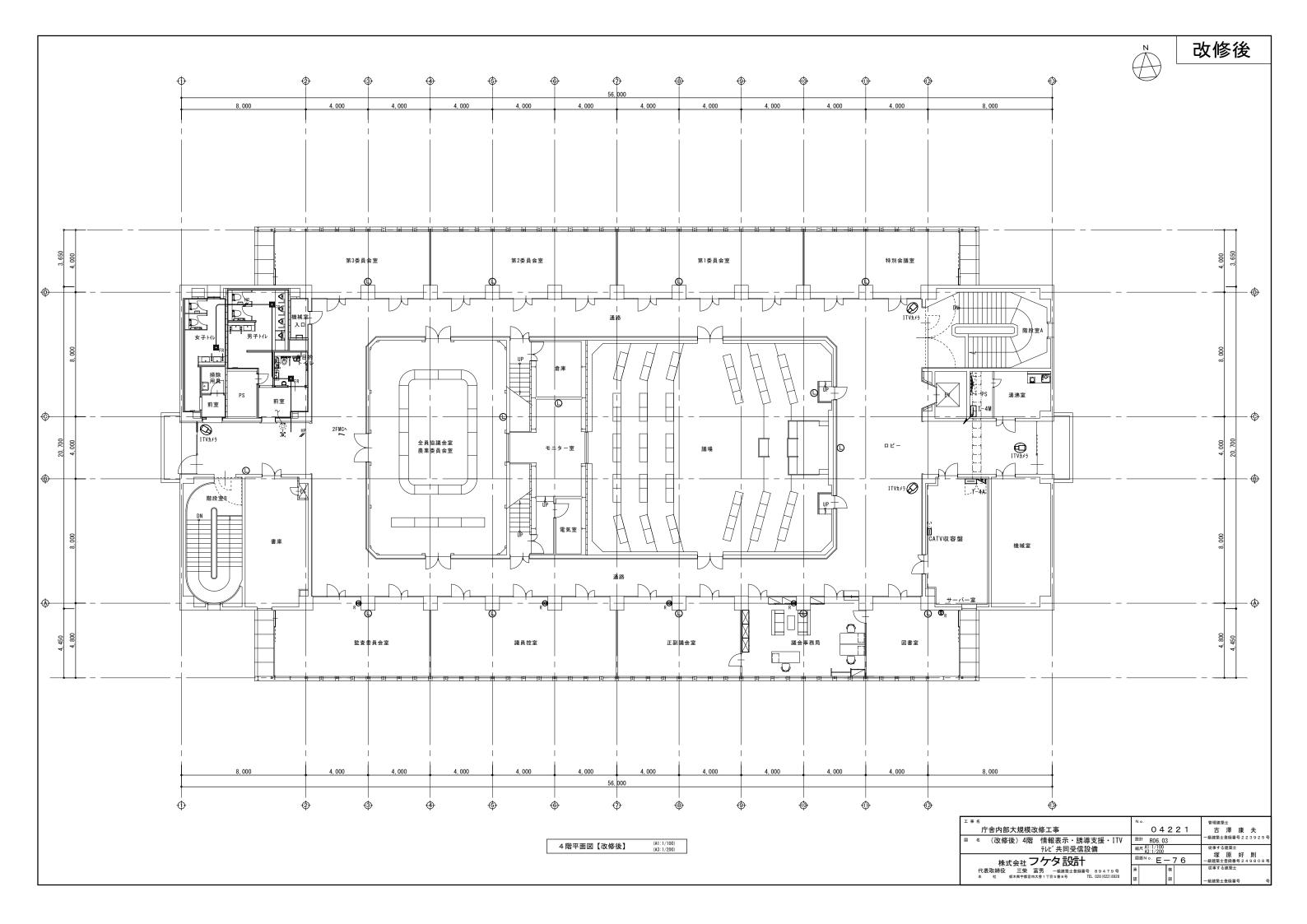


ェ * <sup>名</sup> 庁舎内部大規模改修工事	^	042	2 1	管理建築士 古 澤	康夫
<sup>8</sup> 誘導支援設備機器姿図	_	R06. 03		一級建築士登録番	;
<sub>株式会社</sub> フケタ 設計		<sup>図面N o.</sup> E − 7 2		塚 原 一級建築士登録番	好!則 号2.49808号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承	検		従事する建築士	
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	28	図		一級建築士登録番	号 号









## 凡例

記 号	名 称	部 事
**	防災監視盤	P型1級 合計60回線 壁掛型 特記参照
$\blacksquare$	表 示 盤	P型副表示 6 0 回線
	機器収容箱	消火栓箱組込型
	機器収容箱	<b>埋込型 既設 ② ● ③ 및</b> 収容
•	発 信 機	P型 1級 フラット型表示灯付
<u>o</u>	発 信 機	消火設備に収納する取付加工は衛生工事とする P型1級 既設
0	表示灯	LED 24V 既設
®₄	地区音響装置	DC24V 8mA
<b>®</b> ₃	地区音響装置	DC24V 8mA 既設
N	光電式スポット型感知器	2種
B	光電式スポット型感知器	2種 側面点検BOX付
0	差動式スポット型感知器	2種
В	定温式スポット型感知器	特種 60℃ 防水型
0	定温式スポット型感知器	1種 70℃
Θ	定温式スポット型感知器	1種 70°C 防水型
U	終端抵抗	10K <b>1</b>
Mil	消火栓始動装置	表示灯点滅装置 AC200V/24V 70VA消火栓ポンプ制御盤組込
ELV,	ELV制御盤	ELVI事
AD	オートドア制御盤	建築工事
<b>®</b>	光電式スポット型感知器	3種
•	7010-4117 / 1210/4 m	- 12
0	自動閉鎖装置	防火戸閉鎖用 ラッチ式 DC24V 0.1A
0	自動閉鎖装置	タレ壁降下用 DC24V 0.4A以下 建築工事
ø	自動閉鎖装置	防煙ダンパー閉鎖用モーター復帰式 DC24V 〇. 4A以下 空調工事
	自動開放装置	排煙口開放用 モーター復帰式 DC24V 0.4A以下 空調工事
	配管配線	天井いんぺい
	配管配線	ケーブル線
	配管配線	床いんぺい
	配管配線	既設配管配線
141	配管配線	立上り、引下げ、素通し
	ジョイントボックス プルボックス	
团	プルボックス ハンドホール	<del> </del>
	,, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,	
	警戒区域境界線	
89	警戒区域番号	No. 1 ~ 30
60	連動回路番号	防排煙連動用感知器用 No.1 ~ 8
D NO	制御回路番号	防火戸用 No. 1 ~ 12
8	制御回路番号	タレ壁用 No. 1 ~ 4
♦		タレ壁用         No. 1 ~ 4           防煙ダンパー用         No. 1 ~ 6

## 特記

<ul><li>) 太工事は既存改修に伴う設備コ</li></ul>	E事とし、工事概要は下記の通り。
	F 1 階警備室空調機室側の壁に防災監視盤を新設する。
<ul><li>防災監視盤の下部に警戒区域図</li></ul>	
<ul> <li>表示盤を2階に新設する。</li> </ul>	A (7 ) 77P/ CEARLY US
・町民ホールと車庫棟の既設機器	8.仕廃設面利田する
<ul> <li>上記以外は全て更新する。</li> </ul>	HICKERTS 1971 7 00
<ul> <li>・図中点線細線は既設とし実線は</li> </ul>	*本工事とする。
:) 防災監視盤の仕様は下記の通り	J.
・自立盤	
・主音響	一音声案内機能付
	警報音鳴動モード設定機能搭載
	シンプルモード/エリア通知モード (3パターン) 選択可能
<ul><li>・音声ガイダンス機能</li></ul>	<ul><li>各種ナビゲーションを行う音声操作手順ガイダンス機能搭載</li></ul>
・カラーユニバーサルデザイン	<ul><li>一色弱者対応・高齢者対応(CUDO認定品)</li></ul>
<ul> <li>履歴機能</li> </ul>	- 7 セグメント表示 (最大12,000件)
	USBメモリーで履歴をPC確認可能
<ul><li>中継器電源標準搭載</li></ul>	一遠隔試験機能付感知器最大16個(専用中継器1台)接続可能、
	無線式感知器最大16個(専用中継器2台)接続可能
・保守・施工モード搭載	一地区音響短時間鳴動機能
	地区音響遠隔制御機能 (回線毎)
	施工支援機能(発報信号無線機送信機能 ※専用治具使用時)
7 00 11-119-149	加熱・加煙試験を現地1名で対応(省力化)可能
<ul><li>その他機能</li></ul>	ーマルチスイッチ5点搭載 (マルチ移報、移報停止、ノンロックスイッチ)
	諸表示入力5点搭載 一括移報起動遮断スイッチ搭載
	一
	ドマスト PCデータ設定プログラム機能搭載
	操作練習機能搭載
	排煙口手動開放装置電源標準搭載 (150mA)
<ul><li>組込品</li></ul>	and the control of th
・追加マルチ移報接点	-無電圧c接点60点(合計65点)
<ul><li>回線内訳</li></ul>	
自火報	3 0 L
消火栓ポンプ運転	1 L
消火栓ポンプ故障	1 L
消火栓呼水槽減水	1 L
防火戸	8 L
防煙タレ壁	4 L
防煙ダンパー	6 L
排煙口	4 L
排煙機運転	1 L
排煙機故障	1 L
予備	3 L
合 計	6 O L
)表示器は壁掛型窓式と1 表示	京内訳は防災監視盤と同表示とする。

5)	防災監視盤より排煙口開放確認時に排	▶煙機制御盤へ起動信号(有電圧 a接	点	
	DC24V)を供給し、同盤より確	認信号(運転表示)及び故障信号を受	きける	
	ものとする。			
6)	防災監視盤より自火報発報確認時に至	E調機制御盤へ停止信号(火災一括		
	信号有電圧 a 接点 D C 2 4 V ) 1 g	点を供給する。		
7)	防災監視盤より下記の設備盤へ移報を	そ行う。 (現地にて無電圧・有電圧の	確認をすること	)
	設備盤名称	信号種別	点 数	
	ELV制御盤	火災一括信号	1	
	オートドア制御盤	火災一括信号	4	
				1
8)	煙感知器用点検ボックス(エレベータ	2昇降路用)の設置において、		

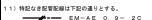
8) 煙感知器用点検ボックス (エレベータ昇降路用) の設置において、 以下の工事区分はエレベータ工事とする。 ・エレベータ連動停止用スイッチ (スイッチ、取り付け、結練、試験) ・注意喚起シール (シール、貼り付け)

9) 感知器取付け用吊り金具および金具取付工事までは別途電気工事とする。

10)連動関係表

	連動感	4n 00	遠	P75	-	示
連動及び制御	連期恐		湿	隔	表	亦
設備名	自火報	専用感知器	起動	復帰	作動	復帰
防火戸		0	0		0	
タレ壁		0	0			
防煙ダンパー	0		0	0	0	Ŷ
排煙口			0	0	0	o 1
空調機	自火報信号(	こより停止		-		
排煙機	排煙口開放的	寺に起動				

※モーター復帰式の起動はソレノイド式、復帰はモーター式とし、復帰表示は作動表示灯の消灯による。

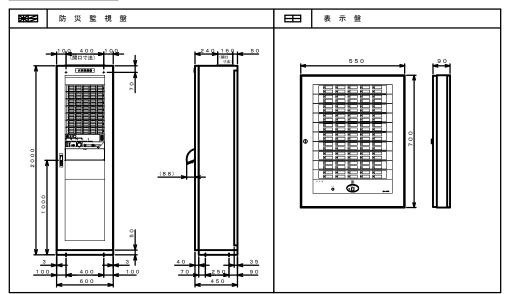


	EW-AE	0.9-	20		E IVI — A E	0.9-	2C (PF 16)
<b></b> _	EM - AE	0.9-	4 C		EM - AE	0.9-	4 C (PF16)
<u> </u>	$EM\!-\!HP$	1. 2-	2 C		EM-HP	1. 2-	2 C (PF16)
<del></del>	EM-HP	1. 2-	3 C	<del></del>	EM-HP	1. 2-	3 C (PF16)
<u>8P,</u>	EM-HP	1. 2-	3 P	<u>SP</u> /	EM-HP	1. 2-	3 P (PF22)
A —	EM-HP	1. 2-	2 C	(PF16)			

A — EM-HP 1. 2- 2C (PF16)
B — EM-HP 1. 2- 4C (PF16)
C — EM-HP 1. 2- 3P (PF22)
D — EM-HP 1. 2- 5P (PF22)
E — EM-HP 1. 2-10P (PF28)

→ A C 1 O O V , D種接地工事

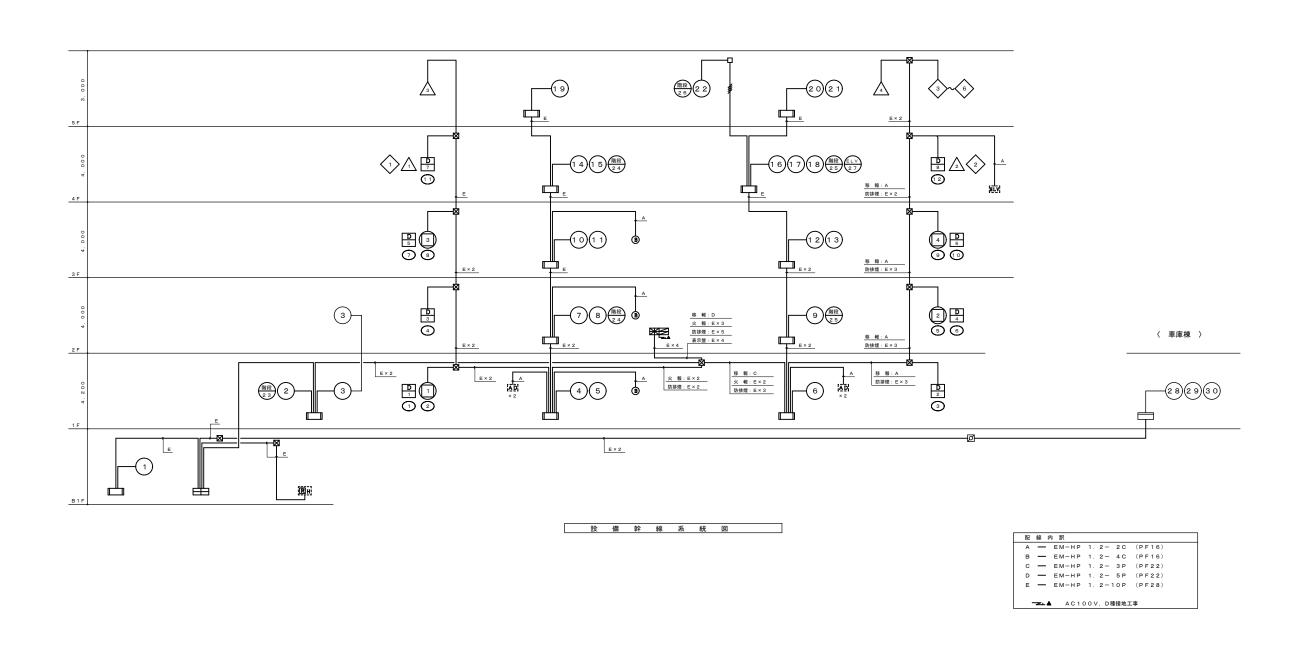
## 参考機器外観図



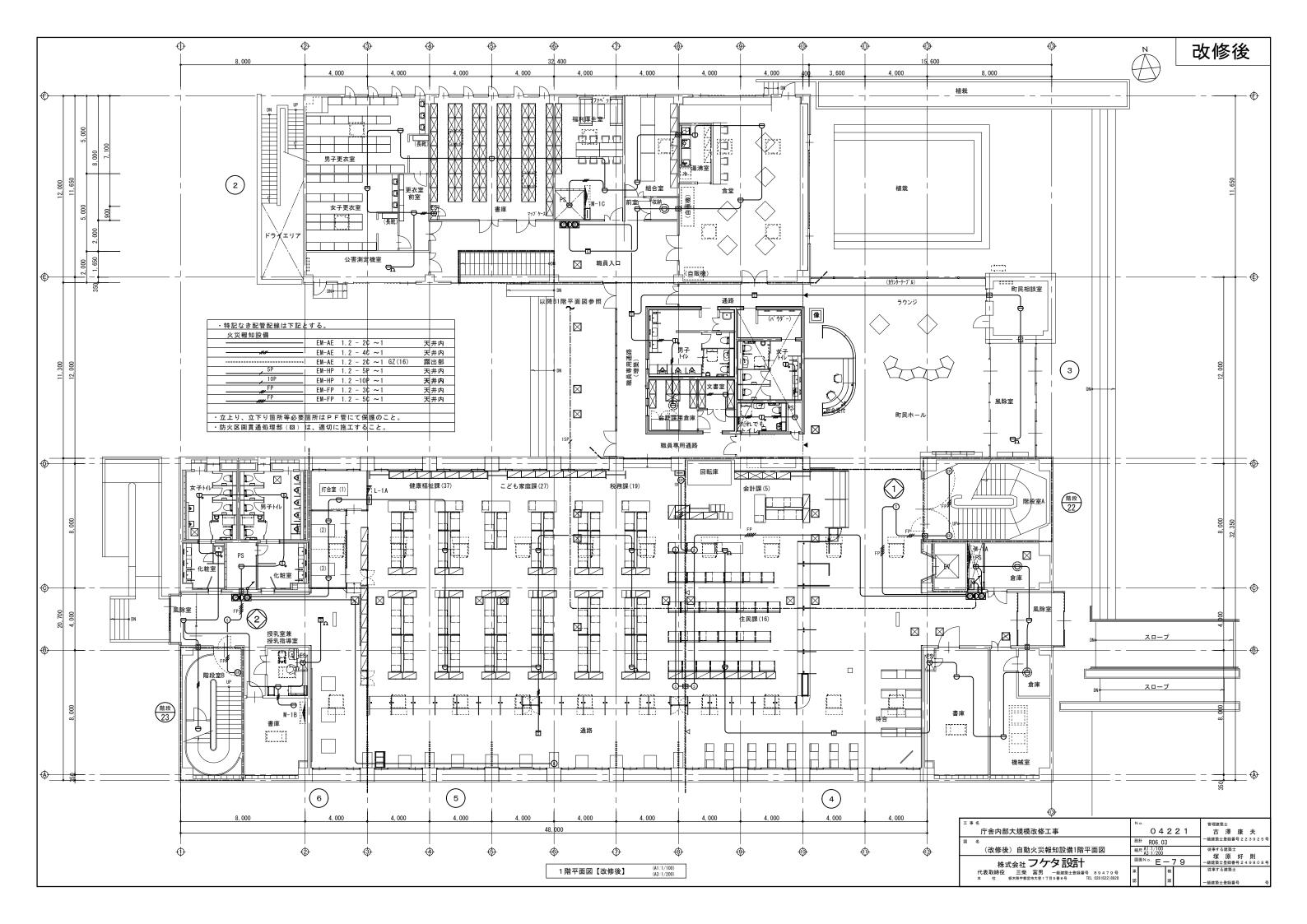
## 防排煙制御システム表

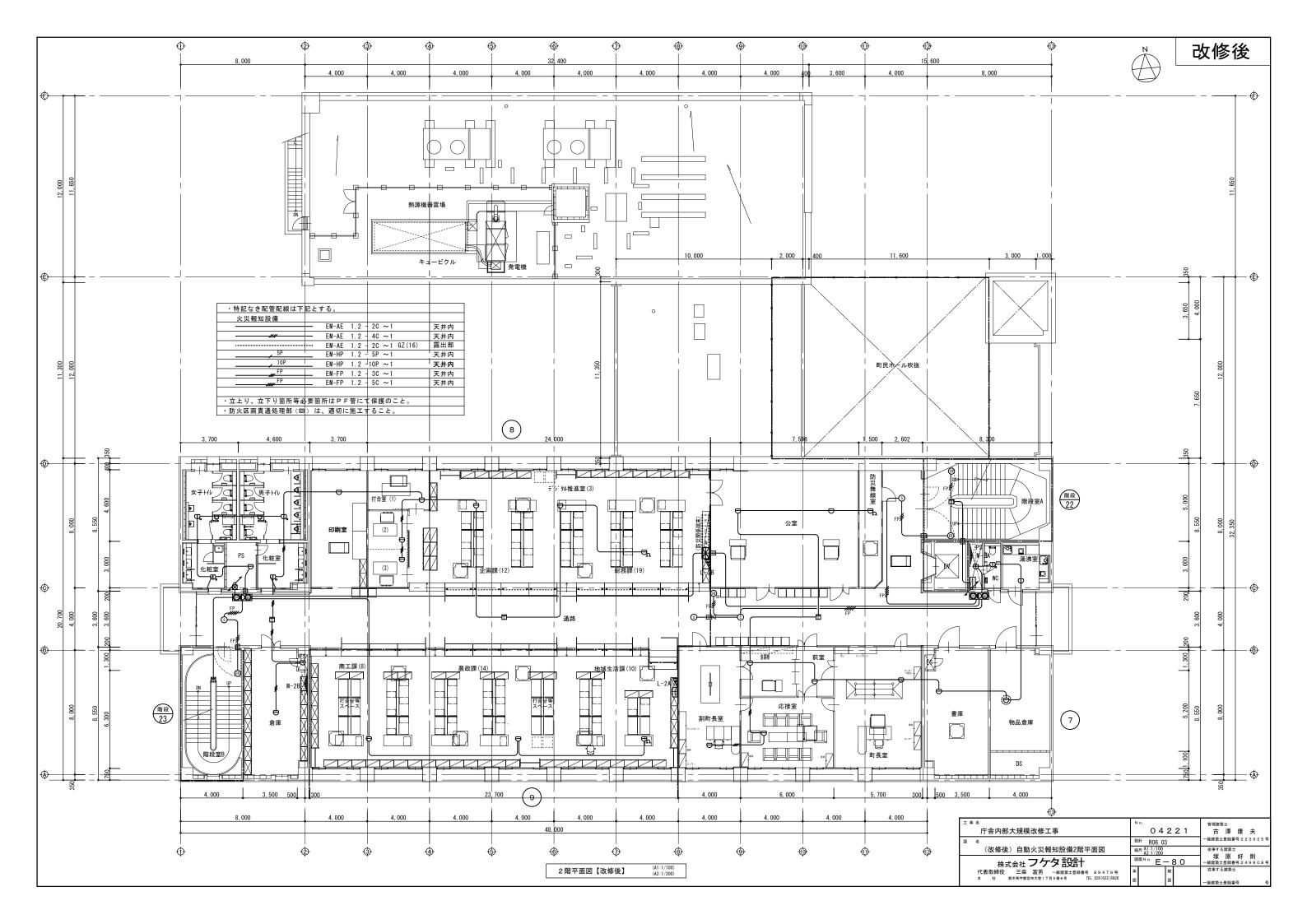
連動感知器	防火戸	防煙タレ壁
<b>©</b>	NO.	0
1	1	
2		1
3	2	
4	3	
5		2
6	4	
7	5	3
8		3
9		4
1 0	6	
1.1	7	
1 2	8	

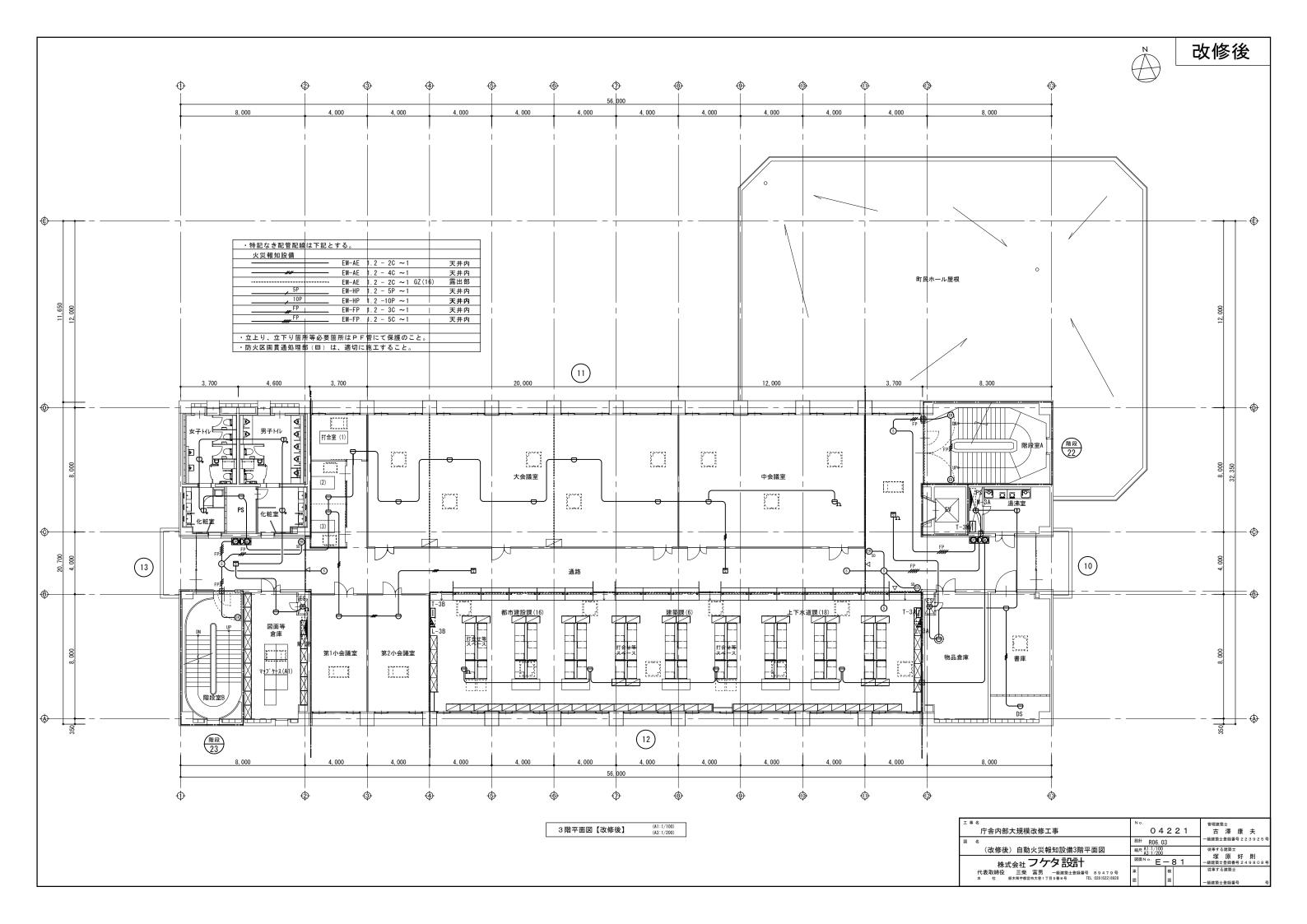
工 * 4 庁舎内部改修工事	0 4 2 2 1	<sup>管理建築士</sup> 古澤康夫
図 名	<sup>股計</sup> R06. 03	一級建築士登録番号 223925号
自動火災報知設備 凡例・特記	箱尺 A1: N/S A3: N/S	従事する建築士
<sub>株式会社</sub> フケタ設計	<b>図画No.</b> E - 77	塚原好則 -級建築士登録番号 249808号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479 号	承 検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	思	経神常+発経素导 長

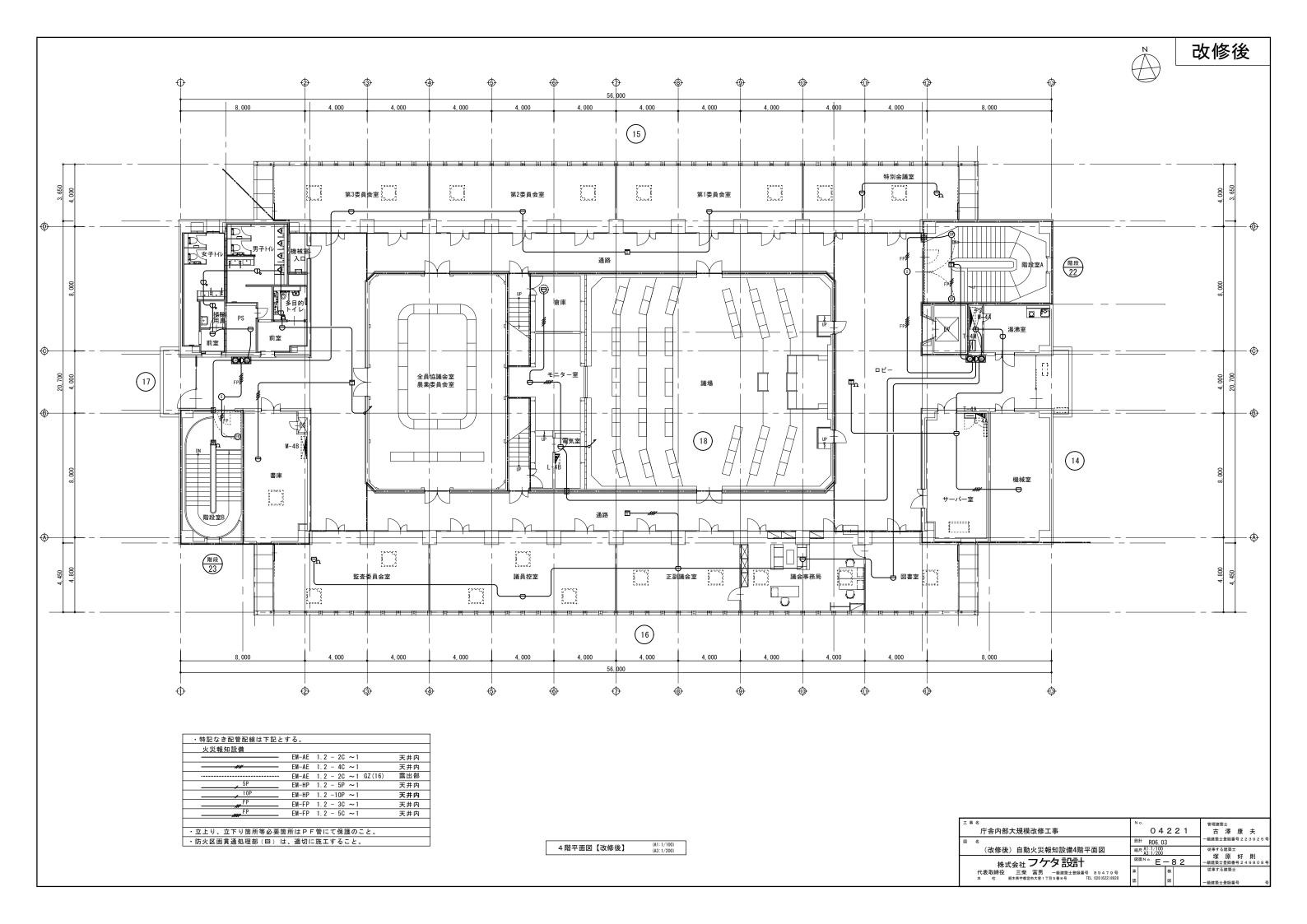


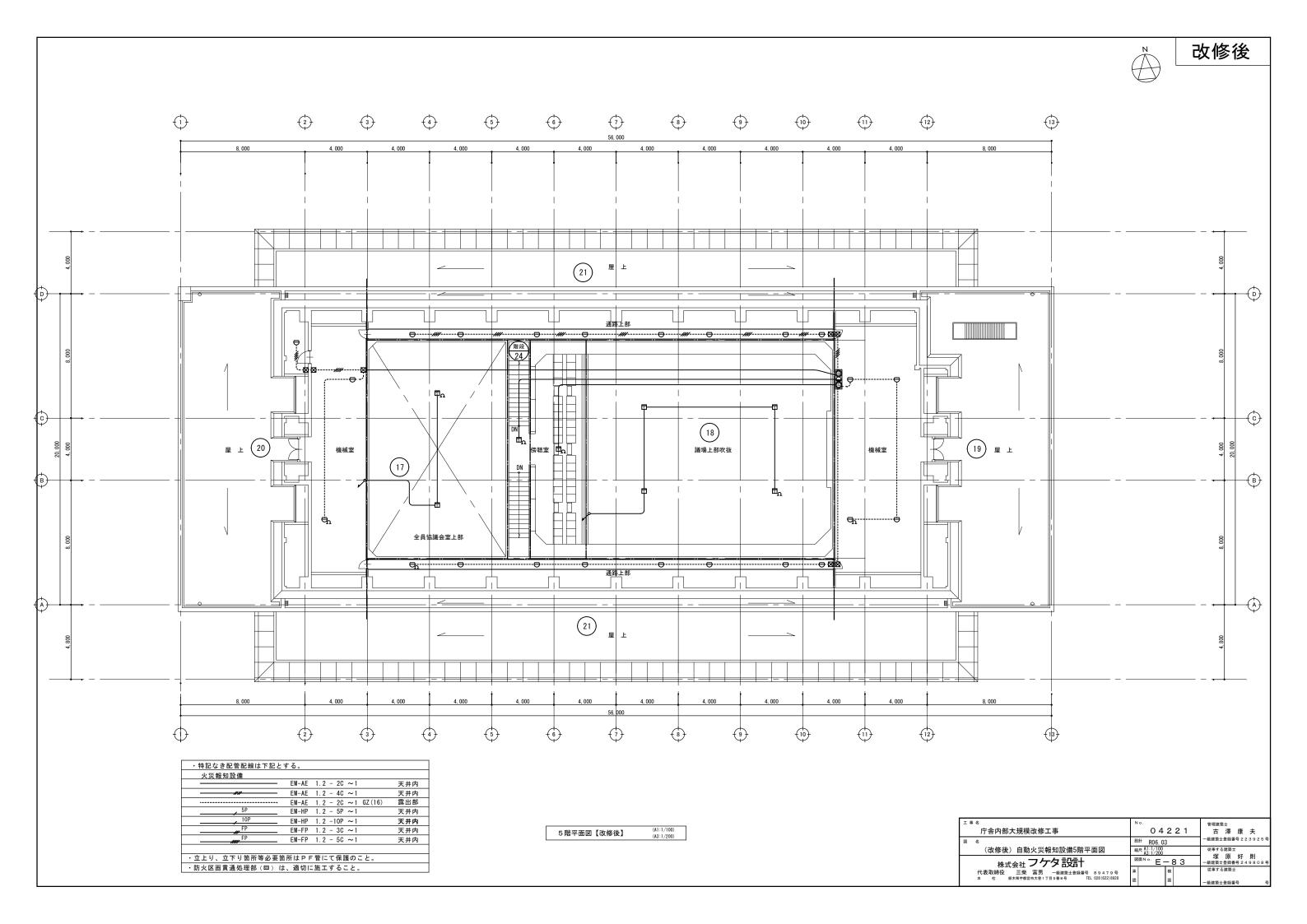
工業名 庁舎内部改修工事	No. 0 4 2 2 1	<sup>管理建築士</sup> 古澤康夫
図 名	<sup>股計</sup> R06. 03	一級建築士登録番号 223925号
自動火災報知設備 系統図	箱尺 A1: N/S A3: N/S	従事する建築士
株式会社 フケタ設計	®®N° E-78	塚原好則 -級建築士登録番号 249808号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479 号	录	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大管 1 丁目 5 番 8 号 TEL 028 (622) 8928	2 2	一級建築士登録番号 号

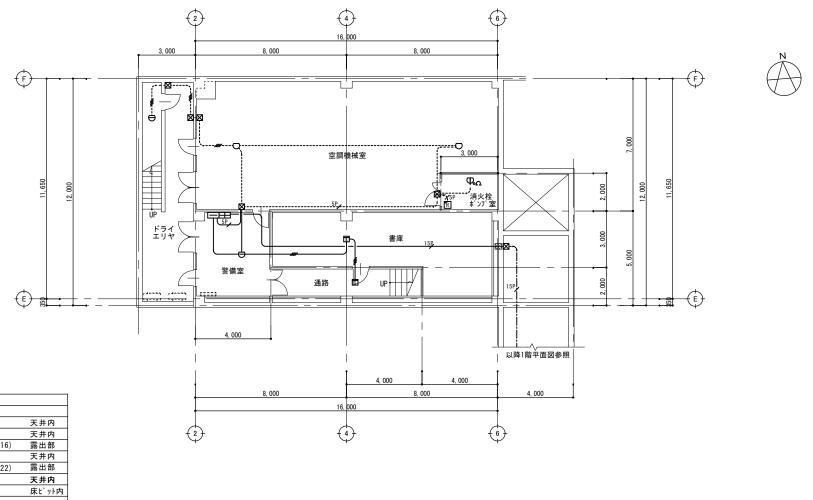












・特記なき配管配線は下記とす	ける。	
火災報知設備		
	EM-AE 1.2 - 2C ~1	天井内
	EM-AE 1.2 - 4C ~1	天井内
	EM-AE 1.2 - 2C ~1 GZ(1	6) 露出部
5P	EM−HP 1.2 - 5P ~1	天井内
5P	EM-HP 1.2 - 5P ~1 GZ (2	(2) 露出部
15P	EM−HP 1.2 −15P ~1	天井内
15P	EM−HP 1.2 −15P ~1	床ピット内
・立上り、立下り箇所等必要箇	所はPF管にて保護のこと。	
・防火区画貫通処理部(図) は	、適切に施工すること。	

地下1階平面図【改修後】 (A1:1/100) (A3:1/200)

工事名	No.	管理建築士
庁舎内部大規模改修工事	0 4 2 2 1	古澤 康 夫
図 名	<sup>設計</sup> R06.03	一級建築士登録番号 2 2 3 9 2 5 号
(改修後) 自動火災報知設備地下 1 階平面図	縮尺 A1:1/100 A3:1/200	従事する建築士
株式会社フケタ設計	<sup>図面N∘.</sup> E − 8 4	塚原好則 -級建築士登録番号 2 4 9 8 0 8 号
代表取締役 三柴 富男 一級建築士登録番号 89479号	承検	従事する建築士
本 社 栃木県宇都宮市大曽 1 丁目 5番 8号 TEL 028 (622) 8928	22 E	_ 63+64_244¥B

					とリスト				+tL → ±L	. =		/# <del>*</del>					電気設備撤					<i>+</i> * <i>L</i> →	₩. 🖽			/#= <del>*</del>
	機器名称	仕様	仕様     布設替数量     撤去数量       B1F 1F 2F 3F 4F 5F 計 B1F 1F 2F 3F 4F									備考	4	機器名称	仕様			設替数		T		撤去				備考
			B1F 1F	2F	3F 4F	5⊦	計 B1	F   1F	2F 3F	4- 1	51 計			<u> </u>		RIF	1F 2F	3⊦	4F 5F	計						
		$800 \times 2000 \times 2400$							1		1			照明器具	直付型 FL40W-1						5 5	5	6	5 21		
	CUB動力盤	$1200 \times 2000 \times 2400$							1		1			照明器具	直付型 FL40W-2						8			8		
	CUBNo1電灯盤	$900 \times 2000 \times 2400$							1		1			照明器具	ダウンライト IL100W							5 2	110	117		
	CUBNo2電灯盤	$900 \times 2000 \times 2400$							1		1			照明器具	ダウンライト 角形 IL100W						6	6		6		
	CUB非常灯電源盤	800×2000×2400							1		1			照明器具	ブラケットライト FL20W-2						2	2 1		3		
	CUB蓄電池盤	1400×2000×2400							1		1		1	照明器具	プラケットライト HF100W						2	2		2		
		3 φ 3W200KVA 730kg							1		1		1	照明器具	和風シーリングライト FL20W-5							4		4		
		1 φ 3W100KVA 370kg							1		1		-	照明器具	高天井用 MF400W							+	9	a		
		75KVA 420kg							1		'		$\dashv$	照明器具	高天井用LED									0		
									1		'	DOD 4 -	4									5 -	4 45	8		
		50Kvar 30kg							1			PCB含有	4	照明器具	非常灯 IL60W						2 9	9 5	1 45			
受変電設備	コンテ゛ンサ	20Kvar 20kg							1		1	PCB含有		照明器具	誘導灯 FL20W-1						1 6	6 3	4 5			
	PAS	7. 2KV300A						1			1			スイッチ	1P15A×1						3 17	7 5	4 11	1 41		
	GR	SUSBOX						1			1			スイッチ	1P15A×2						1 8	3 1	2 16	28		
	分界柱	12m-19cm-3. 5kN						1			1		7	スイッチ	1P15A×3						1 2	2 1	1	5		
	ワイヤリンク゛タ゛クト	520 × 440 × 6400							1		1		1	スイッチ	1P15A×4						3	3 1		4		
	ワイヤリンク゛タ゛クト	400×300×4500							1		1		1	スイッチ	1P15A×6						-	1		1		
		200×200×200						1	1		1		-	スイッチ	リモコンスイッチ1L							1	4	5		
		400×400×200		+				+ '	1	+++		+	-		リモコンスイッチIL リモコンスイッチ2L			+		+		<del>'                                     </del>	1	ا		
				+					1	+		1	4	スイッチ				+		+		+ +	1			
		400×400×300							1		1		_	スイッチ	リモコンスイッチ3L					_			1	1		
		$700 \times 600 \times 500$							1		1			スイッチ	リモコンスイッチ12L								1	1		
	配管配線等一式										1	撤去布設替に係る一式		スイッチ	リモコンスイッチ24L						1	1 1	1	3		
	発電機	3φ220KVA 4, 165kg							1		1			コンセント	2P15A×2						4 119	9 39 2	22 46	230		
v. an 1/4 = n /++	直流電源装置	SUSBOX							1		1	リチウム電池使用		コンセント	OAタップ 4ロ		14 2	5		39	64	4 53 2	28	145		
<b>ề電機設備</b>	フ <sup>°</sup> ルホ゛ックス	600×400×700							1		1		1	照明操作盤	500×600×180						1	1	1	2		
配管配線等一式自動制御盤	配管配線等一式										1	撤去布設替に係る一式	電灯設備	ワイヤリンク゛タ゛クト	200×100×4720						-	1	1	2		
	800×1900×400						1			1	THE THE END OF THE	1	分電盤0A-1A	500×1670×160							1	-	1			
		1000×1900×400						1			1		+	分電盤0A-1B	600×1250×160						· ·	1		1		
<u> </u>								- '		-	'		-											1		
		1200×1900×400								- '-			4	分電盤0A-2A	500×1670×160									1		
	警報盤	600 × 900 × 200						1			1		_	分電盤0A-2B	600×1250×160							1		1		
動制御設備	デマンド監視装置							1			1			分電盤0A-2C	500×1670×160							1		1		
	中央監視盤	$750 \times 1950 \times 550$						1			1			分電盤OA-2D	500×1250×160							1		1		
	風速監視装置	$730 \times 1190 \times 250$						1			1			分電盤0A-3A	$600 \times 1250 \times 160$								1	1		
	計測震度計	485 × 370 × 150						1			1			分電盤0A-3B	600×1250×160								1	1		
	配管配線等一式										1	撤去布設替に係る一式	1	分電盤BL-1	500×600×180						1			1		
		700×1900×400						1			1		-		600×1600×150						-	1		1		
		700×1900×400						1			1		+	分電盤1L-2	600×1600×150							1		1		
		600×1900×400						1			- '		-		550×1400×150							<del>'                                     </del>		1		
								1					-	分電盤1L-3										1		
		600×800×200						1			1		_	分電盤1L-4	550×1400×150									1		
		$300 \times 550 \times 200$						1			1			分電盤3L-1	550×1400×150								1	1		
		400×800×200						1			1		_	分電盤4L-1	550×1400×150								1	1		
動力設備	P-7動力盤	$400 \times 680 \times 200$		<u> </u>				1			1		_	分電盤4L-2	550×1400×150								1	1		
	P-9動力盤	450×750×200								1	1			1階電灯盤N01	450×600×90						1	1	$\Box$	1		
	制御盤	500×1900×400						1			1		7	1階電灯盤N02	500×700×160									1		
		800×1900×400		+				1			1		1	1階コンセント分岐盤	300×400×120						1	1	+	1		
		420×760×100		+				1			1		1	3階コンセント分岐盤	300×400×120							+ +	1	1		
		400 × 400 × 140						1			1	1	-	サーバー系分岐盤	600×700×160						-	1	+	1		
		700 ^ 400 ^ 140						'					-							1		<del>'                                     </del>				
	配管配線等一式	Imag mu El com d		1 撤去布設替に係る一式	4		500×600×180					1		+	+ 1		III · ·									
		埋込型 FL20W-1		$\perp$				1	1		2		1	配管配線等一式						1		$\bot$	$\perp$		撤去布設替	作に係る一
	照明器具	埋込型 FL20W-2						26			30		_	電話機	一般電話機 壁掛形							1	$\perp$	1		
	照明器具	埋込型 FL40W-1						22		1	23		_	電話機	一般電話機 卓上形		67 2	5	2	94	77	7 47 4	40 9	173		
∌,⊬⊤∃Л./±±	照明器具	埋込型 FL40W-2						2 158	138 153	66	517	,	#	端子盤	400×900×120							1	1	2		
電灯設備	照明器具	埋込型 FL40W-3						4					構内交換設備	MDF	1000×1800×200				1	1			1	1		
		埋込型LED スクエアタイプ		+				14	4	1 37	55		1	PBX					1	1		+ +	1	1		
		直付型 FL20W-1		+				+ ' '	1	+ ++	1	<del> </del>	1	配管配線等一式					·	+		+ +	+	1	撤去布設替	た
				+					5	+++	- '	1		100日山水子 八						1					東ムミスは	マラスの
	照明器具	直付型 FL20W-2							၁			1	_					工事						No.		管理建築士
																		- 1	庁舎内部	<b>十</b> # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	ᇕᅲᄦᅮᆂ			1 0/	221	古澤

株式会社 **フケタ 記計** 代表取締役 三柴 富男 -級建築士登録番号 89479号 \* は 栃木県手部宮市大曽17目5章8号 TEL 028 (922) 8928

- 飯組集工登録番号 223926号 従事する建築士 「塚 原 好 則 - 級建築士登録番号249808号 従事する建築士

一級建築士登録番号

⊠mN∘ E - 8 5

内情報通信網設備 拡声·音響設備 情報表示設備  「情報表示設備  「TV設備	機器名称 HUB盤 HUB LAN中継盤 配管配線等一式 スピーカー スピーカー スピーカー スピーカー スピーカウ アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンガ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機 配管配線等一式	仕様  650×650×150  8** - ト  650×650×150  天井埋込型 天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型  3W  電気時計 壁掛型		1			5 7	(	2F 4 4	2	4F 5F	10 29 4	機器名称	仕様	B1F		設替数量 3F		計	B1F	1F	撤去数 2F 3F		5F =	
内情報通信網設備 拡声·音響設備 情報表示設備  「情報表示設備  「TV設備	HUB盤 HUB LAN中継盤 配管配線等一式 スピーカー スピーカー スピーカー スピーカー フィンフラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	650×650×150 8* -ト 650×650×150 天井埋込型 天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型 3W	 3 1	1	1 1		5	(	4 4 9 9	2		10	ISS MA IN LY	128	B1F	1F 2F	3F 4	4F   5F	計	B1F	1F	2F 3F	4F	5F 計	
内情報通信網設備 拡声·音響設備 情報表示設備  「情報表示設備  「TV設備	HUB LAN中継盤 配管配線等一式 スピーカー スピーカー スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	8ポート 650×650×150 天井埋込型 天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型 3W		1	1				9 9	11															
内情報通信網設備 拡声·音響設備 情報表示設備  「情報表示設備  「TV設備	HUB LAN中継盤 配管配線等一式 スピーカー スピーカー スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	8ポート 650×650×150 天井埋込型 天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型 3W		1	1				9 9	11															+
拡声・音響設備 情報表示設備 t <sup>*</sup> 共同受信設備 誘導支援設備	LAN中継盤 配管配線等一式 スピーカー スピーカー スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	550×650×150 天井埋込型 天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型 3W	6 1	1			7		_	_		29													
拡声・音響設備 情報表示設備 いた。共同受信設備 誘導支援設備	配管配線等一式 スピーカー スピーカー スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	天井埋込型       天井埋込型 角形       壁掛型       *-ン型       3W						25	4			4								_					
拡声·音響設備 情報表示設備 レt <sup>*</sup> 共同受信設備 誘導支援設備	スピーカー スピーカー スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型 3W						28																	
拡声・音響設備 情報表示設備 レt <sup>*</sup> 共同受信設備 誘導支援設備	スピーカー スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型 3W				+		28				1 撤去布設替													
拡声・音響設備 情報表示設備 レt <sup>*</sup> 共同受信設備 誘導支援設備	スピーカー スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	天井埋込型 角形 壁掛型 ホーン型 3W						1 4	8 18	20	28	94													
拡声・音響設備 情報表示設備 ルt*共同受信設備 誘導支援設備	スピーカー スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	<ul><li>壁掛型</li><li>ホ−ン型</li><li>3W</li></ul>				1			4			4													
拡声・音響設備 情報表示設備 ルt*共同受信設備 誘導支援設備	スピーカー アッテネーター ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	ホ−ン型 3W				+	1	1 -	1 1	2	1	6													
拡声・音響設備 情報表示設備 た*共同受信設備 誘導支援設備 ITV設備	アッテネーター         ワイヤレスマイク         アンプラック         防災アンプ         配管配線等一式         時計         出退表示装置         電気時計親機	3W				+	+-'	,	2		' '	2													
情報表示設備 と*共同受信設備 誘導支援設備	ワイヤレスマイク アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機		1			-	+ -	-	_	-	1.5														
情報表示設備 た。共同受信設備 誘導支援設備	アンブラック 防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	雷与叶乳 路林刑					+ '	! !	5 5	_	15	32													
情報表示設備 t*共同受信設備 誘導支援設備	防災アンプ 配管配線等一式 時計 出退表示装置 電気時計親機	靈气吐乳 路枞刑								4		4													
情報表示設備 t*共同受信設備 誘導支援設備 ITV設備	配管配線等一式時計 出退表示装置 電気時計親機	靈气吐針 降枞刑								2		2													
情報表示設備 t*共同受信設備 誘導支援設備	時計 出退表示装置 電気時計親機	電气時計 降掛刑			1		1				1	1													
情報表示設備	時計 出退表示装置 電気時計親機	電气時計 辟掛刑										1 撤去布設替													
情報表示設備 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种 一种	出退表示装置電気時計親機	电双时间 至用至	3	3	1		4	8	8 5	6	14	33													
情報表示設備 t*共同受信設備 誘導支援設備 ITV設備	電気時計親機	4L	2 2	2	1	$\top$	5		4 4	_	-	11								1			+ +		1
t <sup>*</sup> 共同受信設備 誘導支援設備 ITV設備			+ -	+ +	1	+	1		+ 1	_	1	1	<u> </u>										+ +		+
rt <sup>*</sup> 共同受信設備 誘導支援設備 ITV設備	1111日山水守一工					+	+					1 撤去布設替											+ +		+
zt*共同受信設備 誘導支援設備	_		-	2	1	+	2	-	2 3		6		<u> </u>				+	_	+		$\vdash$		+		+
誘導支援設備 ITV設備	テレビ端子		+ 2	4	1	+	1	-	2 3		0	11	<u> </u>				+		+				+		+
誘導支援設備 ITV設備					1	$\perp$	4				1	1											+		-
ITV設備	配管配線等一式					$\perp$						1 撤去布設替											$\perp$		
ITV設備	インターホン	壁掛型								2	5	7													
ⅡⅣ設備	配管配線等一式											1 撤去布設を													
	監視カメラ	ド-ム型							1			1													
	配管配線等一式											1 撤去布設替													
	感知器	差動式2種					1	67	7 13	13	24	118													
	感知器	定温式1種					_	5 -		2		10													
	感知器	定温式1種 防水					+		8 3		·	11													
							_	<u> </u>																	
	感知器	光電式2種				-	1	+	8 9	9	9	1 36									$\vdash$		+ +		+
		0.45		+		+	+						<u> </u>						-				+		
	受信機	645 × 2000 × 400		$\perp$		$\perp$	1	1				1											$\perp$		1
	中継盤					$\perp$		2	2			2											$\perp$		$\perp$
	消火栓						1	I				1													
	配管配線等一式											1 撤去布設を													
						$\neg$																			
						$\dashv$						1 1													+
				+ +		+						+ + -													+-
						+						+ +	-										+ +		+
				+ +		+	+					+ + -	<u> </u>								$\vdash$		+		+-
					_	+	_					1 1	<u> </u>				+		+				+		+-
						$\perp$	_												-				+		+-
				$\perp$		$\perp$						1 1											$\perp$		
																									$\perp$
												1 1											1		
						+	+					+ +											+ +		+
				+ +		+	-					+ +	-										+ +		+
						+	-											-		-			+		+
						+	-						<u> </u>						-				+		
						$\perp$	_																+		1
							$\perp$	1																	1
		1	 					_												-	_				
			$\perp$																						
					+								I											1.	
																	工事名	庁舎内部:		改修コ	上事			N o .	4 2 :

従事する建築士 塚原好則 一級建築士登録番号249808号 従事する建築士

株式会社 **フケタ 記計** 代表取締役 三柴 富男 ―最建築土登録番号 89479号 \* 社 燃料用半額窓市大管17目5番8号 TEL 028 (522)8028